第2167号 本文

官報

昭和九年三月二十六日
第二千百六十七號 月曜日

法律

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル癈兵院法中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和九年三月二十四日

内閣總理大臣 子爵 齋藤 實
大藏大臣 高橋 是清
内務大臣 男爵 山本 達雄
海軍大臣 大角 岑生
陸軍大臣 林 銑十郎

法律第十二號

癈兵院法中左ノ通改正ス

「癈兵院法」ヲ「傷兵院法」ニ改ム

第一條 戰闘又ハ戰闘ニ準ズベキ公務ノ爲傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ軍人又ハ準軍人トシテ恩給法ニ依リ増加恩給ヲ受クル者精神又ハ身體ノ著シキ障碍アリテ收容保護ヲ要スルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ申請ニ基キ傷兵院ニ入院セシム

第二條 普通公務ノ爲傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ軍人又ハ準軍人トシテ恩給法ニ依リ増加恩給ヲ受クル者精神又ハ身體ノ著シキ障碍アリテ收容保護ヲ要スルトキハ申請ニ基キ特ニ傷兵院ニ入院セシムルコトヲ得

第三條 傷兵院ニ入院中ノ者ニハ恩給ノ支給ヲ停止シ其ノ親族ニ扶助料又ハ一時扶助料ヲ給ス

前項ノ扶助料又ハ一時扶助料ノ支給ニ關シテハ恩給法ノ扶助料又ハ一時扶助料ニ關スル規定ヲ準用ス但シ扶助料ノ年額ハ恩給法第七十五條第一項第三號ノ金額ニ相當スル額トス

傷兵院ニ入院シタル者ノ兄弟姉妹ニシテ第一項ノ一時扶助料ヲ受ケタル者ニハ恩給法第八十一條ノ一時扶助料ヲ給セズ

傷兵院ニ入院シタル者ノ兄弟姉妹ニ對シ第一項ノ一時扶助料ヲ給シタルトキハ爾後他ノ親族ニ對シ給スルコトアルベキ第一項ノ扶助料又ハ恩給法ノ扶助料ノ額ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 傷兵院ニ入院中ノ者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ退院ヲ命ズ

一 恩給法ニ依リ恩給ヲ受クルノ權利消滅シタルトキ又ハ恩給ヲ停止セラレタルトキ

二 收容保護ヲ要セザルニ至リタルトキ

三 懲戒ニ處セラレ改悛ノ見込ナキトキ

第五條中「癈兵院」ヲ「傷兵院」ニ、「收容」ヲ「入院」ニ改ム

第六條中「癈兵院ニ收容シタル者」ヲ「傷兵院ニ入院中ノ者」ニ改ム

第七條中「癈兵院」ヲ「傷兵院」ニ、「癈兵院基金」ヲ「傷兵院基金」ニ改ム

第八條中「癈兵院基金」ヲ「傷兵院基金」ニ、「癈兵院ニ收容シタル者」ヲ「傷兵院ニ入院中ノ者」ニ改ム

第九條中「癈兵院基金」ヲ「傷兵院基金」ニ改ム

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

昭和九年度ニ於テ施行スル傷兵院新營ノ經費ニ充用スル爲第七條ノ規定ニ拘ラズ傷兵院基金ノ内五十萬圓ヲ限リ一般會計ニ繰入ルルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ傷兵院基金ヲ繰入レ使用シタルトキハ之ニ依リテ得タル土地及建物其ノ他ノ工作物ハ之ヲ傷兵院基金トス

本法施行ノ際現ニ癈兵院ニ入院中ノ者ハ本法ニ依リ傷兵院ニ入院セシメタルモノト看做ス

（參照）

明治三十九年四月七日公布法律第二十九號癈兵院法

第一條 戰闘ノ爲傷痍ヲ受ケ軍人恩給法ニ依リ増加恩給ヲ受クル者ニシテ救護ヲ要スルモノハ命令ノ定ムル所ニ依リ癈兵院ニ收容ス

癈兵院ニ收容シタル者ハ國費ヲ以テ終身之ヲ扶養ス

第二條 公務ノ爲傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ軍人恩給法ニ依リ増加恩給ヲ受クル者ニシテ救護ヲ要スルモノハ特ニ癈兵院ニ收容スルコトヲ得

第三條 癈兵院ニ收容中ノ者ニハ恩給ノ支給ヲ停止シ其ノ親族ニ扶助料ヲ給ス

前項ノ扶助料ニ付テハ軍人恩給法ノ扶助料ニ關スル規定ヲ準用ス但シ其ノ年額ハ軍人恩給法第二十八條第一項第三號ノ金額ニ依ル

軍人ノ兄弟姉妹ニシテ第一項ノ扶助料ヲ受ケタル者ニハ軍人恩給法第三十四條ノ扶助料ヲ給セス

第四條 癈兵院ニ收容シタル者左ノ事項ノ一ニ該當スルトキハ退院ヲ命ス

一 軍人恩給法ニ依リ恩給ヲ剝奪セラレ又ハ停止セラレタルトキ

二 救護ヲ要セサルニ至リタルトキ

三 屢懲戒ニ處セラレ改悛ノ見込ナキトキ

第五條 癈兵院ニ收容シタル者ニシテ退院ヲ命セラレ又ハ自己ノ便宜ニ依リ退院シタル者ハ退院ノ日ヨリ二箇年ヲ經過スルニ非サレハ再ヒ癈兵院ニ收容スルコトヲ得ス但シ特別ノ事由アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第六條 癈兵院ニ收容シタル者ニ對シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ懲戒ヲ爲スコトヲ得

第七條 癈兵院ニ於テ寄附ヲ受ケタル不動産、金錢及有價證券ハ癈兵院基金ト爲シ其ノ利子其ノ他ノ果實ト共ニ之ヲ蓄積ス

第八條 癈兵院基金ノ利子其ノ他ノ果實ハ癈兵院ニ收容シタル者ニ係ル費用ニノミ之ヲ使用スルコトヲ得

第九條 癈兵院基金及其ノ利子其ノ他ノ果實ノ收支ニ係ル檢査ハ會計檢査院法第十六條ニ依ル

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル健康保險法中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和九年三月二十四日

内閣總理大臣 子爵 齋藤 實
内務大臣 男爵 山本 達雄

法律第十三號

健康保險法中左ノ通改正ス

第十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル工場、事業場又ハ事業ニ使用セラルル者ハ健康保險ノ被保險者トス但シ臨時ニ使用セラルル者ニシテ勅令ヲ以テ指定スルモノ及一年ノ報酬千二百圓ヲ超ユル職員ハ此ノ限ニ在ラズ

一 工場法第一條ノ規定ニ依リ同法ノ適用ヲ受クル工場

二 鑛業法ノ適用ヲ受クル事業場又ハ工場

本文

三　左ニ掲グル事業ニシテ常時五人以上ノ勞働者ヲ使用スルモノ
（イ）物ノ製造、加工、選別、包裝、修理又ハ解體ノ事業
（ロ）鑛物ノ採掘又ハ採取ノ事業
（ハ）電氣ノ傳導又ハ動力ノ發生若ハ傳導ノ事業
（ニ）地方鐵道法又ハ軌道法ノ適用ヲ受クル事業
（ホ）（ニ）ニ掲グルモノヲ除クノ外陸上ニ於テ爲ス貨物又ハ旅客ノ運送ノ事業ニシテ勅令ヲ以テ指定スルモノ

第十四條第一項ヲ左ノ如ク改ム
前條ノ工場、事業場又ハ事業ヲ除クノ外左ノ各號ノ一ニ該當スル事業ノ事業主ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ事業及之ニ附屬スル事業ニ使用セラルル者ヲ包括シテ健康保險ノ被保險者ト爲スコトヲ得前條ノ工場、事業場又ハ事業ニ附屬スル事業ニ付亦同ジ
一　前條第三號ノ事業ニシテ常時五人未滿ノ勞働者ヲ使用スルモノ
二　土木工事又ハ工作物ノ建設、保存、修理若ハ破壞ノ工事ニシテ主務大臣ノ指定スルモノ
三　貨物積卸ノ事業
四　前各號ニ掲グルモノノ外勅令ヲ以テ指定スル事業

第十六條　第十三條ノ工場又ハ事業ガ同條ノ規定ニ該當セザルニ至リタルトキハ其ノ工場又ハ事業ニ付第十四條ノ認可アリタルモノト看做ス

附則

本法ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ本法實施ノ爲ニ豫メ必要ナル事項ニ關シテハ昭和十年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（參照）

大正十一年四月二十二日公布法律第七十號健康保險法抄錄

第十三條　工場法第一條ノ規定ニ依リ同法ノ適用ヲ受クル工場又ハ鑛業法ノ適用ヲ受クル事業場若ハ工場ニ使用セラルル者ハ健康保險ノ被保險者トス但シ臨時ニ使用セラルル者ニシテ勅令ヲ以テ指定スルモノ及一年ノ報酬千二百圓ヲ超ユル職員ハ此ノ限ニ在ラス

第十四條第一項
前條ニ規定スル工場及事業場ヲ除クノ外左ノ各號ノ一ニ該當スル事業ノ事業主ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ事業及之ニ附屬スル事業ニ使用セラルル者ヲ包括シテ健康保險ノ被保險者ト爲スコトヲ得
一　鑛物ノ採掘又ハ採取ノ事業
二　物ノ製造、加工、選別、包裝、修理又ハ解體ノ事業
三　電氣又ハ動力ノ發生、變壓又ハ傳導ノ事業
四　土木工事又ハ工作物ノ建設、保存、修理若ハ破壞ノ工事ニシテ主務大臣ノ指定スルモノ
五　地方鐵道法又ハ軌道法ノ適用ヲ受クル事業
六　前號ニ掲グルモノヲ除クノ外陸上ニ於テ爲ス貨物又ハ旅客ノ運送ノ事業ニシテ主務大臣ノ指定スルモノ
七　貨物積卸ノ事業
八　前各號ニ掲グルモノノ外勅令ヲ以テ指定スル事業

第十六條　工場法第一條ノ規定ニ依リ同法ノ適用ヲ受クル工場又ハ鑛業法ノ適用ヲ受クル工場ガ其ノ適用ヲ受ケサルニ至リタルトキハ其ノ工場ニ付第十四條ノ認可アリタルモノト看做ス

勅令

朕臺灣總督府諸學校官制中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和九年三月二十四日
內閣總理大臣　子爵　齋藤實
拓務大臣　永井柳太郎

勅令第三十四號

臺灣總督府諸學校官制中左ノ通改正ス

別表中臺北第一師範學校ノ項教諭ノ欄「二〇」ヲ「二二」ニ、臺北第二師範學校ノ項教諭ノ欄「二一」ヲ「二三」ニ、臺南師範學校ノ項教諭ノ欄「二一」ヲ「二三」ニ改ム

附則

本令ハ昭和九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

條約

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ昭和五年十月十一日「アンカラ」ニ於テ帝國全權委員ガ「トルコ」國全權委員ト共ニ署名調印シタル日本國「トルコ」國間通商航海條約ヲ批准シ署名議定書ト共ニ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和九年三月二十四日
內閣總理大臣　子爵　齋藤實
外務大臣　廣田弘毅

條約第一號

日本國「トルコ」國間通商航海條約

一方日本國皇帝陛下及他方「トルコ」共和國大統領ハ兩國間ノ通商航海關係ヲ規律スルノ希望ニ促サレ條約ヲ締結スルコトニ決シ之ガ爲左ノ如ク其ノ全權委員ヲ任命セリ

日本國皇帝陛下
在「トルコ」國臨時代理大使二瓶兵二

「トルコ」共和國大統領
前大臣、前大使、「ディヤリベキル」選出國民議會議員「ゼカイ、ベー」
「ブルドゥル」選出國民議會議員「ムスタファ、シェレフ、ベー」
外務次官「メネメンリ、ヌマン、ベー」

右各全權委員ハ互ニ其ノ全權委任狀ヲ示シ之ガ良好妥當ナルヲ認メタル後左ノ諸規定ヲ協定セリ

第一條

締約國ノ一方ノ源産ニ係ル生産品又ハ製造品ハ其ノ何レノ地ヨリ到ルヲ問ハズ他方ノ領域內ヘノ輸入ニ當リ關稅、附加稅及增加係數又ハ他ノ一切ノ稅金若ハ課金ニ關シ其ノ地方的呼稱ノ如何ヲ問ハズ最惠國ノ同樣ノ産品ニ許與セラレ又ハ將來許與セラルルコトアルベキ所ニ比シ不利益ナル待遇ヲ受クルコトナカルベシ

締約國ノ一方ノ領域ヨリ他方ノ領域ニ向ケ輸出セラルベキ生産品又ハ製造品ハ最惠國ノ領域ニ仕向ケラルル同樣ノ産品ニ適用セラレ又ハ適用セラルベキ所ト異ルカ又ハ之ヨリ高キ稅金若ハ課金ヲ課セラルルコトナカルベシ

最惠國待遇ノ保障ハ輸入稅及輸出稅ノ徵收方法、商品ノ稅關倉庫ヘノ庫入、稅關ノ賦課

金及手續竝ニ輸入商品ノ檢査及分析ノ方法ニ及ボサル

第二條

締約國ノ一方ハ他方ノ領域ヨリ到リ又ハ該領域ニ仕向ケラルル何レノ物品ノ輸入又ハ輸出ニ對シテモ別國ヨリ來リ又ハ別國ニ向フ同樣ノ物品ニ對シ均シク及ボサレザル何等ノ禁止又ハ制限ヲ存置シ又ハ加フルコトナカルベシ尤モ本條ノ規定ハ戰時ニ於テ又ハ衞生上ノ措置トシテ又ハ有用ナル動物若ハ植物ノ生命ヲ病疫及有害ナル寄生物ニ對シ保護スルノ目的ヲ以テ存置セラレ又ハ加ヘラルル禁止又ハ制限ニ適用セラルルコトナシ但シ右禁止又ハ制限ハ同一ノ條件ノ下ニ在ル別國ニ對シ同時ニ且同樣ニ及ボサルベキモノト常ニ了解セラル

第三條

締約國ハ其ノ領域ノ通過ノ自由ヲ相互的ニ許與スベク且右ニ付統計稅竝ニ監視及倉敷ノ費用ヲ除クノ外何等ノ通過稅ヲモ徵收セザルコトヲ約ス

第四條

締約國ノ一方ノ領域ヘノ輸入ニ當リ或輸入品ニ關シ異リタル關稅ノ存スルコトアルベキ場合ニハ他方ノ領域ヨリ來ル物品ガ最低稅ノ利益ヲ受クル爲ニハ原産地證明書ヲ要求スルコトヲ得ベシ

原産地證明書ハ荷送人ノ屬スル商工會議所、稅關官憲又ハ仕向國ノ容認シタル機關若ハ團體ニ依リ發給セラルベシ原産地證明書ハ仕向國ノ外交官又ハ領事官ニ依リ證明セラルベシ

第五條

國、州、縣及市町村ノ計算ニ於テ徵收セラルル內國稅ニシテ締約國ノ一方ノ領域內ニ於ケル物品ノ生産、製造又ハ消費ニ課セラレ又ハ課セラルベキモノハ他方ノ産品ニ對シテハ如何ナル理由ノ下ニ於テモ同種ノ內國産品又ハ右産品ナキ場合ニハ最惠國ノ同種ノ産品ニ對スルヨリモ高キコトナカルベシ

第六條

締約國ノ一方ノ國民タル商工業者及該國ノ領域內ニ於テ住所ヲ有シ且商業及工業ヲ營ム商工業者ハ自ラ行フト旅商ニ依リ行フトヲ問ハズ他方ノ領域內ニ於テ買入ヲ爲シ又ハ見本ヲ携帶シ若ハ携帶セズシテ註文ヲ取集ムルコトヲ得ベシ右商工業者及其ノ旅商ハ斯ク買入ヲ爲シ及註文ヲ取集ムルニ當リテハ課稅及便益ニ關シ最惠國待遇ヲ享有スベシ

見本トシテ輸入セラルル物品ハ其ノ再輸出セラルルコト又ハ法定期間內ニ再輸出セラレザル場合ニ成規ノ關稅ノ支拂ハルルコトヲ確保スル爲制定セラレタル稅關ノ規則及手續ニ從フニ於テハ兩締約國ノ各ニ於テ一時無稅輸入ヲ許可セラルベシ但シ右特權ハ物品ニシテ其ノ數量又ハ價格ニ徵シ見本ト認ムルコト能ハザルモノ又ハ其ノ性質上其ノ再輸出ノ際同一物ナルコトヲ認識スルコト能ハザルモノニ及ボサレザルベシ見本ガ無稅輸入ヲ許可セラレ得ルモノナリヤ否ヤヲ決定スルノ權利ハ何レノ場合ニ於テモ輸入ノ行ハレタル地ノ權限アル官憲ニ專屬ス

第七條

各締約國ハ總領事、領事及副領事ヲ、他方ノ領域ノ都市及港ニシテ其ノ政府ガ何レカノ別國ノ同樣ノ代表者ノ駐在ヲ認許スルモノニ駐在セシムル爲任命スルノ自由ヲ有スベシ但シ右總領事、領事及副領事ハ認可狀又ハ其ノ駐在國ノ政府ニ依リ制定セラレタル形式ニ依ル他ノ必要ナル證認狀ヲ得ルニ先チ職務ヲ開始スルコトナカルベシ

締約國ノ一方ノ領事官ハ何レカノ別國ノ同樣ノ官吏ニ許與セラレ又ハ許與セラルベキ一切ノ特權、特典及免除ヲ他方ノ領域內ニ於テ相互條件ノ下ニ享有スベシ

第八條

締約國ノ一方ノ國民ガ他方ノ領域內ニ於テ死亡シタル場合ニ於テ死亡者ニ遺族アルモ死亡者ノ本國ノ法令ニ依リ其ノ相續財産ヲ收受シ且之ヲ管理スルノ權限ヲ有スル者ガ死亡地ニ在ラザルトキハ死亡者ノ屬スル國ノ權限アル領事官ハ必要ナル手續ヲ完了シタル上右財産ノ所在國ノ法令ニ依リ定メラルル方法及制限ニ從ヒ右財産ヲ收受シ且之ヲ管理スルノ權限ヲ有スベシ

死亡者ノ相續財産ノ管理ニ關スル一切ノ事項ニ付テハ締約國ノ一方ガ何レカノ別國ノ領事官ニ既ニ許與シ又ハ將來許與スベキ一切ノ特權、特典及免除ハ相互條件ノ下ニ直ニ他方ノ領事官ニ及ボサルベキモノトス

第九條

締約國ノ一方ノ領事官ニシテ他方ノ領域內ニ駐在スルモノハ他方ノ國民以外ノ海員ニシテ右一方ノ締約國ノ船舶ヨリノ脫船者タルモノノ取戾ノ爲法令ニ依リ許サルル援助措置ヲ地方官憲ヨリ受クベシ

第十條

各締約國ハ入港ノ自由ニ關シ、港ノ使用ニ關シ竝ニ該締約國ガ航海ニ付、船舶其ノ載貨及旅客ニ關スル商業的業務ニ付、荷積上及荷卸上ノ便益ニ付竝ニ政府、公ノ機關、特權取得者又ハ各種營造物ノ名義又ハ計算ニ於テ徵收セラルル一切ノ稅金及手數料ニ付許與スル便宜ノ完全ナル享有ニ關シ自國海港內ニ於テ自國船舶ノ待遇ト同一ノ待遇ヲ他方ノ船舶ニ對シ確保スルコトヲ約ス

第十一條

締約國ノ一方ノ船舶ノ他方ノ沿岸ニ於ケル難破、擱坐、海上損害又ハ不可抗力ニ依ル寄港ノ場合ニハ該船舶ハ各締約國ノ法令ガ同樣ノ場合ニ自國船舶ニ許與スル所ト同一ノ保護及便益ヲ船舶及貨物ニ關シ享有スベシ船長、海員及旅客ニ對シテハ其ノ身體竝ニ船舶及其ノ載貨ニ關シ內國民ニ對スルト同一ノ程度ニ於テ救護及救援ヲ與フベシ救助ニ關スル作業ハ當該國ノ法令ニ從ヒ行ハルベク且內國民ガ同樣ノ場合ニ課セラルベキ所ヨリ高キ救助費ハ支拂ハルルコトナカルベシ

又締約國ハ救上ゲラレタル商品ガ內國ノ消費ニ供セラレザル限リ該商品ハ何等ノ關稅ヲモ課セラレザルベキコトニ同意ス

第十二條

船舶ノ國籍ハ船內ニ在ル證書及認可證ニシテ各締約國ノ權限アル官憲ノ發給シタルモノニ依リ當該船舶ノ所屬國ノ法令ニ從ヒ確認セラルベシ

第十三條

締約國ノ一方ノ國旗ヲ掲グル船舶ニシテ他方ノ港ニ入ルモノハ外國仕向ノ荷積ヲ爲シ又ハ完了スル爲タルト外國ヨリ積載シ來レル貨物ノ全部又ハ一部ヲ陸揚スル爲タルトヲ問ハズ該國ノ法令及規則ニ從フニ於テハ其ノ貨物中該國ノ他ノ港又ハ外國ノ港ニ仕向ケラルルコトアルベキ部分ヲ船內ニ保有スルコトヲ得ベク且同樣ノ場合ニ內國船舶ニ課セラレ又ハ課セラルベキ所ト異ル稅金ヲ支拂フコトナクシテ之ヲ再輸出スルコトヲ得ベシ

第2167号 本文

第十四條

本條約ハ左記ニ適用セラルルコトナシ

一　沿岸貿易　右ニ關スル制度ハ各締約國ノ法令ニ依リ夫々律セラル

二　接壤國トノ國境貿易ニ於テ締約國ノ一方ニ依リ許與セラレ又ハ將來許與セラルルコトアルベキ恩典

三　一又ハ二以上ノ國トノ間ニ締結セラレ又ハ締結セラルベキ關稅同盟ヨリ生ズルコトアルベキ特別恩典

四　締約國ノ一方ノ內國民漁業ノ產物又ハ內國民漁業ニ準ゼラルル漁業ノ產物ニ其ノ輸入ニ關シ許與セラレ又ハ將來許與セラルルコトアルベキ待遇

五　締約國ノ領水內ニ於テ漁業ヲ營ムコト

六　「トルコ」國ト千九百二十三年「オットマン」帝國ヨリ分離シタル諸國トノ間ニ關稅率ニ關シ存在シ又ハ將來存在スルコトアルベキ特別ノ利益及恩典

七　內國商船ニ許與セラルル獎勵

八　港、碇泊所及海濱ニ於ケル海事業務ヲ行フコト竝ニ海上ノ水先案內、曳船、救助及救援ヲ營ムコト但シ右作業ガ夫々ノ領水內ニ於テ又「トルコ」國ニ付テハ「マルマラ」海ニ於テ行ハルル場合ニ限ル

第十五條

第七條、第八條及第十四條ニ於ケルガ如ク本條約ガ明ニ別段ノ規定ヲ設クル場合ヲ留保シ、各締約國ノ通商及航海ガ右例外ノ場合ヲ除クノ外他方ニ依リ一切ノ點ニ於テ最惠國ノ地步ニ置カルベシトハ締約國ノ意嚮ナルヲ以テ締約國ハ通商及航海ニ關スル一切ノ事項ニ關シテハ締約國ノ何レカノ一方ガ別國ノ船舶又ハ國民ニ既ニ許與シ又ハ將來許與スルコトアルベキ何レノ恩惠的待遇モ即時ニ、無條件ニ且無償ニテ他方ノ船舶又ハ國民ニ及ボサルベキコトニ同意ス

第十六條

本條約ノ規定ハ締約國ノ何レカノ一方ニ屬シ又ハ其ノ管治スル一切ノ地域ニ適用セラルベシ

第十七條

本條約ハ批准セラルベク且其ノ批准書ハ成ルベク速ニ「アンカラ」ニ於テ交換セラルベシ

本條約ハ批准書ノ交換後三十日ニシテ實施セラルベシ

本條約ハ其ノ實施ノ日ヨリ三年ノ存續期間ヲ有スベシ

締約國ノ一方ニ依ル廢棄ノ通告ガ右期間ノ滿了ノ少クトモ六月前ニ爲サレザルトキハ本條約ハ暗默ニ延長セラルベク且其ノ廢棄ノ通告ノ日ヨリ六月ノ期間ノ滿了ニ至ル迄引續キ效力ヲ有スベシ

右證據トシテ各全權委員ハ本條約ニ署名調印セリ

昭和五年十月十一日即チ千九百三十年十月十一日「アンカラ」ニ於テ本書二通ヲ作成ス

二瓶兵二(印)
ゼカイ(印)
ムスタフア、シェレフ(印)
エム、ヌマン(印)

署名議定書

本日附ヲ以テ締結セラレタル本條約ニ署名スルニ當リ下名ノ全權委員ハ左ノ如ク協定セリ

一　不當廉賣ニ關スル各締約國ノ法律上ノ規定ハ本條約ノ規定ニ依リ害セラレザルモノトス

二　第十條ノ規定ハ「トルコ」國ガ自國ノ國旗ヲ掲ゲ且「トルコ」國ノ諸港間ニ於ケル「トルコ」國郵便物ノ運搬事務ニ規則的ニ從事スル船舶ニ對シ燈臺稅ノ引下ヲ許與スルノ事實ニ依リ害セラルト看做サレザルベキモノトス

三　又千九百二十九年七月三十一日「アンカラ」ニ於テ署名セラレタル日本國「トルコ」國間通商暫定取極ハ本條約ノ實施後直ニ失效スベキモノトス

本議定書ハ本條約ノ不可分ノ一部ヲ成シ且同條約ト同時ニ實施セラルベシ

昭和五年(千九百三十年)十月十一日「アンカラ」ニ於テ本書二通ヲ作成ス

二瓶兵二
ゼカイ
ムスタフア、シェレフ
エム、ヌマン

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐メル日本國皇帝(御名)此ノ書ヲ見ル有衆ニ宣示ス

朕昭和五年十月十一日「アンカラ」ニ於テ帝國全權委員ガ「トルコ」國全權委員ト共ニ署名調印シタル日本國「トルコ」國間通商航海條約ヲ閲覽點檢シ之ヲ嘉納批准ス

神武天皇即位紀元二千五百九十一年昭和六年十月十九日東京宮城ニ於テ親ラ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム

御名　國璽

外務大臣　男爵　幣原喜重郎

右佛文左ノ如シ

TRAITE DE COMMERCE ET DE NAVIGATION

ENTRE

LE JAPON ET LA TURQUIE

SA MAJESTE L'EMPEREUR DU JAPON

d'une part, et

SON EXCELLENCE LE PRESIDENT DE LA REPUBLIQUE TURQUE

d'autre part;

animés du désir de régler les relations de Commerce et de Navigation entre leurs deux Pays, ont résolu de conclure un Traité et ont nommé à cet effet pour leurs Plénipotentiaires, à savoir:

SA MAJESTE L'EMPEREUR DU JAPON:

Monsieur Hioji Nihei, Chargé d'Affaires ad interim du Japon en Turquie; et

SON EXCELLENCE LE PRESIDENT DE LA REPUBLIQUE TURQUE:

Zekâi Bey, ancien Ministre et Ambassadeur, Député de Diyaribekir;

Mustafa Şeref Bey, Député de Burdur;

Menemenli Numan Bey, Sous-Secrétaire d'Etat au Ministère des Affaires Etrangères;

lesquels, après s'être communiqué leurs pleins pouvoirs respectifs, trouvés en bonne et due forme, sont convenus des dispositions suivantes:

Article I.

Les produits naturels ou fabriqués originaires de l'une des Hautes Parties Contractantes, quelle qu'en soit la provenance, ne pourront être soumis, à leur importation sur les territoires de l'autre, en ce qui concerne les droits de douane, les surtaxes et coefficients de majoration ou tous autres droits ou charges quelconques, à un traitement moins favorable que celui qui est accordé ou qui pourrait être accordé à l'avenir aux produits similaires du pays le plus favorisé, quelle que soit leur appellation régionale.

Les produits naturels ou fabriqués qui seront exportés des territoires de l'une des Hautes Parties Contractantes à destination des territoires de l'autre ne seront pas assujettis à des droits ou charges autres ou plus élevés que ceux qui sont ou pourront être appliqués aux produits similaires à destination des territoires de la nation la plus favorisée.

L'assurance du traitement de la nation la plus favorisée s'étend à la manière de percevoir les droits d'importation et d'exportation, à la mise des marchandises dans les entrepôts des douanes, aux redevances et formalités douanières, au mode pour l'examen et l'analyse des marchandises importées.

Article II.

Aucune prohibition ou restriction ne sera maintenue ou imposée par l'une des Hautes Parties Contractantes à l'importation ou à l'exportation d'un article quelconque en provenance ou à destination des territoires de l'autre, qui ne s'étendra également aux articles similaires venant de tout autre pays ou y allant. La disposition du présent article n'est cependant pas applicable aux prohibitions ou restrictions maintenues ou imposées, soit en temps de guerre, soit comme mesures sanitaires, soit dans le but de protéger la vie des animaux ou des plantes utiles contre les maladies et les parasites nuisibles, étant toujours entendu que les prohibitions ou restrictions susvisées seront étendues en même temps et de la même manière à d'autres pays étrangers se trouvant dans les mêmes conditions.

Article III.

Les Hautes Parties Contractantes s'accorderont réciproquement la liberté du transit à travers leurs territoires et Elles s'engagent à ne percevoir de ce chef aucun droit de transit, à l'exception des droits de statistique et des frais de surveillance et de magasinage.

Article IV.

Au cas où il existerait, à l'entrée des territoires de l'une des Hautes Parties Contractantes, des droits de douane différents à l'égard de quelques articles d'importation, des certificats d'origine pourront être exigés pour que les articles venant des territoires de l'autre soient admis aux bénéfices des droits les plus réduits.

Les certificats d'origine seront délivrés soit par les Chambres de Commerce et d'Industrie dont relève l'expéditeur, soit par les autorités douanières, soit par tout organe ou groupement que le pays destinataire aura agréé. Ils seront légalisés par un représentant diplomatique ou consulaire du pays destinataire.

Article V.

Les taxes intérieures, perçues pour le compte de l'Etat, des provinces, départements et communes, qui grèvent ou

第2167号本文

grèveront la production, la fabrication ou la consommation d'un article dans les territoires de l'une des Hautes Parties Contractantes ne frapperont sous aucun motif les produits de l'autre d'une manière plus forte que les produits indigènes de même espèce ou, à défaut de ces produits, que ceux de la nation la plus favorisée.

Article VI.

Les négociants et les industriels, ressortissants de l'une des Hautes Parties Contractantes, ainsi que les négociants et les industriels, domiciliés et exerçant leur commerce et industrie dans les territoires de cette Partie, pourront, dans les territoires de l'autre, soit en personne, soit par des commis voyageurs, faire des achats ou recueillir des commandes, avec ou sans échantillons. Ces négociants, industriels et leurs commis voyageurs, en faisant ainsi des achats et en recueillant des commandes, jouiront, en matière d'imposition et de facilités, du traitement de la nation la plus favorisée.

Les articles importés comme échantillons seront, dans chacun des deux pays, admis temporairement en franchise de droits, en conformité des règlements et formalités de douane établis pour assurer leur réexportation ou le paiement des droits de douane prescrits en cas de non-réexportation dans le délai prévu par la loi. Toutefois, ledit privilège ne s'étendra pas aux articles qui, à cause de leur quantité ou valeur, ne peuvent pas être considérés comme échantillons, ou qui, à cause de leur nature, ne sauraient être identifiés lors de leur réexportation. Le droit de décider si un échantillon est susceptible d'admission en franchise, appartient exclusivement, dans tous les cas, aux autorités compétentes du lieu où l'importation a été effectuée.

Article VII.

Chacune des Hautes Parties Contractantes aura la liberté de nommer des Consuls Généraux, Consuls et Vice-Consuls pour résider dans les villes et ports des territoires de l'autre Partie où les Gouvernements respectifs admettent de pareils représentants d'une autre nation quelconque. Ces Consuls Généraux, Consuls et Vice-Consuls n'entreront pas, cependant, en fonction avant d'avoir obtenu l'exequatur ou autres autorisations nécessaires selon la forme instituée par le Gouvernement du pays auprès duquel ils sont nommés.

Les officiers consulaires de l'une des Hautes Parties Contractantes jouiront, dans les territoires de l'autre Partie, sous condition de réciprocité, de tous les privilèges, exemptions et immunités qui sont ou seront accordés aux officiers similaires d'un pays étranger quelconque.

Article VIII.

Dans les cas de décès d'un ressortissant de l'une des Hautes Parties Contractantes dans les territoires de l'autre, et si le défunt laisse des parents sans toutefois qu'il y ait sur le lieu du décès aucune personne autorisée par les lois du pays du défunt à se charger de sa succession et à l'administrer, l'officier consulaire compétent du pays dont le défunt était ressortissant sera autorisé, après avoir accompli les formalités nécessaires, à prendre en charge la succession et à l'administrer de la manière et sous les limitations prescrites par la loi du pays où se trouvent les biens.

Il est entendu qu'en tout ce qui concerne l'administration de la succession des défunts tous les privilèges, exemptions et immunités, que l'une des Hautes Parties Contractantes a déjà accordés ou accordera ultérieurement aux officiers consulaires d'un autre pays étranger quelconque, seront étendus immédiatement, sous condition de réciprocité, aux officiers consulaires de l'autre.

Article IX.

Les officiers consulaires de l'une des Hautes Parties Contractantes résidant dans les territoires de l'autre recevront des autorités locales la mesure d'assistance permise par la loi pour la reprise des marins, autres que les nationaux de celle-ci, déserteurs des vaisseaux de la première Haute Partie Contractante.

Article X.

Chacune des Hautes Parties Contractantes s'engage à assurer aux navires de l'autre, un traitement égal à celui de ses propres navires dans ses ports maritimes, en ce qui concerne la liberté d'accès du port, son utilisation et la complète jouissance des commodités qu'Elle accorde à la navigation, aux opérations commerciales pour les navires, leurs cargaisons et leurs passagers, aux facilités de chargement et de déchargement ainsi qu'aux droits et taxes de toute nature, perçus au nom ou pour le compte du Gouvernement, des autorités publiques, des concessionnaires ou des établissements de toute sorte.

Article XI.

En cas de naufrage, échouement, avarie en mer ou relâche forcée d'un navire de l'une des Hautes Parties Contractantes sur les côtes de l'autre, ce navire y jouira, tant pour le bâtiment que pour la cargaison, de la même protection et des mêmes facilités que celles que la législation de chacun des pays respectifs accorde à ses propres navires en pareille circonstance. Aide et assistance seront données, dans la même mesure qu'aux nationaux, au capitaine, à l'équipage et aux passagers, tant pour eux-mêmes que pour le bâtiment et sa cargaison. Les opérations relatives au sauvetage auront lieu conformément aux lois du pays, et il ne sera pas payé de frais de sauvetage plus forts que ceux auxquels les nationaux seraient assujettis en pareil cas.

Les Hautes Parties Contractantes conviennent en outre que les marchandises sauvetées ne seront soumises au paiement d'aucun droit de douane à moins qu'on ne les ait destinées à la consommation intérieure.

Article XII.

La nationalité des navires sera constatée d'après les lois de l'État auquel le navire en question appartient, au moyen des titres et patentes se trouvant à bord et délivrés par les autorités compétentes de chaque pays.

Article XIII.

Les navires et bateaux portant le pavillon de l'une des Hautes Parties Contractantes qui entreront dans un port de l'autre, soit pour y composer ou compléter leurs chargements pour une destination étrangère, soit pour y déposer toute ou partie de leur cargaison apportée de l'étranger pourront, en se conformant aux lois et règlements des pays respectifs, conserver à bord la partie de leur cargaison qui serait destinée à un autre port du même pays ou à un port étranger et la réexporter sans payer d'autres droits que ceux auxquels sont ou seront soumis en pareil cas les navires nationaux.

Article XIV.

Le présent Traité ne s'applique pas:

1. au cabotage, dont le régime reste soumis respectivement aux lois de chacune des Hautes Parties Contractantes;
2. aux faveurs accordées ou qui pourraient être accordées ultérieurement par l'une des Hautes Parties Contractantes dans le trafic frontière avec les pays limitrophes;
3. aux faveurs spéciales qui pourraient résulter d'une union douanière conclue ou à conclure avec un ou plusieurs pays;
4. au traitement accordé ou qui pourrait être accordé ultérieurement aux produits de la pêche nationale de l'une des Hautes Parties Contractantes ou aux produits des pêches assimilées à la pêche nationale, en ce qui concerne l'importation de leurs produits;
5. à l'exercice de la pêche dans les eaux territoriales des Hautes Parties Contractantes;
6. aux avantages et faveurs spéciaux existant ou qui pourront exister à l'avenir, en matière de tarifs douaniers, entre la Turquie et les pays qui se sont détachés de l'Empire Ottoman en 1923;
7. aux encouragements accordés à la marine marchande nationale;
8. à l'exercice des services maritimes des ports, des rades et des plages ainsi qu'à l'exercice du pilotage, du remorquage, du sauvetage et de l'assistance maritimes en tant que ces opérations s'effectuent dans les eaux territoriales respectives et, pour la Turquie, dans la Mer de Marmara.

Article XV.

Réserve faite des cas où ce Traité en dispose autrement d'une manière expresse, tels que dans les articles 7, 8 et 14, les Hautes Parties Contractantes conviennent qu'en tout ce qui concerne le commerce et la navigation, tout traitement favorable que l'une ou l'autre des Hautes Parties Contractantes a déjà accordé ou accorderait à l'avenir aux navires ou aux ressortissants de tout autre Etat, sera étendu immédiatement, sans condition et sans compensation, aux navires ou aux ressortissants de l'autre Partie, leur intention étant que, sauf les cas exceptionnels précités, le commerce et la navigation de chaque Partie soient placés, à tous égards, par l'autre sur le pied de la nation la plus favorisée.

Article XVI.

Les dispositions du présent Traité sont applicables à tous les territoires et possessions appartenant à l'une ou l'autre des Hautes Parties Contractantes ou administrés par Elle.

Article XVII.

Le présent Traité sera ratifié et les instruments de ratification en seront échangés à Ankara aussitôt que faire se pourra.

Il entrera en vigueur trente jours après l'échange des ratifications.

Le présent Traité aura une durée de trois années à partir du jour de son entrée en vigueur.

Si sa dénonciation par l'une des Hautes Parties Contractantes n'intervient pas au moins six mois avant l'expiration dudit délai, le présent Traité sera tacitement prorogé et restera en vigueur jusqu'à l'expiration d'un délai de six mois à partir du jour de sa dénonciation.

EN FOI DE QUOI, les Plénipotentiaires respectifs ont signé le présent Traité et y ont apposé leurs sceaux.

Fait en double exemplaire à Ankara, le onzième jour du dixième mois de la cinquième année de Showa correspondant au onzième jour du dixième mois de l'an mil neuf cent trente.

(L. S.) Hioji Nihei　　(L. S.) Zekâi

(L. S.) Mustafa Şeref

(L. S.) M. Numan

PROTOCOLE DE SIGNATURE.

Au moment de procéder à la signature du présent Traité conclu en date de ce jour, les soussignés plénipotentiaires sont convenus de ce qui suit:

I.—Il est entendu que les dispositions législatives de chacune des Hautes Parties Contractantes relatives au dumping ne sont pas atteintes par les dispositions du présent Traité.

II.—Il est entendu que les dispositions de l'article 10 ne doivent pas être considérées comme atteintes du fait que la Turquie accorde une réduction sur les taxes de phare aux navires battant le pavillon national et faisant régulièrement le service de transport des valises postales turques entre les ports turcs.

III.—Il est également entendu que l'accord commercial provisoire entre le Japon et la Turquie signé à Ankara le 31 juillet 1929 prendra fin immédiatement après la mise en vigueur du présent Traité.

Le présent Protocole fait partie intégrante du présent Traité et entrera en vigueur en même temps que celui-ci.

Fait en double à Ankara, le 11 octobre 5 Showa (1930).

Hioji Nihei　　Zekâi

Mustafa Şeref

M. Numan

省令

◎遞信省令第三十六號

昭和九年三月二十一日及三月二十二日ニ於ケル函館市ノ火災ニ因リ郵便爲替證書、郵便貯金通帳、證券保管通帳、郵便貯金拂戻證書又ハ郵便振替貯金拂出證書ヲ亡失シ又ハ毀損汚斑シテ不判明トナリタル爲之カ再度交付ノ請求ヲ爲ス者アルトキハ郵便官署ハ其ノ料金ヲ免除スルコトヲ得

前項ニ依リ料金ノ免除ヲ受ケムトスル者ハ昭和九年五月三十一日迄ニ再度交付ニ關スル請求書ヲ最寄郵便局ニ差出スヘシ

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和九年三月二十六日

遞信大臣　南　弘

告示

◎外務省告示第三十八號

昭和五年十月十一日「アンカラ」ニ於テ署名調印セラレタル日本國「トルコ」國間通商航海條約ニ對スル兩國ノ批准書ハ昭和九年三月二十日「アンカラ」ニ於テ交換セラレタリ

昭和九年三月二十六日

外務大臣　廣田　弘毅

◎外務省告示第三十九號

昭和五年十月十一日調印ノ日本國「トルコ」國間通商航海條約ニ關シ今般在土帝國特命全權大使ヲシテ「アンカラ」ニ於テ土國外務大臣トノ間ニ左ノ通公文交換ヲ行ハシメタリ

昭和九年三月二十六日

外務大臣　廣田　弘毅

(來翰)

以書翰啓上致候陳者本大臣ハ「トルコ」共和國政府ノ名ニ於テ同國政府ハ現下ノ經濟危機ニ基ク例外的事情ニ鑑ミ通商事項ニ關シ有條件又ハ無條件ノ意義ニ於ケル最惠國待遇ノ利益ヲ拋棄スルコト從テ日本國ガ或種ノ「トルコ」商品ニ對シ其ノ輸入ニ當リ適用セント欲スルコトアルベキ制限又ハ禁止ノ措置ニ反對セザルコトニ付日本帝國政府ニ同意スル旨閣下ニ通告スルノ光榮ヲ有シ候

同樣ニ「トルコ」共和國政府ハ千九百三十年十月十一日ノ條約ノ存續期間ヲ一年ニ限定スルコトニ付テモ日本帝國政府ニ同意致候

千九百三十年十月十一日ノ條約ノ條項ニシテ右ト異リタル定ヲ爲スモノハ本書翰ノ規定ノ效力ヲ害スルコトヲ得ザルベキモノニ有之本書翰ハ前記條約ト同一ノ效力及同一ノ適用範圍ヲ有スベク且同條約ノ不可分ノ一部ヲ成シ其ノ效力樣式ニ從フモノニ有之候

本書翰ハ千九百三十年十月十一日ノ條約ト同時ニ實施セラルル爲同條約ノ批准書ト同樣ニ且同時ニ交換セラルベキモノニ有之候

本大臣ハ茲ニ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候　敬具

千九百三十四年三月二十日「アンカラ」ニ於テ

ドクトル、テー、リュステュ

「トルコ」國駐箚日本國特命全權大使武者小路子爵閣下

(往翰)

以書翰啓上致候陳者本使ハ本國政府ノ訓令ニ從ヒ日本帝國政府ハ現下ノ經濟危機ニ基ク例外的事情ニ鑑ミ通商事項ニ關シ有條件又ハ無條件ノ意義ニ於ケル最惠國待遇ノ利益ヲ拋棄スルコト從テ「トルコ」國ガ或種ノ日本商品ニ對シ其ノ輸入ニ當リ適用セント欲スルコトアルベキ制限又ハ禁止ノ措置ニ反對セザルコトニ付「トルコ」共和國政府ニ同意スル旨閣下ニ通告スルノ光榮ヲ有シ候

同樣ニ日本帝國政府ハ千九百三十年十月十一日ノ條約ノ存續期間ヲ一年ニ限定スルコトニ付テモ「トルコ」共和國政府ニ同意致候

千九百三十年十月十一日ノ條約ノ條項ニシテ右ト異リタル定ヲ爲スモノハ本書翰ノ規定ノ效力ヲ害スルコトヲ得ザルベキモノニ有之本書翰ハ前記條約ト同一ノ效力及同一ノ適用範圍ヲ有スベク且同條約ノ不可分ノ一部ヲ成シ其ノ效力樣式ニ從フモノニ有之候

本書翰ハ千九百三十年十月十一日ノ條約ト同時ニ實施セラルル爲同條約ノ批准書ト同樣ニ且同時ニ交換セラルベキモノニ有之候

本使ハ茲ニ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候　敬具

昭和九年(千九百三十四年)三月二十日「アンカラ」ニ於テ

武者小路

在「アンカラ」

「トルコ」共和國外務大臣「ドクトル、テヴフィック、リュステュ、ベー」閣下

右佛文左ノ如シ

Ankara, le 20 mars 1934.

Monsieur l'Ambassadeur,

Au nom de mon Gouvernement, j'ai l'honneur de faire savoir à Votre Excellence que vu les circonstances exceptionnelles que traverse la crise économique actuelle et en ce qui concerne les questions de commerce, le Gouvernement de la République Turque est d'accord avec le Gouvernement Impérial du Japon pour renoncer au bénéfice du traitement de la nation la plus favorisée dans son acception, soit conditionnelle, soit inconditionnelle et, par conséquent, pour ne pas s'opposer aux mesures restrictives ou prohibitives que le Japon demanderait à appliquer à telles ou telles catégories de marchandises turques à leur importation.

De même le Gouvernement de la République Turque est d'accord avec le Gouvernement Impérial du Japon pour limiter à un an la durée du Traité du 11 octobre 1930.

Il est bien entendu que les stipulations du Traité du 11 octobre 1930 qui en disposent autrement ne sauraient infirmer les dispositions de la présente note qui aura le même effet et la même portée que ledit Traité dont elle constitue une partie intégrante et suit les modes de validité.

La présente note sera échangée de la même manière et en même temps que les ratifications du Traité du 11 octobre 1930 pour entrer en vigueur simultanément avec ledit Traité.

第 2167 号　本文

Veuillez agréer, Monsieur l'Ambassadeur, les assurances de ma très haute considération.

Dr. T. Rüştü

A Son Excellence
Monsieur le Vicomte Mushakoji,
Ambassadeur Extraordinaire et Plénipotentiaire
de Sa Majesté l'Empereur du Japon
en Turquie.

Ankara, le 20 mars, 9 Showa (1934).

Monsieur le Ministre,

D'ordre de mon Gouvernement, j'ai l'honneur de faire savoir à Votre Excellence que vu les circonstances exceptionnelles que traverse la crise économique actuelle et en ce qui concerne les questions de commerce, le Gouvernement Impérial du Japon est d'accord avec le Gouvernement de la République Turque pour renoncer au bénéfice du traitement de la nation la plus favorisée dans son acception, soit conditionnelle, soit inconditionnelle et, par conséquent, pour ne pas s'opposer aux mesures restrictives ou prohibitives que la Turquie demanderait à appliquer à telles ou telles catégories de marchandises japonaises à leur importation.

De même le Gouvernement Impérial du Japon est d'accord avec le Gouvernement de la République Turque pour limiter à un an la durée du Traité du 11 octobre 1930.

Il est bien entendu que les stipulations du Traité du 11 octobre 1930 qui en disposent autrement ne sauraient infirmer les dispositions de la présente note qui aura le même effet et la même portée que ledit Traité dont elle constitue une partie intégrante et suit les modes de validité.

La présente note sera échangée de la même manière et en même temps que les ratifications du Traité du 11 octobre 1930 pour entrer en vigueur simultanément avec ledit Traité.

Veuillez agréer, Monsieur le Ministre, les assurances de ma très haute considération.

Mushakoji

A Son Excellence
Monsieur le Dr. Tevfik Rüştü Bey,
Ministre des Affaires Etrangères
de la République Turque,
Ankara.

◎內務省告示第百四十五號

都市計畫法第一條ノ規定ニ依リ長崎縣諫早町、千々石町、小濱町、加津佐町、西有家町、島原町、大村町、早岐町、今福町、崎戸町、矢上村、福江町及巖原町ヲ指定ス

昭和九年三月二十六日　內務大臣　男爵　山本達雄

◎內務省告示第百四十六號

都市計畫法第二條第一項ノ規定ニ依リ長崎縣千々石町ノ區域ヲ以テ千々石都市計畫區域トス

昭和九年三月二十六日　內務大臣　男爵　山本達雄

◎內務省告示第百四十七號

都市計畫法第二條第一項ノ規定ニ依リ長崎縣小濱町ノ區域ヲ以テ小濱都市計畫區域トス

昭和九年三月二十六日　內務大臣　男爵　山本達雄

◎內務省告示第百四十八號

都市計畫法第二條第一項ノ規定ニ依リ長崎縣加津佐町ノ區域ヲ以テ加津佐都市計畫區域トス

昭和九年三月二十六日　內務大臣　男爵　山本達雄

◎內務省告示第百四十九號

都市計畫法第二條第一項ノ規定ニ依リ長崎縣早岐町ノ區域ヲ以テ早岐都市計畫區域トス

昭和九年三月二十六日　內務大臣　男爵　山本達雄

◎內務省告示第百五十號

都市計畫法第二條第一項ノ規定ニ依リ長崎縣今福町ノ區域ヲ以テ今福都市計畫區域トス

昭和九年三月二十六日　內務大臣　男爵　山本達雄

◎內務省告示第百五十一號

都市計畫法第二條第一項ノ規定ニ依リ長崎縣崎戸町ノ區域ヲ以テ崎戸都市計畫區域トス

昭和九年三月二十六日　內務大臣　男爵　山本達雄

◎內務省告示第百五十二號

都市計畫法第二條第一項ノ規定ニ依リ長崎縣矢上村ノ區域ヲ以テ矢上都市計畫區域トス

昭和九年三月二十六日　內務大臣　男爵　山本達雄

◎內務省告示第百五十三號

都市計畫法第二條第一項ノ規定ニ依リ長崎縣福江町ノ區域ヲ以テ福江都市計畫區域トス

昭和九年三月二十六日　內務大臣　男爵　山本達雄

◎內務省告示第百五十四號

都市計畫法第二條第一項ノ規定ニ依リ長崎縣巖原町ノ區域ヲ以テ巖原都市計畫區域トス

昭和九年三月二十六日　內務大臣　男爵　山本達雄

◎內務省告示第百五十五號

道路法第二十條第二項ノ規定ニ依リ本大臣ニ於テ新設又ハ改築ヲ爲スヘキ國道ノ路線名、區間及工事開始ノ期日左ノ如シ

昭和九年三月二十六日　內務大臣　男爵　山本達雄

路線名	區間	工事開始ノ期日
一號	自愛知縣愛知郡豐明村 至同縣鳴海町	昭和九年三月二十七日

◎內務省告示第百五十六號

昭和九年三月內務省告示第百五十五號ニ依ル國道ノ新設又ハ改築ニ關スル工事ハ土木出張所ヲシテ執行セシム

昭和九年三月二十六日　內務大臣　男爵　山本達雄

◎內務省告示第百五十七號

昭和八年四月內務省告示第百三十號中「岩淵町」ヲ「豐川町」ニ改ム

昭和九年三月二十六日　內務大臣　男爵　山本達雄

（參照）昭和八年四月內務省告示第百三十號ハ新設又ハ改築ヲ爲スヘキ國道ノ路線名等ノ件ナリ

◎陸軍省告示第十四號

昭和六年陸軍省告示第四十二號陸軍鐵道輸送手續中左ノ通改正ス

昭和九年三月二十六日　陸軍大臣　林銑十郎

第一樣式公務運賃割引證ノ裏面注意第五號(一)中「認印」ヲ「職印」ニ改ム

第二樣式公務運賃割引證ノ裏面注意第三號(一)中「認印」ヲ「職印」ニ改ム

第三樣式下士官兵旅客運賃割引證ノ裏面注意第六號(一)中「認印」ヲ「職印」ニ改ム

附　則

從前ノ規定ニ依ル運賃割引證ハ當分ノ內之ヲ使用スルコトヲ得

◎司法省告示第十八號

函館地方裁判所及函館區裁判所本月二十二日燒失シタルニ付函館市汐見町十七番地（函館市青年會館）ノ假廳舍ニ移轉セリ

昭和九年三月二十六日　司法大臣　小山松吉

◎司法省告示第十九號

函館區裁判所廳舍燒失ニ付本年五月二十一日マテ總テノ登記事務ヲ停止ス

昭和九年三月二十六日　司法大臣　小山松吉

◎文部省告示第百十一號

鳥取縣立農學校外二校ノ名稱ヲ昭和九年四月ヨリ何レモ左記ノ通變更ノ件昭和九年三月二十二日認可セリ

昭和九年三月二十六日　文部大臣　子爵　齋藤實

名稱	新名稱	位置
鳥取縣立農學校	鳥取縣立倉吉農學校	鳥取縣東伯郡社村
鳥取縣立工業學校	鳥取縣立米子工業學校	同米子市糀町
鳥取縣立商業學校	鳥取縣立鳥取商業學校	同鳥取市東町

◎文部省告示第百十二號

史蹟名勝天然紀念物保存法第一條ニ依リ左ノ通指定ス

昭和九年三月二十六日　文部大臣　子爵　齋藤實

第一類　天然紀念物

名稱	地名	地域
箒杉	神奈川縣足柄上郡三保村大字中川字箒澤	七〇二番

◎文部省告示第百十三號

小學校教科用圖書翻刻發行ニ關スル規程ニ依リ翻刻發行ヲ許可スル小學校教科用圖書中左ノ通定價ヲ定ム

昭和九年三月二十六日　文部大臣　子爵　齋藤實

尋常小學修身書　教師用　卷一　金十四錢

◎遞信省告示第七百十一號

昭和九年三月遞信省令第十七號船用品取締規則ニ依リ左記船用品ノ型式ヲ承認ス

昭和九年三月二十六日　遞信大臣　南弘

型式承認番號第三號

船用品ノ品名及型式　甲種舷燈（電氣用第一種）用無色硝子

申請人ノ營業所及名稱　東京市深川區三好町三丁目四番地　合資會社岩城硝子製造所

◎遞信省告示第七百十二號

昭和九年三月遞信省令第十七號船用品取締規則ニ依リ左記船用品ノ型式ヲ承認ス

昭和九年三月二十六日　遞信大臣　南弘

型式承認番號第四號

船用品ノ品名及型式　甲種舷燈（油用第二種又ハ電氣用）及乙種舷燈（電氣用）用無色圓筒形硝子

申請人ノ營業所及名稱　東京市深川區三好町三丁目四番地　合資會社岩城硝子製造所

◎遞信省告示第七百十三號

昭和九年三月遞信省令第十七號船用品取締規則ニ依リ左記船用品ノ型式ヲ承認ス

昭和九年三月二十六日　遞信大臣　南弘

型式承認番號第五號

船用品ノ品名及型式　圓筒燈（油用又ハ電氣用）用無色圓筒形硝子

申請人ノ營業所及名稱　東京市深川區三好町三丁目四番地　合資會社岩城硝子製造所

◎遞信省告示第七百十四號

昭和九年三月遞信省令第十七號船用品取締規則ニ依リ左記船用品ノ型式ヲ承認ス

昭和九年三月二十六日　遞信大臣　南弘

型式承認番號第六號

船用品ノ品名及型式　乙種檣燈（油用又ハ電氣用）用無色圓筒形硝子

申請人ノ營業所及名稱　東京市深川區三好町三丁目四番地　合資會社岩城硝子製造所

◎遞信省告示第七百十五號

昭和九年三月遞信省令第十七號船用品取締規則ニ依リ左記船用品ノ型式ヲ承認ス

昭和九年三月二十六日　遞信大臣　南弘

型式承認番號第七號

船用品ノ品名及型式　甲種檣燈（電氣用第一種）及三色燈（電氣用第一種）用無色圓筒形硝子

申請人ノ營業所及名稱　東京市深川區三好町三丁目四番地　合資會社岩城硝子製造所

◎遞信省告示第七百十六號

昭和九年三月遞信省令第十七號船用品取締規則ニ依リ左記船用品ノ型式ヲ承認ス

昭和九年三月二十六日　遞信大臣　南弘

型式承認番號第八號

船用品ノ品名及型式　甲種舷燈（電氣用第二種）用無色硝子

申請人ノ營業所及名稱　東京市深川區三好町三丁目四番地　合資會社岩城硝子製造所

◎遞信省告示第七百十七號

昭和九年三月遞信省令第十七號船用品取締規則ニ依リ左記船用品ノ型式ヲ承認ス

昭和九年三月二十六日　遞信大臣　南弘

型式承認番號第九號

船用品ノ品名及型式　甲種檣燈（電氣用第二種）及三色燈（電氣用第二種）用無色圓筒形硝子

申請人ノ營業所及名稱　東京市深川區三好町三丁目四番地　合資會社岩城硝子製造所

◎遞信省告示第七百十八號

無線電信法第二條ニ依リ左記私設無線電信施設ヲ許可セリ

昭和九年三月二十六日　遞信大臣　南弘

一、施設者名　中村碩郎

二、施設ノ目的　無線電信法第二條第一號、第三號及第六號ニ依リ航行ノ安全、電報送受及漁撈ニ關スル通信ニ使用

三、機器裝置場所　帆船第二南隣丸（定繫港枕崎）

四、呼出符號　JEDU

五、空中線電力　一五〇「ワット」

六、使用電波ノ型式及周波數　A1　一三六四kc　A2　五〇〇及一三六四kc

七、通信執務時間　不定

第2167号　本文

三、手荷物、小荷物、附隨小荷物及貨物ノ運賃計算ハ左ノ粁程ニ依ル

常陸大子近町間	三粁零分
近町田野河原間	三粁零分
田野河原上岡間	三粁零分
上岡芦野倉間	三粁零分
芦野倉八戸橋間	三粁零分
八戸橋依上間	三粁零分
依上下金澤間	三粁零分
下金澤上金澤間	三粁零分
上金澤久慈橋場間	三粁零分
久慈橋場境ノ明神峠間	三粁零分
境ノ明神峠盛泉間	三粁零分
盛泉那須谷川間	三粁零分
那須谷川一ツ石間	三粁零分
一ツ石大内間	三粁零分
大内馬坂間	三粁零分
馬坂那須新橋間	三粁零分
那須新橋大島橋間	三粁零分
大島橋健武間	三粁零分
健武那須藤澤間	三粁零分
那須藤澤馬頭間	三粁零分
馬頭都橋間	三粁零分
都橋小口間	三粁零分
小口小川辻町間	三粁零分
小川辻町那須吉田間	三粁零分
那須吉田那須谷田間	三粁零分
那須谷田久那瀬ノ渡間	三粁零分
久那瀬ノ渡大桶間	三粁零分
大桶七合小學校前間	三粁零分
七合小學校前谷淺見間	三粁零分
谷淺見七合村間	三粁零分
七合村瀧田間	三粁零分
瀧田寺町通間	三粁零分
寺町通烏山泉町間	三粁零分
烏山泉町烏山間	三粁零分

四、自動車線ヲ經由シ鐵道線相互間ニ亘ル貨物ノ取扱ヲ爲サズ

◎鐵道省告示第百二十七號

昭和九年三月三十一日ヨリ諏訪本線上諏訪淸水町下諏訪間及鹽尻線長地學校前諏訪今井間ニ於テ左ノ各號ニ依リ自動車ニ依ル運輸營業ヲ開始ス

昭和九年三月二十六日　鐵道大臣　三土　忠造

一、停車場及粁程

諏訪本線

停車場名	所在地	粁程	
上諏訪淸水町	長野縣諏訪郡上諏訪町		
上諏訪	(中央本線既設停車場)	上諏訪淸水町上諏訪間	一粁零分
大和下	長野縣諏訪郡上諏訪町	上諏訪大和下間	一粁零分
高木下	同縣同郡下諏訪町	大和下高木下間	一粁零分
富ヶ丘	同縣同郡同町	高木下富ヶ丘間	一粁零分
下諏訪	(中央本線既設停車場)	富ヶ丘下諏訪間	一粁零分
鹽尻線			
長地學校前	(諏訪本線既設停車場)		
諏訪今井	長野縣諏訪郡平野村	長地學校前諏訪今井間	一粁零分

二、前號ノ停車場中上諏訪停車場ニ於テハ一般運輸營業ヲ、其ノ他ノ停車場ニ於テハ旅客ニ限リ取扱フ、上諏訪以外ノ各停車場ヨリ乘車スル旅客ニ對シテハ諏訪線內著乘車券ニ限リ發賣ヲ爲ス

三、手荷物、小荷物、附隨小荷物及貨物ノ運賃計算ハ左ノ粁程ニ依ル

諏訪本線

上諏訪淸水町上諏訪間	三粁零分
上諏訪大和下間	三粁零分
大和下高木下間	三粁零分
高木下富ヶ丘間	三粁零分
富ヶ丘下諏訪間	三粁零分
鹽尻線	
長地學校前諏訪今井間	三粁零分

◎鐵道省告示第百二十八號

昭和九年三月三十一日ヨリ和田峠線上和田、長久保及丸子町以外ノ各停車場、諏訪本線長地學校前、小口藥師前、新屋敷ノ各停車場ニ於テハ諏訪線內各停車場著ノ旅客ニ限リ取扱ヲ爲ス

昭和九年三月二十六日　鐵道大臣　三土　忠造

◎鐵道省告示第百二十九號

昭和九年三月三十一日ヨリ川池線川之江阿波池田間ニ於テ左ノ各號ニ依リ自動車ニ依ル運輸營業ヲ開始ス

昭和九年三月二十六日　鐵道大臣　三土　忠造

一、停車場及粁程

停車場名	所在地	粁程	
川之江	(豫讃本線既設停車場)		
馬場先	愛媛縣宇摩郡川之江町	川之江馬場先間	一粁零分
伊豫金生	同縣同郡金生村大字下分	馬場先伊豫金生間	一粁零分
上分	同縣同郡上分町	伊豫金生上分間	一粁零分
伊豫金田	同縣同郡金田村大字金川	上分伊豫金田間	一粁零分
伊豫半田	同縣同郡同村大字半田	伊豫金田伊豫半田間	一粁零分
柴生	同縣同郡川瀧村大字柴生	伊豫半田柴生間	一粁零分
伊豫石川	同縣同郡同村大字下山	柴生伊豫石川間	一粁零分
椿堂	同縣同郡同村大字	伊豫石川椿堂間	一粁零分
伊豫平木	同縣同郡同村同大字	椿堂伊豫平木間	一粁零分
葱尾	同縣同郡同村同大字	伊豫平木葱尾間	二粁零分
七田	同縣同郡同村同大字	葱尾七田間	一粁零分
境目	德島縣三好郡佐馬地村大字佐野	七田境目間	四粁零分
根引	同縣同郡同村同大字	境目根引間	一粁零分
阿波佐野	同縣同郡同村同大字	根引阿波佐野間	二粁零分
浮世橋	同縣同郡同村同大字	阿波佐野浮世橋間	一粁零分
峯友	同縣同郡同村大字馬路	浮世橋峯友間	一粁零分
境ノ宮	同縣同郡同村同大字	峯友境ノ宮間	一粁零分
一藤	同縣同郡同村同大字	境ノ宮一藤間	二粁零分
佐馬地	同縣同郡同村同大字	一藤佐馬地間	一粁零分
阿波天神	同縣同郡同村大字白地	佐馬地阿波天神間	一粁零分
白地	同縣同郡同村同大字	阿波天神白地間	一粁零分
三好橋	同縣同郡同村同大字	白地三好橋間	一粁零分
中西	同縣同郡三繩村大字中西	三好橋中西間	一粁零分
板野	同縣同郡池田町	中西板野間	一粁零分
蓮見町	同縣同郡同町	板野蓮見町間	一粁零分
阿波池田	(德島本線既設停車場)	蓮見町阿波池田間	一粁零分

二、前號ノ停車場中川之江、阿波池田ノ各停車場ニ於テハ一般運輸營業ヲ、上分、阿波佐野ノ各停車場ニ於テハ旅客、到著手荷物、小荷物、到著附隨小荷物及貨物ヲ、其ノ他ノ停車場ニ於テハ旅客ニ限リ取扱フ

川之江、阿波池田以外ノ各停車場ヨリ乘車スル旅客ニ對シテハ前號ノ自動車線內著乘車券ニ限リ發賣ヲ爲ス

三、手荷物、小荷物、附隨小荷物及貨物ノ運賃計算ハ左ノ粁程ニ依ル

川之江馬場先間	三粁零分
馬場先伊豫金生間	三粁零分
伊豫金生上分間	三粁零分
上分伊豫金田間	三粁零分
伊豫金田伊豫半田間	三粁零分
伊豫半田柴生間	三粁零分
柴生伊豫石川間	三粁零分
伊豫石川椿堂間	三粁零分
椿堂伊豫平木間	三粁零分
伊豫平木葱尾間	六粁零分
葱尾七田間	三粁零分
七田境目間	一二粁零分
境目根引間	三粁零分
根引阿波佐野間	六粁零分
阿波佐野浮世橋間	三粁零分
浮世橋峯友間	三粁零分
峯友境ノ宮間	三粁零分
境ノ宮一藤間	六粁零分
一藤佐馬地間	三粁零分
佐馬地阿波天神間	三粁零分
阿波天神白地間	三粁零分
白地三好橋間	三粁零分
三好橋中西間	三粁零分
中西板野間	三粁零分
板野蓮見町間	三粁零分
蓮見町阿波池田間	三粁零分

四、自動車線ヲ經由シ鐵道線相互間ニ亘ル貨物ノ取扱ヲ爲サズ

◎鐵道省告示第百三十號

昭和七年六月鐵道省告示第百七十九號旅客及荷物運送規則中左ノ通改正シ昭和九年三月三十一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和九年三月二十六日　鐵道大臣　三土　忠造

第五十四條第三號中「北倉線、」ノ上ニ「常野線、」ヲ、「園篠線、」ノ下ニ「川池線、」ヲ加ヘ、「和田峠線、」ヲ「諏訪線、」ニ改ム

◎鐵道省告示第百三十一號

大正八年五月內閣告示第六號鐵道局ノ名稱、位置及管轄區域中左ノ通改正シ昭和九年三月三十一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和九年三月二十六日　鐵道大臣　三土　忠造

東京鐵道局ノ項管轄區域ノ欄中「信越線(輕井澤以南)、」ノ下ニ「常野線、」ヲ加フ

名古屋鐵道局ノ項管轄區域ノ欄中「岡多線、和田峠線、濱名線、笹津線、白城線、」ヲ「濱名線、岡多線、白城線、笹津線、諏訪線、」ニ改ム

大阪鐵道局ノ項管轄區域ノ欄中「倉敷線、」ノ下ニ「川池線、」ヲ加フ

◎鐵道省告示第百三十二號

大正八年五月鐵道院告示第二十號鐵道局內各事務所ノ名稱、位置及所管區域中左ノ通改正シ昭和九年三月三十一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和九年三月二十六日　鐵道大臣　三土　忠造

東京鐵道局管內ノ部宇都宮運輸、保線各事務所ノ項所管區域ノ欄ノ末尾ニ「、常野線(保線事務所ニ在リテハ常陸大子久慈橋場間ヲ除ク)」ヲ加ヘ水戸運輸、保線各事務所ノ項所管區域ノ欄ノ末尾ニ「、常野線中常陸大子久慈橋場間(保線事務所ニ限ル)」ヲ加フ

名古屋鐵道局管內ノ部甲府運輸、保線各事務所ノ項所管區域ノ欄中「和田峠線」ヲ「諏訪線」ニ改ム

◎鐵道省告示第百三十三號

大正八年五月鐵道院告示第二十一號大阪鐵道局出張所ノ名稱、位置及所管區域ノ欄中左ノ通改正シ昭和九年三月三十一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和九年三月二十六日　鐵道大臣　三土　忠造

高松出張所ノ項所管區域ノ欄中「高德線、」ノ下ニ「川池線、」ヲ加フ

◎鐵道省告示第百三十四號

函館市火災罹災者用政府拂下米左記ニ依リ取扱フ

昭和九年三月二十六日　鐵道大臣　三土　忠造

一發驛　秋葉原
一著驛　函館、五稜郭
一扱種別　貨切扱
一賃率　省線內十級賃率ノ五割減
一期間　自昭和九年三月二十三日　至昭和九年四月二十二日
一條件　本貨物ニ對シテハ北海道廳長官又ハ函館市長ニ於テ函館市火災罹災者用政府拂下米ナルコトヲ證明シタル書類ヲ貨物運送狀ニ添附スルコトヲ要ス

敍任及辭令

◎昭和九年三月十五日

従八位勳八等　新山善之進
　永井　寅松
勳八等　阿葉家正太郎
同　山畑　實盛
同　諸角　誠一
同　岡崎淸太郎
同　佐々木榮喜
勳七等　今井　廣義
勳八等　荻野　重雄
勳七等　杉浦　吾朗
勳八等　塔下　實
同　行岡　節生
同　山下　繁道
同　松永　泰次
勳七等　寶田長次郎
勳八等　岡幡　昇一
同　今井秋三郎
勳七等　野間口致德
勳八等　谷口　成男
同　內田　博
同　安達　守家

第2167号　本文

第2167号 本文

勳七等 折口 正成
同 大儀 光人
勳八等 坂田 篤
同 木村 孝事
同 伊藤久次郎
同 酒井 利郎
勳七等 倉田 一馬
同 安藤 爲一
同 冨岡 稔
勳八等 冨里 榮吉
花田 春二
勳八等 村山彌三治
同 植野 重利
同 調所 忠行
勳七等 塚本 矯平
勳八等 角平 榮吉
同 清水鏡太郎
中川 國雄
勳八等 陣野弥寿久
同 丸山 蔚
廣 七郎
勳八等 小澤 俊彦
同 岡田 正吉
志賀 日郎
勳八等 鳴海松五郎
同 水井忠太郎
同 川崎竹次郎
同 佐々木 務
同 天口伊兵衞
同 藤澤 達一
中薗 熊吉
勳八等 小濵 勇
同 伊藤亀代三
勳七等 松木平直行
高橋榮二郎
勳八等 白江 繁治
大友 治助
勳八等 高雄太郎一
勳七等 坂口 次郎
勳八等 藤本 芳樹

同 竹内六三郎
同 小澤 粂吉
勳七等 眞鍋 作治
勳八等 白根 春一
勳七等 中川 円二
同 長谷川得衛
同 川島 吉郎
勳八等 田中 三藏
勳七等 廊木 清象
勳六等 吉岡軍一郎
勳八等 奥谷 正信
同 加藤理三郎
勳七等 古江三四郎
勳八等 西野與吉郎
同 但野 竑
同 内田仁八郎
同 皆塚 義昌
勳七等 名波 藤八
勳六等 市島 英雄
勳七等 池田 高元
同 田中 正一
勳六等 天野 茂吉
津屋 二郎
勳八等 金井 金治
同 渡部 庄一
勳七等 増本 琢次
勳八等 森永 梅一
勳七等 干場 純三
勳八等 今富 光藏
勳七等 山口 金市
勳八等 今井 熊太
勳七等 山内 岩男
勳八等 渡邊 政義
同 桑原 等
勳七等 小川 武利
勳八等 長野 實永
同 山崎 万吉
同 池田吉四郎
勳六等 人見 赫治
勳七等 難波 一清

（各通）

同 伊神亀次郎
勳八等 今枝 茂
勳七等 河野 正見
勳八等 中村 茂吉
同 市川 定一
同 三輪 敏夫
同 井上 鹿夫
同 見城 市平
同 菊池與次郎
同 神野 晋市
勳七等 野呂甚太郎
同 仁科 万藏
勳八等 中島 章
同 白武 虎次
勳七等 小林 永知
勳八等 楠 傳
同 横手 清一
同 香川 昭二
同 高橋 喜作
同 木塚 良一
同 北川 優
同 堤 勝次
同 上田 正守
勳七等 竹内長三郎
勳八等 山岸 長藏
同 渕上 猛
同 岩佐 絲
同 酒井幸太郎
同 井上 德次
同 坂梨 家滿
勳七等 及川 幸三
勳八等 手島 武夫
同 藤丸 勇
同 光田 寅藏
同 加藤久代之助
川崎 保
勳八等 各務 知治
同 加藤 靜雄
長谷川萬吉
勳七等 高瀬 繁藏

勳八等 山田 譽六
勳七等 小田切晴雄
勳八等 大澤 尤
同 小川 長吉
同 狩谷傳次郎
同 長之保信吉
同 佐武 正平
同 田中 芳正
同 大竹 三吾
同 久保安太郎
同 渡邊 忠雄
同 齋藤與之助
高木 治郎
勳八等 片田 郡治
同 鈴木三七一
鈴木 慶治
勳八等 小野 義雄
同 伊藤半三郎
同 下村 高次
同 鳥居 才次
同 新留 政吉
同 後藤 梅作
同 矢島 勇
勳七等 下宮友三郎
勳八等 藤井 末武
同 工藤 茂助
同 山内 繁雄
同 池田 喜六
長岡 一郎
勳六等 増田 好貞
勳八等 橋本 次三
同 鈴木 一松
鍋野 政廣
小川 猛夫
勳八等 菅野 次衞
秋田 陽康
中西 太郎
勳八等 鷹羽粂治郎
上田 豊
吉岡 義一

天野 逸平
赤澤隆三郎
齊能 三藏
坂井 華
勳八等 中島藏之助
勳六等 福嶋 茂重
勳八等 永岡 良一
藤永 劦
勳七等 北脇 芳雄
同 藤井 正夫
勳八等 高野 恒一
同 森本 國治
井上 辰夫
勳八等 竹本 吾一
同 武田 宗逸
同 安念 孝吉
同 勢籏氏之助
若松 喬
勳八等 北川 嘉吉
金子 又次
關根 貞義
藤田 武夫
佐藤 萬吉
杉崎 精治
井出 泰文
白井 隆資
池上 敏郎
池田 初藏
宮代 芳男
四澤 正吉
井上 鎭男
針生 宗伯
齋藤 清
宮塚 敏榮
田中 宗吉
山本竹次郎
工藤 治郎
佐藤 政藏
西内 邦長
勳八等 山崎 文平
敍正八位

◎昭和九年三月十七日
正七位勳七等 森 正喜
敍勳六等授瑞寶章
陸軍工兵中尉從七位勳五等 神谷 豐平
任陸軍工兵大尉
◎昭和九年三月二十二日
藤原 清
敍勳八等授白色桐葉章
◎昭和九年三月二十三日
正六位 海江田信廣
敍從五位
簡易保險局書記 織田紀元司
任遞信局事務官
敍高等官七等
織田紀元司
敍從七位
◎昭和九年三月二十四日
專賣局參事正五位勳四等 菅野榮三郎
任大阪稅關長
敍高等官二等
銀行檢査官從五位勳六等 河西 金城
任專賣局參事
敍高等官三等
朝鮮總督府平安南道郡屬勳八等 宋 柱淳
（各通）朝鮮總督府平安南道郡屬 文 命浩
任朝鮮總督府郡守
敍高等官八等

大阪稅關長 末次 政一
依願免本官
專賣局參事 松崎 漸吉
勅任官ヲ以テ待遇セラル
鹽澤 昌貞
帝國學士院規程第二條ニ依リ勅旨ヲ以テ帝國學士院會員被仰付
朝鮮總督府郡守 金 光一
（各通）同 李 寅華
依願免本官
公立中學校長 内川 娛老
（各通）朝鮮土木技師 市來 善雄
願ニ依リ本職ヲ免ス

臺灣臺中州公立公學校長 平野三男人
同 田口 光義
同 西島 良生
（各通）同 石原 操
高等官八等ヲ以テ待遇セラル（以上内閣）
正六位 海江田信廣
特旨ヲ以テ位一級被進（宮内省）
陸軍大將 林 仙之
陸軍中將 坂本政右衛門
同 二宮 治重
同 安藤紀三郎
同 淺田 禮三
陸軍軍醫總監 伊藤 賢三
同 弘岡 道明
陸軍少將 長谷部照倍
同 遠藤 五郎
同 天野 六郎
同 西村 迪雄
同 平野 博
同 岡原 寛
同 池田 茂藏
同 赤松 寅七
同 伊藤 貞雄
同 林 眞
同 人見 順士
同 木村 材
同 近藤 清
同 村上 義正
同 松田 四郎
同 武雄 俊一
同 五十嵐房吉
同 瀬能 與一
同 土居 稻生
同 石川 房三
（各通）
陸軍軍醫監 亀井 盛隆
陸軍獸醫監 城戸孫右衛門
陸軍歩兵大佐 門馬 功
同 内山 正一
同 織田 三郎

同 有留 輝三
同 小松 千秋
同 高木 喬
同 柳 十郎
陸軍砲兵大佐 武藤 晋
同 三宅 守
陸軍工兵大佐 和田 重德
陸軍輜重兵大佐 金丸 卯平
陸軍一等主計正 荒張正一郎
陸軍一等藥劑正 林 寛三
陸軍一等獸醫正 石原辰太郎
陸軍歩兵中佐 春田 榮熊
同 中野 雅
同 佐野 憲三
同 山肩 政雄
同 島田 一
同 諏訪部重夫
同 高木 信
同 藤吉與三郎
陸軍憲兵中佐 小山 彌
陸軍工兵中佐 武田 謙吉
陸軍工兵少佐 石桁 和郎
陸軍歩兵大尉 武藤 寅吉
陸軍一等獸醫 久保 重邦
豫備役被仰付（陸軍省）
新潟醫科大學教授 柴田經一郎
本俸八級俸下賜
職務俸金千七百拾圓下賜
東京文理科大學教授 川合 眞一
本俸十級俸下賜
職務俸金六百參拾圓下賜
宮崎高等農林學校教授 中村 誠
七級俸下賜
公立實業學校教諭 橋 高一郎
千葉縣立安房農學校教諭ニ補ス
同 野本市次郎
千葉縣立安房水産學校教諭ニ補ス
同 源 早苗
山形縣立置賜農學校教諭ニ補ス

第2167号 本文

公立高等女學校長公立高等女學校教諭 渡邉 盛治

東京市立板橋實科高等女學校長東京市立板橋實科高等女學校教諭ニ補ス(以上十三日文部省)

公立高等女學校長兼公立高等女學校教諭 石井 潔

埼玉縣立秩父高等女學校長兼埼玉縣立秩父高等女學校教諭ニ補ス

同 大森 元幸

埼玉縣立粕壁高等女學校長兼埼玉縣立粕壁高等女學校教諭ニ補ス(以上十三日同)

副檢査官 千葉卯源太

横濱高等商業學校外十二箇所會計實地檢査トシテ出張ヲ命ス(十三日會計檢査院)

公立高等女學校教諭 田中 唉一

七級俸當分千五百圓下賜

同 千田 材美

八級俸當分千四百四拾圓下賜

同 橋本紋次郎

六級俸當分千七百五拾圓下賜

公立實業學校教諭兼公立實業學校舍監 花田 好定

七級俸當分千五百六拾圓下賜

加俸年額六拾圓下賜(以上十二日兵庫縣)

地方農林技師 中山 琢三

九級俸下賜(十四日福島縣)

正誤

本月二十二日本欄五九七頁二段「太田 黒壽」ハ「太田黒 壽」ノ誤 陸軍省副官

宮廷錄事

◉御救恤 本月二十一日ヨリ二十二日ニ亘リ北海道函館市火災ノタメ被害不尠趣聞食サレ御救恤トシテ 天皇 皇后兩陛下ヨリ金壹封ヲ同廳ヘ下賜セラレタリ

彙報

○官廳事項

◉在本邦中國公使館附武官更迭 在本邦中華民國公使館附海軍武官海軍少將楊宣誠、同陸軍武官陸軍少將楊廷溥及同陸軍武官輔佐官陸軍少佐甘海瀾ハ夫々離任セル旨竝ニ新任同國公使館附陸軍武官陸軍少將蕭叔宣ハ今般著任セル旨同國公使ヨリ本月十四日附ヲ以テ通知アリタリ

◉退職 岡山縣公立小學校長兒子喜六、同片山甚太郎、同淺野辰之進、同森原楠四郎、同西本朗、同仁科耕二、同田村郡治、同內藤識幹ハ本月八日孰モ願ニ依リ退職ヲ命セラレタリ

○判決

◉海員審判所裁決 高等海員審判所竝ニ大阪、門司及函館ノ各地方海員審判所ニ於テ言渡シタル裁決ニシテ昭和九年二月中ニ確定シタルモノ左ノ如シ(遞信省)

	件名	言渡年月日	裁決	受有免狀種類	被審人氏名
高等	汽船淀丸、同神光丸衝突	昭和九 二、六	免狀行使一月停止	甲種船長	北野 直吉
			同	同	伊藤 高吉
	汽船東泰丸、帆船第貳大德丸衝突	同	譴責	同	庄林 龜太郎
大阪	機附帆船第五住吉丸氣機毀損	一、二〇	免狀行使一月停止	沿岸發動機船三等機關士	尾崎 武夫
	機附帆船ゑびす丸乘揚	同 二四	免狀行使二月停止	沿岸丙種運轉士	吉川 敏治
	機船第三高島丸、艀船衝突	同 二六	不懲戒	乙種一等運轉士	中平 良之助
	汽船白浜丸汽罐損傷	同 三一	譴責	二等機關士	蒂本 治兵衛
	機船鶴田丸被曳船、艀船接觸	同	同	沿岸乙種二等運轉士	山下 彌三市
	帆船大正丸坐礁	二、二	免狀行使一月停止	沿岸丙種運轉士	松下 久市
門司	發動機附帆船第五十二山田丸氣機毀損	一、一六	譴責	沿岸發動機船三等機關士	松谷 辰男
	汽船第貳若松丸、發動機附帆船第十二號蛭子丸衝突	同 一七	免狀行使一月停止	小形船丙種運轉士	高野 初三郎
	汽船鶴丸乘揚	同 一八	譴責	漁船甲種二等運轉士	川邊 三郎
	發動機船第三太古丸氣機毀損	同 二〇	免狀行使一月停止	發動機船三等機關士	粟浦 鹿市
函館	發動機附帆船海鳳丸氣機毀損	同 一六	譴責	同	小豆島菊太郎
	職務怠慢	同	同	同	釜谷 幸一郎
	機船竹丸火災	同 一八	免狀行使一月停止	同	土門 市太郎
	職務上義務違背	同	譴責	沿岸乙種二等運轉士	阿部 莊次郎

○警察

◉豫約出版履行 昨八年一月十九日鈴木利貞ヨリ警視廳ヘ屆出テタル「農村更生叢書」ノ豫約出版ハ之ヲ履行シタル旨屆出テタリ(警視廳)

○陸海軍

◉員外學生退校 陸軍工科學校員外學生左記一人仙臺高等工業學校ヘ派遣頭書ノ學科ヲ修學ノ處本月十二日卒業ニ付當日陸軍工科學校ヲ退校セリ

電氣工學科 陸軍砲兵中尉 德永 恒雄

同校員外學生左記二人米澤高等工業學校ヘ派遣頭書ノ學科ヲ修學ノ處同十三日卒業ニ付當日陸軍工科學校ヲ退校セリ

應用化學科 陸軍砲兵中尉 市川 濟

同 同 栗田 良三

同校員外學生左記一人神戶高等工業學校ヘ派遣頭書ノ學科ヲ修學ノ處同十四日卒業ニ付當日陸軍工科學校ヲ退校セリ

機械科 陸軍砲兵中尉 宮本 末吉

同校員外學生左記一人名古屋高等工業學校ヘ派遣頭書ノ學科ヲ修學ノ處同十五日卒業ニ付當日陸軍工科學校ヲ退校セリ(以上陸軍省)

土木科 陸軍工兵中尉 西村 榮作

◉生徒採用豫定者 本年度陸軍幼年學校生徒採用豫定者ノ氏名(五十音順)左ノ如シ(陸軍省)

秋山 賢吉	秋山 健三	赤森 伸治
相川 亘	穴澤 剛	天畠 靖雄
荒武 宗久	伊藤 和彥	伊藤 潔
池田 二郎	池田 壽雄	岩田 壽泰
岩元 定雄	岩淵 正	石川 武臣
飯村 繁	飯島 崇輔	井田 和夫
井田 正一	石川 方直	上野 喜晟
梅村 尚	內田 貞夫	浦江 幸彥
遠藤 健	岡田 生駒	岡 今朝儀
岡本 順平	岡野 順一	奧山 道郞
奧田 重武	大沼 國夫	大谷 嘉雄
尾崎 中和	尾関 俊三	川久保嘉厚
川崎 健吉	角和總一郎	紙屋 正明
片岡 正志	加藤 良一	菊川 健一
菊地 茂雄	北之園徹至	城戸 龍雄
楠 清	倉岡 愛和	倉矢 寬

富田 成勝	土田 正人	手島 丈夫
友野 丈夫	豐嶋 宏	殿井 寬
德永 彌雄	土井 千幸	中村 定臣
中村 泰久	中島 信義	中川鎭之助
西谷 正行	西田 弘	西 球男
西野 貞延	西四辻公裕	西宮 正泰
庭山 三雄	根岸八州雄	野上 良平
野田 榮吉	野元 哲郎	瀨崎 湊
濵田 和夫	八田 米作	長谷川 剛
林部 正也	林 隆一	牛田 隆之
彥坂 直俊	平岩 隆雄	平野 稔
日高 靖可	廣谷 次夫	藤井 和
藤林 武夫	藤澤 信雄	福原 昌造
福家 隆	堀 貞雄	牧 勝美
馬來 祥介	正木 直	松本 公男
三宅 修	三好 秀男	三好 智
三浦 寬	三浦謙二郎	三浦 成夫
三浦 武雄	三宅一九八郎	武者 成一
望月 俊彥	最上 鴻敬	本橋 啓作
森田 榮壽	山名 又助	山元 正文
山村 和夫	山村 允	山本 金吉
矢野 正男	吉岡健一郎	横井 弘文
渡邉 禎作	若松 正彥	湧川 淳三

◉練習生卒業 横須賀海軍病院ニ於テ本月二十日第二十九期高等科看護術練習生教程卒業ヲ申渡セリ其官職氏名左ノ如シ×印ハ最優等卒業者ニシテ恩賜品ヲ下賜セラル(海軍省)

海軍三等看護兵曹	五十嵐傳藏	同	河田 幸男
同	藤井 武次	同	岡田 清
同	倉持 謙治	同	桑原 喜作
同	高柳吉太郎	同	鈴木 次郎
同	田村 萬郎	同	古山 節雄
同	御堂島 聰	同	鈴木 清藏
同	渡邊 三省	同	×赤池 孝光
海軍一等看護兵	桑原 照雄	同	佐藤 貞助
同	齋藤 英保	同	佐藤 幸市
同	堀田 久雄	同	佐藤金五郎

○學事

◉講師解囑 新潟醫科大學ニ於テ本月十七日願ニ依リ助手兼講師小原武一郎ノ講師ヲ解ケリ(文部省)

◉大學院入學 九州帝國大學ニ於テ左記ノ者ニ頭書ノ科目研究ノタメ各頭書ノ日附ヲ以テ大學院入學ヲ許可セリ(文部省)

二月二一日 外科領域ニ於ケル解剖學研究 稗田 速雄

同 二三 外科ニ關スル病理學的研究 的埜 正

三、一三 藥物學一般 太田 英明

◉學士試驗合格者 熊本醫科大學ニ於テ本月六日附末永常輔ニ學士試驗合格證書ヲ授與セリ(文部省)

◉卒業證書授與 小樽高等商業學校ニ於テ追試驗ニ依リ本月五日附戶田丈夫、花田傳二郎、工藤久吉ニ孰モ卒業證書ヲ授與セリ(文部省)

◉生徒卒業 第六高等學校ニ於テ本月十三日、第八、松本兩高等學校ニ於テ同十日孰モ高等科ヲ卒業セシ者ノ氏名(五十音順)左ノ如シ(文部省)

◉第六高等學校

文科甲類

東 快雄	青木 勳	天野 得男
有田 正三	伊庭 順三	和泉 太郎
石井淸兵衛	石尾 弘文	石田 彌彥
糸曾 義夫	今井 達郎	上田 又次
植松 正明	浮田 茂男	江見 祐吉
岡 正信	小野 忠夫	小野 尙夫
太田 理英	大田 吉彌	大谷榮之助
大塚 修	川井 武夫	川上 明
角田 直一	楠 朔男	兒島滤一郎
兒玉 元男	小林 勳平	小松繁之介
近藤 武英	佐久 毅	下村 善造
神寶 恒	鈴木 義太	鈴木 和正
田邊 正二	高橋 春治	玉井 琢郎
近石 經雄	津田 三郎	中川 昌市
中田 光夫	中村榮太郎	中村 滋
仁科 浩一	西谷彌兵衛	西山 秋二
能勢 正	橋田 貫一	橋本 寬
橋本 梶雄	原田 鼎	板東 俊雄
日幡 武一	平田 吉太	藤原 四郎
寶田千代藏	眞砂 彥一	松田愼之助
湊 直治	三木 弘也	光岡 新
水野恭一郎	宮木 一雄	村野 三郎
八頭司淸文	山口 毅陸	行廣 淸美

文科乙類

猪野 宏靖	宇高 亨	占部春太郎
小野 斌	大村 正基	岡本 壽郎
荻原 匠	加藤 偉一	刈谷 武彥
岸本英太郎	桐野 信雄	佐藤元一郎
鈴木 唯四	高橋 茂夫	高谷 茂木
武田 淸	辻 欣二	中島 正二
中藤 淸次	仁保 寬質	西田 勳
野田 千之	長谷川新太郎	藤原 修
堀 吉夫	星川運八郎	堀上 秀男
牧野 耕二	松崎 芳	山田 勝
吉澤 亨	吉野 一夫	

理科甲類

東 長年	赤尾 邦治	稻田 登
淺田 達也	麻田 四郎	祝 太郎
井上 嘉範	井上 周而	井上 悌
伊藤 三郎	今村 宜二	岩佐 甚正
上杉 重邦	上村 正二	浦久保喜兵衛
麻植 二朗	小合 康長	小河原公司
尾園鐵次郎	大井 敏行	大賀辰次郎
大西 弘	大橋 恒雄	大野 定
岡崎 寬厚	岡田 次郎	香川 辰夫
陰山 以文	片山 勝	金光 克己
神坂 正文	龜山 善男	川口 愛友
川崎 元一	木下 泰平	木村 俊夫
久保田 保	國富 正雄	倉藤 尙雄
後藤田淳實	小林 達吉	古林 英之
小松 博	小山 勵二	佐次 國三
佐藤 篤美	齋所 正夫	齋田 良一
齋藤 次郎	酒井 晃	坂田 脩三
坂本 吉弘	品川 睦明	柴田 誠二
菅野 冬雄	田上 義也	田口 茂一
田中 哲夫	田邊 哲彌	多田 瑞彥
高木 毅	瀧田 孝道	谷川 德麿
角村 正男	土井 健男	中江忠右衛門
中川 博	中島 泰	中西 博
中西 敏博	中野 晋	中村 翁
長城 文明	永津 勝夫	成瀨 憲
難波 晶	西島 克己	野口 一郎
萩原 俊雄	橋本 繁	長谷川靜夫
原田 義雄	姬井 淳	平井 正夫
平尾 廣治	平松 一允	布施 增夫
藤井 正雄	藤原 之	堀部 道輔
間島 正寅	松浦 潔	松村 安治
松原 孝善	水島 弘之	森垣 勉
森末 新一	守安 了	矢鍋 建一
山縣 顯三	山末 健	山田 保
山本 英吉	横田 政信	吉岡 誠
吉田 勵二	脇本 勵	渡邊 良衛

理科乙類

青木 和夫	池上 卓一	池田 稔
石丸 克己	岡 志豆雄	小野 豐
大賀 壽男	大熊 毅	柏 誠治
拵谷 金二	橘高 茂	木下 淳
吉口 一正	佐藤 達吉	齋藤 盛三
淸水 武男	高橋 次郎	土屋 陸夫
中野 潔	鍋島 光雄	長谷川美通
橋本 正治	馬場 正義	馬場 房好
藤原 公平	松島 賢	南 正三
三輪邦太郎	水川求禮雄	宮脇 濟
柳本 卓二	山田 浩一	和田 一

◉第八高等學校

文科甲類

淺野 守男	伊藤英一郎	市石 寬郎
市野 正男	稻垣 達夫	梅村 博
浦野 忠一	小原 昌平	尾池 正臣
尾崎 三郎	織田 長正	種田 元夫
大池 惠凉	太田 欣平	大森美知夫
岡田 敏夫	加藤久兵衛	加藤 勇吉
笠原 肇	川喜田孝哉	久德 高文
久納 豐孚	久米 常民	小澤 憲治
近藤 正平	後藤 廸孝	後藤 滿
佐藤 正元	佐藤 雄三	齋藤 修一
齋藤泰次郎	酒井 芳郎	坂卷 三郎
澤田 信治	守隨 信明	白井 忍
杉浦 滋	園田 憲一	高原 治生
高柳 知足	瀧 三郎	瀧口 勇
瀧崎安之助	竹川 末吉	武野 正二
武山 國治	柘植 仁	津田 正夫
都築 一郎	堤 正治	內藤 健吉
中跡 忠男	長尾 逸男	西川 正光
野末 良平	畠中 順一	服部 正元
原田 三郎	平井 正夫	平山 久
廣中 大六	藤井 二郎	藤井 專英
鉾山亥三郎	牧野 恭司	松岡 正雄
松木 亮	松田 二郎	三澤 義雄
水谷 正道	水野 義雄	村田 博男
八木 利貞	山田 要	山田 正男

文科乙類

靑木　顯勝
于　瑞熹
奥山　健三
口野　昌三
高和　敏夫
酒井　一郎
高橋喜太郎
勅使河原正三郎
中島　斌
平野　史
増田　稔
柳瀬吉太郎

天野　義靜
小澤　吉見
加藤　映典
小寺　泰藏
近藤　勇三
椎名　安
壺井　義正
寺澤　俊平
永井　基
不二門　勝
松井　榮一
山川　茂幸

稻垣　正夫
尾崎　正平
鬼頭喜和男
小林　俊介
佐藤　正一
鈴木　敏夫
坪內　釟二
寺田　守
濱口　嘉一
眞山　登
丸山　勝美
山崎喜與志

理科甲類

天方　正彦
伊藤　道夫
生田　秀
石橋　正二
小川　明順
王　運賢
大島　秀信
大矢　廸雄
加藤　文宣
龜山　敏郎
川口　陸淸
栗田　稔
河野　一郎
佐田　宗弘
澤田　周次
正田篤五郎
鈴木　釟郎
曾我　信純
瀧川　淸治
武田　耕治
太宰　三郎
飛田　正松
土居　寛
成田　久一
野呂　俊夫
萩野　守夫
服部　啓六
肥田　正三
巫　永勝
福永　三郎

安間　正虎
井上　千秋
池崎　勇
稻垣　賢一
尾崎　正治
大井　胖
太田　文二
加賀美三郎
郭　晋起
唐澤　英雄
川村　乾
黑田　孝郎
河野　寮園
佐藤　正俊
淸水　幸一
菅田　豐正
鈴木　仁
田中　尙
竹內　進
立松　通
角田　資敏
鳥居　正次
中野　寛次
西尾　醇
則內　茂
樽村　隆榮
服部　泰
土方　武
深谷　太郎
藤橋　誠彥

伊藤　惠造
飯田　正一
石川　里
上杉　和雄
織田　浩充
大海　潔
太田　正矩
加藤　正三
神長　精一
河邑　冽
北岡　博
小林　良純
近藤　寛
坂井　章
下里　錠次
相山　正孝
鈴木　政司
高倉　久治
竹村　淸孝
谷田　正己
戶津　正一
島山　隆三
中野　忠夫
野口　義圀
羽田　輝夫
橋本　兵衞
早川　宏
平松　良次
福島　勇夫
星野　幸一

本田　武夫
増田　重臣
水尾　隆彥
棟方　博久
森田　唯一
山田　治雄
吉田　幸吉

馬淵　重三
松本　嘉德
水野　遼一
守井　敏雄
森山　弘明
山本　幸男
吉田　正一

牧浦　甫
參木　義雄
水野　治德
森　晟
山口　直政
橫山　幸衞
綿森　力

理科乙類

阿多　節行
池田　芳一
長村　盛文
加納　輝男
久保　秀雄
近藤　孝一
鈴木　尙彥
高木　達彌
土井喜久一
林　俊二
藤掛　敏
松原　義郎
兩角　市平
山本　宏

猪飼　道夫
石原　亨
加藤　一男
各務　勤
小橋　正夫
近藤　正一
鈴木　嘉夫
沈　鶴習
稻橋　正一
原田　芳太
堀內　正
永谷鑛太郎
安間　哲文
渡邊　正次

伊藤　一夫
岩月　賢一
加藤邦之助
淸川　謹三
小林健次郎
鈴木　富彥
千賀仁三郎
豐島　英雄
羽生　敏久
平林　修
松林　克郎
森下　圭二
山田　義彥

◉松本高等學校

文科甲類

新井　典雄
大石　寛治
片山　正行
川村　政雄
齋藤　雅夫
鈴木　實
塚原　啓司
藤井　益郎
宮崎　克巳
橫山　紫壽

淺野　收史
大戶　元長
梶　信敏
栗田　茂雄
佐島　正
仙石　亷
根岸　三郎
三井　喜悅
森　修二
吉池　毅

植竹　昌
春日　貫一
川久保康雄
齋藤　輝義
島田　茂基
高島進之助
根崎　盛哉
峯　當朝
安田　良博
米窪　毅

文科乙類

朝倉　保平
荒木　文三
岡部　一郎
大神　正朝
金澤　聰
古思　三郎
田口　正二
永田　蕃

相澤　愛三
伊東不二男
小畑二三雄
大須賀秀治
菊池　浩
澤田　正熈
田中　保
服部　光行

相澤　武雄
岩田　忠章
小野　有文
折茂　容平
金　慶祥
島貫　弘
千村　保
樋口　寛

藤澤　賢司
矢澤　武

船橋　俊通
橫澤　茂

丸井　正彥
渡邊　茂男

理科甲類

石倉　邦造
井垣　邦夫
金井　太郎
酒井　重雅
鈴木　淸
田村　章
萩原　實
日野源四郎
松澤　太郎
本野　晃
山北　逸郎

伊藤　哲雄
井元　英俊
河野　正男
笹岡　恒三
鈴木　猛
仁科　正一
長谷川　慶
古川　隆義
宮島　次郎
森　武司
山室　忠祐

飯沼　康雄
太原　正
小林　二郎
柴田　徹
瀧澤　仙次
野崎　善藏
濱　鐵夫
古畑　正秋
三好　正浩
守谷　閑

理科乙類

赤穗　節義
伊東　正一

石田　芳藏
岩崎　豐次

一法師賴忠
牛山亥三男

太田　嘉彥
川上　保雄
木村　康正
白井　寛
田上　敏夫
等々力久男
萩原　淸樹
原田　直孝
松沼　賢三
務臺　尙吾
山田　正德

金井　泰淸
川本正太郎
小林　玄濟
末木　光
武田　秀夫
中嶋　正雄
羽根田貞三
堀田　正二
丸山　滿典
山崎　秀雄

金澤　太郎
北澤　吉郎
島田　千尋
高橋　良德
建部　武
西ヶ谷壽夫
濱野　進
松崎　正一
宮木廣三郎
山田　英

○宗教

◉大成敎管長就職　大成敎管長杉本鐵幸辭職ニ付佐伯有義後任管長ニ就職ノ件本月二十日認可セリ(文部省)

○財政

◉外國貿易概表　大藏省ノ調査ニ依ル昭和九年二月中ノ外國貿易概表左ノ如シ(△印ハ減)(大藏省)

	二月分 本年	二月分 前年	一月以降累計額 本年	一月以降累計額 前年	增減
	千圓	千圓	千圓	千圓	千圓
輸出					
食料品 甲 粗生品					
米及穀	一、〇九八	七四	一、一六二	八〇六	三五六
豆類	一、一〇三	三八〇	一、四六〇	九三〇	五三〇
水產物	一、〇九三	七四〇	二、二三三	一、二七三	九五九
其他	一、〇一九	九七六	二、四一六	二、三四八	六八
計	四、三一三	二、一七〇	七、二七〇	五、三五七	一、九一三
乙 製造品					
小麥粉	一、八六三	三、二八八	三、六二二	五、九一一	△二、二八九
茶	四三七	三九一	八五八	六〇六	二五二
精糖	九六一	一、三一一	一、四八六	一、九九一	△五〇五
麥酒	三〇三	四二八	四九六	七八三	△二八七
寒天	四九六	四七三	六八〇	六六三	一七
罐壜詰食料品	二、六五五	二、七八二	五、八一五	三、九九七	一、八一八
其他	九三四	八三四	一、六八二	一、五七七	一〇五
計	七、六四九	九、五〇七	一四、六三九	一五、五二八	△八八九
類計	一一、九六二	一一、六七七	二一、九〇九	二〇、八八五	一、〇二四
原料品					
除蟲菊	二〇七	四二二	七一〇	七七五	△六五
屑絲眞綿及玉絲等	一四二	五一	二二七	一〇六	一二一
石炭	八二八	一、二二七	一、六〇六	二、五九三	△九八七
木材	九四三	八五六	一、六八九	一、五一六	一七三
其他	三、七三四	一、四六一	六、一五六	二、八一九	三、三三七
類計	五、八五四	四、〇一七	一〇、三八八	七、八〇九	二、五七九
原料用製品					
植物性脂肪油	八六一	四六四	一、三九二	八六七	五二五
薄荷油	二五九	九四	五九七	一六〇	四三七
魚油及鯨油	二三三	二一六	四二四	四三九	△一五
樟腦	五四三	四八八	九九八	八七三	一二五
薄荷腦	六七五	四一一	一、二〇四	七六〇	四四四
生絲	二七、〇一七	一八、八七一	四八、四九一	三六、七四七	一一、七四四
綿織絲	一、六四〇	一、二一八	二、八七六	二、二八三	五九三
鐵	三、八八七	一、七八四	七、四三〇	三、〇四三	四、三八七
眞鍮及黃銅	四五二	四一三	八二一	六九四	一二七
製帽用眞田	八三八	七一二	一、六〇五	一、四〇五	二〇〇
其他	五、八八四	三、八七二	一〇、一〇〇	六、五六七	三、五三三
類計	四二、二八九	二八、五四三	七五、九三八	五三、八三八	二二、一〇〇
全製品					
石鹼	三〇一	二一三	五五六	三九三	一六三
燐寸	二四六	一八三	四四九	三七二	七七
絹織物及人造絹織物	一三、八〇七	八、七二一	二五、二三六	一七、二五二	七、九八四
綿織物	三七、三五五	二九、一一一	六六、一六二	五六、六〇三	九、五五九
毛織物	一、三五六	七六二	二、二九三	一、二二六	一、〇六七
綿ブランケット	二四七	一六〇	四六三	三七二	九一
絹手巾	二七三	一四五	五二四	二五二	二七二
綿タオル	五六三	三六九	九九七	七二〇	二七七
綿メリヤスシャツ(上下共)	二、三九八	一、八九二	四、四二二	三、七七一	六五一
メリヤス靴下	八三四	五二五	一、六二一	一、一二二	四九九
帽子	一、七九三	七五〇	三、三七三	一、六五二	一、七二一
釦	七一九	五二五	一、二九三	一、一二二	一七一
身邊粧飾用品	七一九	五〇四	一、三七八	一、〇四二	三三六
紙類	一、五二八	一、二五四	二、六五五	二、八八七	△二三二
セメント	五四八	六八八	一、〇二六	一、二六〇	△二三四
陶磁器	二、四九一	二、四九三	四、四二六	四、三〇三	一二三
硝子及同製品	一、三一四	一、一二七	二、四七三	二、〇五〇	四二三
鐵製品	二、一五四	一、三三二	三、九四七	二、五七六	一、三七一
ゴムタイヤー	六五八	六八二	一、一〇〇	一、一七八	△七八
機械及同部分品	二、二五七	九三九	三、七四二	一、六二二	二、一二〇
洋傘	七八	八四	一四八	一八五	△三七
ブラッシュ	四〇九	二七六	七七三	五〇三	二七〇
ランプ及同部分品	一、三四九	一、四六〇	二、一七五	二、四八三	△三〇八
玩具	二、〇二五	一、九六一	三、九二四	三、四五七	四六七
其他	一九、七六三	一四、〇三三	三五、九四九	二五、五〇一	一〇、四四八
類計	九五、一八五	七〇、一八九	一七一、一〇五	一三三、九〇四	三七、二〇一
其他ノ雜品	一、八三一	二、二二一	四、三〇五	四、三〇〇	五
通計	一五七、一二一	一一六、六四七	二八三、六四五	二二〇、七三六	六二、九〇九
再輸出品	一、四七七	二、二八四	三、二四一	五、五九四	△二、三五三
全計	一五八、五九八	一一八、九三一	二八六、八八六	二二六、三三〇	六〇、五五六
輸入					
食料品 甲 粗生品					
米及粿	五六	一、一八〇	一一八	二、二二四	△二、一〇六
小麥	四、〇一一	四、八〇〇	七、三二四	七、七五六	△四三二
豆類	四、七五七	五、七六一	九、七七九	一三、四二三	△三、六四四
鳥卵	—	〇	—	一	△一
其他	二、一四五	五九四	五、〇八二	三、〇九〇	一、九九二
計	一〇、九六九	一二、三三五	二二、三〇三	二六、四九四	△四、一九一
乙 製造品					
砂糖	六二五	五〇三	一、一六八	八六一	三〇七
牛肉(生)	五三四	二五八	一、一〇一	六六七	四三四
其他	一、三九八	二、三〇九	二、八八三	三、六九三	△八一〇
計	二、五五七	三、〇七〇	五、一五二	五、二二一	△六九
類計	一三、五二六	一五、四〇五	二七、四五五	三一、七一五	△四、二六〇
原料品					
採油用原料	二、四七五	二、二八三	四、五九二	四、六〇一	△九
生ゴム	二、五三五	二、八九六	五、六〇九	五、五七〇	三九
粗製硝酸曹達	八一五	二三八	九一七	四六〇	四五七
硫酸アンモニウム(粗製)	一、二五一	五六一	一、九九四	九五八	一、〇三六
燐礦石	一、四一九	一、一四五	二、三三八	二、六二四	△二八六
油糟	五、〇六六	六、五七六	九、一五一	一二、二九四	△三、一四三
實綿及繰綿	五一、五四六	七〇、七三七	九〇、一四九	一四〇、五一九	△五〇、三七〇
其他ノ植物纎維	一、八六九	二、一一一	三、三六三	三、九〇一	△五三八
羊毛	二八、二七七	一四、九〇七	四四、四二一	二九、〇二九	一五、三九二
石炭	二、四八九	二、四四九	六、一四〇	四、四三二	一、七〇八
鑛	一、五四七	一、〇八三	三、〇七四	二、〇四四	一、〇三〇
木材	三、一四五	二、八二五	五、七二一	六、三三七	△六一六
麩	八三七	五七四	一、四一二	一、〇七八	三三四
其他	一三、六四八	一二、二七六	二五、四五五	二四、八九八	五五七
類計	一一五、九一九	一二〇、六六一	二〇四、三三六	二三八、七四五	△三四、四〇九
原料用製品					
皮類	一、二六八	一、〇〇二	二、九二四	二、五二七	三九七
革類	二六五	三九八	六八九	七〇二	△一三
牛脂	三八四	二二五	六九二	五六七	一二五
苛性曹達(粗製)曹達灰及天然曹達	二一五	六九六	五〇三	一、二三三	△七三〇

第2167号　本文

合成染料	四九〇	一、一七二	九二九	一、九七九	△ 一、〇五〇
毛織絲	八六	四二九	二一七	九六八	△ 七五一
製紙用パルプ	三、〇七六	一、三〇五	五、八三八	二、九九四	二、八四四
銑鐵	一、八七一	二、三六六	三、六四三	三、九九八	△ 三五五
レール及フイシュプレート	三一	七	七二	二一	五一
其他ノ鐵	一〇、〇四九	九、九九七	一八、四三九	一一、六七二	六、七六七
アルミニウム	一、〇二七	一、二九六	二、三五八	二、一一〇	二四八
鉛(塊及錠)	一、〇三六	一、〇四七	二、一一六	二、一五九	△ 四三
錫(塊及錠)	七四二	一、〇七七	一、四九五	一、七五三	△ 二五八
亞鉛(塊錠及粒)	三七〇	一、三八〇	七八〇	一、九四四	△ 一、一六四
其他	七、一五〇	八、五二九	一三、〇九四	一四、五一一	△ 一、四一七
類計	二八、〇六〇	二六、九二六	五三、七八九	四九、一三八	四、六五一
全製品					
礦油(原油及重油ヲ除ク)(比重〇、七三〇以下)	一七	—	二六	〇	二六
同(比重〇、八七六二以下)	二、六五六	二、九二六	五、二二七	五、七三八	△ 五一一
綿織物	六七	四〇九	一二五	五二二	△ 三九七
毛織物	一、二九二	一、九八五	一、九八〇	三、〇〇一	△ 一、〇二一
印刷料紙	二九〇	三一七	六九五	四六三	二三二
自動車及同部分品	一、〇一四	四八〇	一、七五九	九六八	七九一
發電機類及變壓機	五六	二九六	一三一	四九〇	△ 三五九
其他ノ機械類及同部分品	五、六六〇	四、八八一	一〇、九三七	九、六五五	一、二八二
其他	六、八五五	六、六一〇	一三、四五一	一三、九一三	△ 四六二
類計	一七、九〇七	一七、九〇四	三三、三三一	三三、七五〇	△ 四一九
其他ノ雜品	七三六	五〇四	一、七八三	一、四四一	三四二
通計	一七六、一四八	一八一、四〇〇	三二〇、六九四	三五四、七八九	△ 三四、〇九五
再輸入品	四七二	一三三	七五九	三六二	三九七
全計	一七六、六二〇	一八一、五三三	三二一、四五三	三五五、一五一	△ 三三、六九八
輸出入合計	三三五、二一八	三〇〇、四六四	六〇八、三三九	五八一、四八一	二六、八五八
輸出超過	—	—	—	—	—
輸入超過	一八、〇二二	六二、六〇二	三四、五六七	一二八、八二一	—
金銀輸出					
金貨及金地金	—	—	—	—	—
銀貨及銀地金	一八二	四九七	九〇八	七三四	一七四
通計	一八二	四九七	九〇八	七三四	一七四
金銀輸入					
金貨及金地金	—	—	—	—	—
銀貨及銀地金	—	—	—	—	—
通計	—	—	—	—	—
輸出超過	一八二	四九七	九〇八	七三四	—
輸入超過	—	—	—	—	—
朝鮮臺灣及南洋ヲ含ム外國貿易額					
輸出	一六三、五四五	一二二、八七六	二九六、五五九	二三三、四九七	六三、〇六二
輸入	一八四、一八七	一八九、六六五	三三九、二三四	三七三、三九四	△ 三四、一六〇
通計	三四七、七三二	三一二、五四一	六三五、七九三	六〇六、八九一	二八、九〇二
輸出超過	—	—	—	—	—
輸入超過	二〇、六四二	六六、七八九	四二、六七五	一三九、八九七	—
金銀輸出	一八三	五〇七	九一五	七四四	一七一
金銀輸入	四	九	六	一五	△ 九
輸出超過	一七九	四九八	九〇九	七二九	—
輸入超過	—	—	—	—	—

○産業

◉工船蟹漁業　工船蟹漁業取締規則ニ依リ新規ニ許可證ヲ交付シタルモノ、許可證ヲ書換交付シタルモノ及工船蟹漁業ヲ廢止シタルモノ左ノ如シ(農林省)

一、新規ニ許可證ヲ交付シタルモノ

許可番號	船種及船名	總噸數	操業區域	許可年月日	漁業者住所氏名
第三五號	汽船神盛丸	四、七四〇・二六	第六區	昭和九年三月十六日	東京府東京市麴町區丸ノ内二丁目二番地一 日本合同工船株式會社
第五二號	汽船神洋丸	四、七三六・五二	同	右同	右

二、許可證ヲ書換交付シタルモノ

船種及船名	總噸數	書換事項 新 許可番號	新 操業區域	舊 許可番號	舊 操業區域	漁業者住所氏名
汽船榮德丸	二、九五一・〇二	第八五號	第六區	第五二號	第七、八、九、十區	東京府東京市麴町區丸ノ内二丁目二番地一 日本合同工船株式會社

三、工船蟹漁業ヲ廢止シタルモノ

許可番號	船種及船名	總噸數	操業區域	廢止年月日	漁業者住所氏名
第三五號	汽船遼東丸	二、三七四・〇一	第六區	昭和九年三月十六日	東京府東京市麴町區丸ノ内二丁目二番地一 日本合同工船株式會社
第五〇號	汽船廣東丸	二、五四六・二八	同	右同	右
第五一號	汽船釜山丸	二、四〇六・四〇	同	右同	右
第七八號	汽船晴海丸	五、二四七・六八	第七、八、九、十區	右同	右

○通運

◉郵便振替貯金加入承認取消　左記郵便振替貯金加入者ハ郵便振替貯金規則第八十二條ニ依リ今二十六日限加入承認ヲ取消ス(遞信省)

東京四七一七四番　東京市足立區千住末廣町三〇　帝都蓄音器商會　中澤　福彌

東京五五五一〇番　東京市赤坂區青山南町五ノ六七　文久社　田村　隼彦

帝國議會

○貴族院

◉選擧人名簿配付　本月十三日貴族院子爵議員補闕選擧ノ詔書ヲ發セラレタルニ付貴族院伯子男爵議員選擧規則第十六條第二項及第六條ニ依リ同二十三日貴族院子爵議員補闕選擧人名簿ヲ調製シテ木戶宗秩寮總裁ヨリ子爵ニ配付セリ(宮內省)

◉會議　一昨二十四日ノ議事經過左ノ如シ

衆議院議員選擧法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

右議案ハ議事日程ノ順序ヲ變更シテ委員長侯爵佐佐木行忠委員會ニ於ケル審査ノ報告ヲ爲シ次テ第一讀會ヲ了リ引續キ第二、第三讀會ヲ開キテ之ヲ修正議決ス

昭和八年度歲入歲出總豫算追加案(第二號)

昭和八年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特第二號)

昭和九年度歲入歲出總豫算追加案(第二號)

昭和九年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特第二號)

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號)

昭和九年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特第三號)

右六案ハ之ヲ一括シテ議題トシ委員長伯爵柳澤保惠委員會ニ於ケル審査ノ報告ヲ爲シ次テ六案孰モ之ヲ可決ス

函館市ノ火災被害者ニ對スル租稅ノ免除猶豫等ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付)

右議案ハ政府ノ要求ニ依リ三讀會ノ順序ヲ省略スルコトヲ議決シ且ツ委員ノ審査ヲ經スシテ直ニ之ヲ可決ス

原蠶種管理法案(政府提出、衆議院送付)

輸出生絲販賣統制法案(政府提出、衆議院送付)

右兩案ハ議事日程ノ順序ヲ變更シテ之ヲ一括議題トシ委員長侯爵大隈信常委員會ニ於ケル審査ノ報告ヲ爲シ次テ兩案ノ第一讀會ヲ了リ引續キ第二、第三讀會ヲ開キテ孰モ之ヲ可決ス

會計檢査院法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

右議案ハ委員長公爵鷹司信輔委員會ニ於ケル審査ノ報告ヲ爲シ次テ第一讀會ヲ了リ引續キ第二、第三讀會ヲ開キテ之ヲ可決ス

河川法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

右議案ハ委員長子爵白川資長委員會ニ於ケル審査ノ報告ヲ爲シ次テ第一讀會ヲ了リ引續キ第二、第三讀會ヲ開キテ之ヲ可決ス

朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

右議案ハ委員長子爵新庄直知委員會ニ於ケル審査ノ報告ヲ爲シ次テ第一讀會ヲ了リ引續キ第二、第三讀會ヲ開キテ之ヲ可決ス

昭和七年度歲入歲出總決算、昭和七年度各特別會計歲入歲出決算報告

昭和七年度國有財產增減總計算書報告

各報告ハ之ヲ一括シテ議題トシ委員長侯爵佐佐木行忠委員會ニ於ケル審査ノ報告ヲ爲シ次テ各報告ヲ可決ス

衆議院議員選擧法中改正法律案兩院協議委員ノ選擧

右選擧ハ議事日程ニ追加シテ之カ會議ヲ開キ議長ニ委任スルコトヲ議決シ議長直ニ其指名ヲ爲ス

度量衡制度調査會設置ニ關スル建議案(公爵鷹司信輔外十七名發議)

右議案ハ議事日程ノ順序ヲ變更シ會議ヲ開キ之ヲ可決ス

輸出組合法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

貿易調節及通商擁護ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付)

右兩案ハ議事日程ニ追加シ之ヲ一括シテ議題トシ委員長伯爵兒玉秀雄委員會ニ於ケル各案審査ノ報告ヲ爲シ次テ兩案ノ第一讀會ヲ了リ引續キ第二、第三讀會ヲ開キテ孰モ之ヲ可決ス

日本銀行金買入法案(政府提出、衆議院送付)

右議案ハ議事日程ニ追加シ委員長男爵松岡均平委員會ニ於ケル審査ノ報告ヲ爲シ次テ第一讀會ヲ了リ引續キ第二、第三讀會ヲ開キテ之ヲ可決ス

農業者ノ窮狀緩和ニ關スル決議案(發議者侯爵西鄉從德外八名發議)

右議案ハ議事日程ニ追加シ會議ヲ開キ之ヲ可決ス

刑事訴訟法中改正法律案(衆議院提出)

民事訴訟法中改正法律案(衆議院提出)

右兩案ハ之ヲ民事訴訟法中改正法律案外九件ト同一ノ特別委員ニ付託ス

護國共同組合法案(衆議院提出)

蠶絲業組合法中改正法律案(衆議院提出)

右兩案ハ之ヲ地方財政補整交付金法案外一件ト同一ノ特別委員ニ付託ス

度量衡法中改正法律案(衆議院提出)

右議案ハ之ヲ特別委員(議長指名)ニ付託ス

又昨二十五日ノ議事經過左ノ如シ

度量衡法中改正法律案特別委員馬場鍈一辭任ノ件

右委員ノ辭任ハ之ヲ許可ス

請願委員長報告

右委員長子爵清岡長言委員會ニ於ケル請願審査ノ報告ヲ爲ス

昭和七年度第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)

昭和七年度特別會計第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)

昭和七年度特別會計豫備費支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)

昭和七年度滿洲事件第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)

昭和八年度第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)

昭和八年度特別會計第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)

昭和八年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)

右七件ハ之ヲ一括シテ議題トシ委員長阪本釤之助委員會ニ於ケル審査ノ報告ヲ爲シ次テ七件孰モ之ヲ承諾スルコトヲ議決ス

昭和九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債追加發行ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付)

絲價安定融資補償生絲買收法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

日本銀行特別融通及損失補償法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

地方鐵道法又ハ軌道法ニ依リ交付スル國債證券ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付)

昭和九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債第二次追加發行ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付)(本議案ハ議事日程ノ順序ヲ變更ス)

右五案ハ之ヲ一括シテ議題トシ副委員長子爵大河內輝耕委員會ニ於ケル各案審査ノ報告ヲ爲シ次テ第一讀會ヲ了リ引續キ第二、第三讀會ヲ開キ之ヲ可決ス

石油業法案(政府提出、衆議院送付)

鑛業法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第 2167 호 本文

右兩案ハ之ヲ一括シテ議題トシ委員長侯爵細川護立委員會ニ於ケル各案審査ノ報告ヲ爲シ次テ兩案ノ第一讀會ヲ了リ引續キ第二、第三讀會ヲ開キテ執モ之ヲ可決ス

朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案（政府提出、衆議院送付）

臺灣私設鐵道補助法中改正法律案（政府提出、衆議院送付）

右兩案ハ之ヲ一括シテ議題トシ委員長子爵新庄直知委員會ニ於ケル各案審査ノ報告ヲ爲シ次テ兩案ノ第一讀會ヲ了リ引續キ第二、第三讀會ヲ開キテ執モ之ヲ可決ス

金錢債務臨時調停法中改正法律案（衆議院提出）

右議案ハ委員長侯爵西郷從德委員會ニ於ケル審査ノ報告ヲ爲シ次テ第一讀會ヲ了リ引續キ第二、第三讀會ヲ開キテ之ヲ可決ス

官幣大社橿原神宮ノ規模神域整美ニ關スル建議案（公爵一條實孝外六名發議）

右議案ノ會議ヲ開キ次テ之ヲ可決ス

大正九年法律第十二號中改正法律案（政府提出、衆議院送付）

所得稅法中改正法律案（衆議院提出）

右兩案ハ議事日程ニ追加シ之ヲ一括シテ議題トシ副委員長子爵大河内輝耕委員會ニ於ケル各案審査ノ報告ヲ爲シ次テ兩案ノ第一讀會ヲ了リ引續キ第二、第三讀會ヲ開キテ執モ之ヲ可決ス

治安維持法改正法律案（政府提出、衆議院送付）

右議案ハ議事日程ニ追加シ委員長公爵一條實孝委員會ニ於ケル審査ノ報告ヲ爲シ次テ第一讀會ヲ了リ引續キ第二、第三讀會ヲ開キテ之ヲ修正議決ス

臨時米穀移入調節法案（政府提出、衆議院送付）

政府所有米穀特別處理法案（政府提出、衆議院送付）

米穀需給調節特別會計法中改正法律案（政府提出、衆議院送付）

右三案ハ議事日程ニ追加シ之ヲ一括シテ議題トシ委員長子爵青木信光委員會ニ於ケル各案審査ノ報告ヲ爲シ次テ三案ノ第一讀會ヲ了リ引續キ第二、第三讀會ヲ開キテ執モ之ヲ可決ス

治安維持法改正法律案兩院協議委員ノ選擧

右選擧ハ議事日程ニ追加シテ之カ會議ヲ開キ議長ニ委任スルコトヲ議決シ議長直ニ共ノ指名ヲ爲ス

衆議院議員選擧法中改正法律案兩院協議會成案（衆議院送付）

右議案ハ議事日程ニ追加シテ之カ會議ヲ開キ兩院協議委員議長侯爵佐佐木行忠協議會ニ於ケル審査ノ報告ヲ爲シ次テ之ヲ可決ス

三陸地方ニ嘯震害豫防施設ノ請願

雪害對策樹立ノ請願

東北地方ニ軍需品工場設置ノ請願

仙臺工藝指導所ニ染織部設置ノ請願

東北帝國大學ニ農學部設置ノ請願

菊川改修ニ關スル請願

工業組合中央金庫設立ノ請願

戰公傷病死者竝傷痍軍人ノ遺族扶助料ニ關スル請願

三重縣龜山町、菰野町間ニ省營自動車運輸開始ノ請願

豫定線鐵道久慈、宮古間鐵道速成ノ請願

公立商船學校卒業生ニ對シ特別教育機關設置ノ請願

石狩河口改修ニ關スル請願

札幌、樺太間ニ航空路開設ノ請願

高知刑務所移轉ノ請願

函館港ニ港務部設置ノ請願

北海道、北鮮間ニ命令航路開設ノ請願

靜岡縣田方郡函南村ニ無集配郵便局設置ノ請願

岐阜縣稻葉郡加納町ニ區裁判所出張所設置ノ請願

米穀消費ニ關スル調査委員會設置ノ請願

北海道旭川市ニ高等工業學校設立ノ請願

北海道稚内港ト利尻、禮文兩島間ニ連絡航路開設ノ請願

北海道稚内築港工事ニ關スル請願

壽都漁港修築ノ請願

司法保護制度制定ノ請願

人造「バター」取締ニ關スル請願

北海道野付牛町ノ鐵道官舍敷地開放ノ請願

豫定線鐵道釧路、北見相生間鐵道速成ノ請願

北海道野付牛町ニ放送局設置ノ請願

北海道北見國ニ國立種馬所設置ノ請願

新潟縣葛蒲郵便取扱所ヲ無集配三等郵便局ニ改定ノ請願

輸出水産物取締法制定ノ請願

少年國日本聯盟加盟國援助ニ關スル請願

耕地擴張改良事業ノ豫算計上ニ關スル請願

石油鑛産稅免除ニ關スル請願

國道八號線改修ニ關スル請願

關門隧道促進ニ關スル請願

東京、札幌間航空路促進ノ請願

癩療養施設擴張ニ關スル請願

鳥取縣東伯郡竹田村ニ區裁判所出張所設置ノ請願

右三十九件ノ請願ハ執モ之ヲ採擇スルコトヲ議決ス

◎國務大臣出席　齋藤總理大臣兼文部大臣、高橋大藏大臣、山本內務大臣、小山司法大臣、南遞信大臣、後藤農林大臣、松本商工大臣ハ一昨二十四日ノ會議ニ出席セリ

又齋藤內閣總理大臣兼文部大臣、高橋大藏大臣、山本內務大臣、小山司法大臣、永井拓務大臣、松本商工大臣ハ昨二十五日ノ會議ニ出席セリ

◎議案奏上及通知　一昨二十四日可決シタル左ノ政府提出案ハ卽日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

昭和八年度歲入歲出總豫算追加案（第二號）

昭和八年度各特別會計歲入歲出豫算追加案（特第二號）

昭和九年度歲入歲出總豫算追加案（第二號）

昭和九年度各特別會計歲入歲出豫算追加案（特第二號）

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件（追第二號）

昭和九年度各特別會計歲入歲出豫算追加案（特第三號）

函館市ノ火災被害者ニ對スル租稅ノ免除猶豫等ニ關スル法律案

會計檢査院法中改正法律案

原蠶種管理法案

河川法中改正法律案

朝鮮事業公債法中改正法律案

輸出生絲販賣統制法案

輸出組合法中改正法律案

貿易調節及通商擁護ニ關スル法律案

日本銀行金買入法案

又昨二十五日可決シタル左ノ政府提出案ハ卽日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

昭和九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債追加發行ニ關スル法律案

絲價安定融資擔保生絲買收法中改正法律案

日本銀行特別融通及損失補償法中改正法律案

地方鐵道法又ハ軌道法ニ依リ交付スル國債證券ニ關スル法律案

石油業法案

昭和九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債第二次追加發行ニ關スル法律案

鑛業法中改正法律案

朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案

臺灣私設鐵道補助法中改正法律案

大正九年法律第十二號中改正法律案

臨時米穀移入調節法

政府所有米穀特別處理法案

米穀需給調節特別會計法中改正法律案

又同日兩院協議會成案ヲ可決シタル左ノ政府提出案ハ卽日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

衆議院議員選擧法中改正法律案

又同日承諾スルコトヲ議決シタル左ノ政府提出案ハ卽日之ヲ奏上シ又承諾スルコトヲ議決シタル旨ヲ衆議院ニ通知セリ

昭和七年度特別會計第一豫備金支出ノ件

昭和七年度第一豫備金支出ノ件

昭和七年度特別會計豫備費支出ノ件

昭和七年度滿洲事件第一豫備金支出ノ件

昭和八年度第二豫備金支出ノ件

昭和八年度特別會計第二豫備金支出ノ件

昭和八年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

又同日可決シタル左ノ衆議院提出案ハ卽日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

金錢債務臨時調停法中改正法律案

所得稅法中改正法律案

◎議案回付　一昨二十四日修正議決シタル左ノ政府提出案ハ卽日之ヲ衆議院ニ回付セリ

衆議院議員選擧法中改正法律案

又昨二十五日修正議決シタル左ノ政府提出案ハ卽日之ヲ衆議院ニ回付セリ

治安維持法改正法律案

◎議案提出　一昨二十四日議員ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

農業者ノ窮狀緩和ニ關スル決議案（侯爵西鄕從德外八名發議）

官幣大社橿原神宮ノ規模神域整美ニ關スル建議案（公爵一條實孝外六名發議）

又昨二十五日衆議院ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

農業保險法案

森林火災保險法案

漁船保險法案

競馬法中改正法律案

行政執行法中改正法律案

私生子ノ名稱ニ關スル法律案

破産者ノ公ノ資格ニ關スル法律案

陪審法中改正法律案

關稅定率法中改正法律案

◎議案受領　昨二十五日衆議院ヨリ左ノ兩院協議會成案ヲ受領セリ

衆議院議員選擧法中改正法律案兩院協議會成案

又同日衆議院ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

計理士法中改正法律案

史蹟名勝天然紀念物保存法中改正法律案

水利組合法中改正法律案

北海道土功組合法中改正法律案

國立公園法中改正法律案

森林法中改正法律案

傷痍軍人及戰公傷病死者遺族等ノ鐵道船舶等乘車船優遇ニ關スル法律案

膠州灣租借地引渡ニ關スル條約實施ニ件フ損害ノ補償ニ關スル法律案

◎通牒受領　一昨二十四日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ハ同院ニ於テ之ヲ可決シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

市街地建築物法中改正法律案

又昨二十五日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ハ同院ニ於テ之ヲ可決シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

出版法中改正法律案

◎兩院協議會ノ請求及通牒受領　一昨二十四日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ニ付同院ニ於テ本院ノ修正ニ同意セサルコトニ決議セル旨ヲ以テ兩院協議會ヲ開クノ請求ヲ受ケ又同時ニ同院ヨリ協議委員ノ數ヲ十名ト爲スニ決セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

衆議院議員選擧法中改正法律案

又昨二十五日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ニ付同院ニ於テ本院ノ修正ニ同意セサルコトニ決議セル旨ヲ以テ兩院協議會ヲ開クノ請求ヲ受ケ又同時ニ同院ヨリ協議委員ノ數ヲ十名ト爲スニ決セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

治安維持法改正法律案

◎建議書呈出　一昨二十四日可決シタル左ノ建議ハ文書ヲ以テ卽日之ヲ政府ニ呈出セリ

度量衡制度調査會設置ニ關スル建議

又昨二十五日可決シタル左ノ建議ハ文書ヲ以テ卽日之ヲ政府ニ呈出セリ

官幣大社橿原神宮ノ規模神域整美ニ關スル建議案

◎請願書送付　昨二十五日採擇スルコトヲ議決シタル三陸地方ニ嘯震害豫防施設ノ請願外三十八件ノ請願ハ各、意見書ヲ附シ卽日之ヲ政府ニ送付セリ

◎報告書提出　一昨二十四日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

請願文書表（第八回報告）

輸出組合法中改正法律案可決報告書

昭和九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債追加發行ニ關スル法律案可決報告書

絲價安定融資擔保生絲買收法中改正法律案可決報告書

日本銀行特別融通及損失補償法中改正法律案可決報告書

地方鐵道法又ハ軌道法ニ依リ交付スル國債證券ニ關スル法律案可決報告書

昭和七年度第一豫備金支出ノ件、昭和七年度特別會計第一豫備金支出ノ件、昭和七年度特別會計豫備費支出ノ件、昭和七年度滿洲事件第一豫備金支出ノ件、昭和八年度第二豫備金支出ノ件、昭和八年度特別會計第二豫備金支出ノ件、昭和八年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件議決報告書

日本銀行金買入法案可決報告書

貿易調節及通商擁護ニ關スル法律案可決報告書

石油業法案可決報告書

昭和九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債第二次追加發行ニ關スル法律案可決報告書

鑛業法中改正法律案可決報告書

朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案可決報告書

臺灣私設鐵道補助法中改正法律案可決報告書

金錢債務臨時調停法中改正法律案可決報告書

又昨二十五日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

治安維持法改正法律案修正議決報告書

大正九年法律第十二號中改正法律案可決報告書

臨時米穀移入調節法案可決報告書

政府所有米穀特別處理法案可決報告書

米穀需給調節特別會計法中改正法律案可決報告書

所得稅法中改正法律案可決報告書

又同日兩院協議委員議長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

衆議院議員選擧法中改正法律案兩院協議會成案成立報告書

治安維持法改正法律案兩院協議會成案成立報告書

◎特別委員選定　一昨二十四日議長ニ於テ特別委員ヲ左ノ如ク選定セリ

度量衡法中改正法律案特別委員

公爵鷹司　信輔　伯爵酒井　忠正
子爵岡部　長景　松浦鎭次郎
男爵伊藤　一郎　馬場　鍈一
田村　新吉　上松　泰造
山上　岩二

第2167号 本文

◉特別委員補闕選定 昨二十五日議長ニ於テ度量衡法中改正法律案特別委員ノ補闕トシテ木場貞長ヲ選定セリ

◉正副委員長互選 昨二十五日委員會ニ於テ正副委員長ヲ互選セリ其ノ結果左ノ如シ

度量衡法中改正法律案特別委員會
委員長 公爵鷹司 信輔
副委員長 子爵岡部 長景

◉兩院協議委員選定 一昨二十四日議長ニ於テ兩院協議委員ヲ左ノ如ク選定セリ

衆議院議員選擧法中改正法律案兩院協議委員
侯爵佐佐木行忠 伯爵酒井 忠正
子爵前田 利定 子爵岡部 長景
伊澤多喜男 川崎 卓吉
男爵黑田 長和 男爵矢吹 省三
馬場 鍈一 古島 一雄

又昨二十五日議長ニ於テ兩院協議委員ヲ左ノ如ク選定セリ

治安維持法改正法律案兩院協議委員
公爵一條 實孝 伯爵黑木 三次
子爵青木 信光 男爵井田 磐楠
山岡萬之助 松村 義一
丸山 鶴吉 大塚 惟精
鵜澤 總明 岩田 宙造

◉兩院協議委員正副議長互選 一昨二十四日兩院協議委員ニ於テ正副議長ヲ互選セリ其結果左ノ如シ

衆議院議員選擧法中改正法律案兩院協議委員
議長 侯爵佐佐木 行忠
副議長 子爵前田 利定

又昨二十五日兩院協議委員ニ於テ正副議長ヲ互選セリ其結果左ノ如シ

治安維持法改正法律案兩院協議委員
議長 公爵一條 實孝
副議長 子爵青木 信光

◉書類配付 一昨二十四日左ノ書類ヲ配付セリ

議事日程 第三十三號
右郵送
計理士法中改正法律案
史蹟名勝天然記念物保存法中改正法律案
水利組合法中改正法律案
北海道土功組合法中改正法律案
國立公園法中改正法律案
森林法中改正法律案
傷痍軍人及戰公傷病死者遺族等ノ鐵道船舶等乘車船優遇ニ關スル法律案
膠州灣舊租借地引渡ニ關スル條約實施ニ伴フ損害ノ補償ニ關スル法律案
昭和七年度第一豫備金支出ノ件
昭和七年度特別會計第一豫備金支出ノ件
昭和七年度特別會計豫備費支出ノ件
昭和七年度滿洲事件第一豫備金支出ノ件
昭和八年度第二豫備金支出ノ件
昭和八年度特別會計第二豫備金支出ノ件
昭和八年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件
(承諾ヲ求ムル件)(委員長報告)
官幣大社橿原神宮ノ規模神域整美ニ關スル建議案
農業者ノ窮狀緩和ニ關スル決議案
輸出組合法中改正法律案委員長報告書
昭和九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債追加發行ニ關スル法律案委員長報告書
絲價安定融資擔保生絲買收法中改正法律案委員長報告書
日本銀行特別融通及損失補償法中改正法律案委員長報告書
地方鐵道法又ハ軌道法ニ依リ交付スル國債證券ニ關スル法律案委員長報告書
日本銀行金買入法案委員長報告書
貿易調節及通商擁護ニ關スル法律案委員長報告書
石油業法案委員長報告書
昭和九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債第二次追加發行ニ關スル法律案委員長報告書
鑛業法中改正法律案委員長報告書
朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案委員長報告書
臺灣私設鐵道補助法中改正法律案委員長報告書
金錢債務臨時調停法中改正法律案委員長報告書
請願委員會特別報告第六號
請願文書表(第八回報告)
右文書函ニ投入

又昨二十五日左ノ書類ヲ配付(文書函ニ投入)セリ

農業保險法案
森林火災保險法案
漁船保險法案
競馬法中改正法律案
行政執行法中改正法律案
私生子ノ名稱ニ關スル法律案
破產者ノ公ノ資格ニ關スル法律案
陪審法中改正法律案
關稅定率法中改正法律案
衆議院議員選擧法中改正法律案兩院協議會成案
衆議院議員選擧法中改正法律案兩院協議委員議長報告書
治安維持法改正法律案兩院協議委員議長報告書
治安維持法改正法律案委員長報告書
大正九年法律第十二號中改正法律案委員長報告書
臨時米穀移入調節法案委員長報告書
政府所有米穀特別處理法案委員長報告書
米穀需給調節特別會計法中改正法律案委員長報告書
所得稅法中改正法律案委員長報告書

◉議事日程 昨二十五日ノ議事日程左ノ如シ

議事日程 第三十三號
昭和九年三月二十五日(日曜日)
午前十時開議

第一 請願委員長報告
第二 昭和七年度第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會議(委員長報告)
第三 昭和七年度特別會計第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會議(委員長報告)
第四 昭和七年度特別會計豫備費支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會議(委員長報告)
第五 昭和七年度滿洲事件第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會議(委員長報告)
第六 昭和八年度第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會議(委員長報告)
第七 昭和八年度特別會計第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會議(委員長報告)
第八 昭和八年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會議(委員長報告)
第九 昭和九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債追加發行ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)
第十 絲價安定融資擔保生絲買收法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)
第十一 日本銀行特別融通及損失補償法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十二 地方鐵道法又ハ軌道法ニ依リ交付スル國債證券ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)
第十三 石油業法案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)
第十四 昭和九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債第二次追加發行ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)
第十五 鑛業法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)
第十六 朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)
第十七 臺灣私設鐵道補助法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)
第十八 金錢債務臨時調停法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
第十九 官幣大社橿原神宮ノ規模神域整美ニ關スル建議案(公爵一條實孝君外六名發議) 會議
第二十 三陸地方ニ嘯震害豫防施設ノ請願 會議
第二十一 雪害對策案樹立ノ請願 會議
第二十二 東北地方ニ軍需品工場設置ノ請願 會議
第二十三 仙臺工藝指導所ニ染織部設置ノ請願 會議
第二十四 東北帝國大學ニ農學部設置ノ請願 會議
第二十五 菊川改修ニ關スル請願 會議
第二十六 工業組合中央金庫設立ノ請願 會議
第二十七 戰公傷病死者竝傷痍軍人ノ遺族扶助料ニ關スル請願 會議
第二十八 三重縣龜山町、菰野町間ニ省營自動車運輸開始ノ請願 會議
第二十九 豫定線鐵道久慈、宮古間鐵道速成ノ請願 會議
第三十 公立商船學校卒業生ニ對シ特別教育機關設置ノ請願 會議
第三十一 石狩河口改修ニ關スル請願 會議
第三十二 札幌、樺太間ニ航空路開設ノ請願 會議
第三十三 高知刑務所移轉ノ請願 會議
第三十四 函館港ニ港務部設置ノ請願 會議
第三十五 北海道、北鮮間ニ命令航路開設ノ請願 會議
第三十六 靜岡縣田方郡函南村ニ無集配郵便局設置ノ請願 會議
第三十七 岐阜縣稻葉郡加納町ニ區裁判所出張所設置ノ請願 會議
第三十八 米穀消費ニ關スル調査委員會設置ノ請願 會議
第三十九 北海道旭川市ニ高等工業學校設立ノ請願 會議
第四十 北海道稚內港ト利尻、禮文兩島間ニ連絡航路開設ノ請願 會議
第四十一 北海道稚內築港工事ニ關スル請願 會議
第四十二 壽都漁港修築ノ請願 會議
第四十三 司法保護制度制定ノ請願 會議
第四十四 人造「バター」取締ニ關スル請願 會議
第四十五 北海道野付牛町ノ鐵道官舍敷地開放ノ請願 會議
第四十六 豫定線鐵道釧路、北見相生間鐵道速成ノ請願 會議
第四十七 北海道野付牛町ニ放送局設置ノ請願 會議
第四十八 北海道北見國ニ國立種馬所設置ノ請願 會議
第四十九 新潟縣菖蒲郵便取扱所ヲ無集配三等郵便局ニ改定ノ請願 會議
第五十 輸出水產物取締法制定ノ請願 會議
第五十一 少年團日本聯盟加盟團援助ニ關スル請願 會議
第五十二 耕地擴張改良事業ノ豫算計上ニ關スル請願 會議
第五十三 石油鑛產稅免除ニ關スル請願 會議
第五十四 國道八號線改修ニ關スル請願 會議
第五十五 關門隧道促進ニ關スル請願 會議
第五十六 東京、札幌間航空路促進ノ請願 會議
第五十七 癩療養施設擴張ニ關スル請願 會議
第五十八 鳥取縣東伯郡竹田村ニ區裁判所出張所設置ノ請願 會議

◉閉院式通牒受領 昨二十五日齋藤內閣總理大臣ヨリ本月二十六日貴族院ニ於テ帝國議會閉院式執行仰出サレタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

○衆議院

◉會議 一昨二十四日ノ本會議議事經過左ノ如シ

午後一時二十二分開議

衆議院議員選擧法中改正法律案(政府提出)貴族院回付案

右議案ハ議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ討論ノ後貴族院ノ修正ニ同意セサルニ決ス

議長ハ右議決ノ結果議院法第五十五條ニ依リ貴族院ニ對シ兩院協議會ヲ開クコトヲ求ムル旨ヲ告ケ次テ兩院協議委員ノ數及其ノ選擧方法ヲ議題ト爲ス旨ヲ宣告ス

兩院協議委員ノ數ハ十名ト爲シ議長ニ於テ直ニ指名スヘシトノ動議(青木雷三郎君提出)

右動議ハ之ヲ可決ス

議長ハ左ノ兩院協議委員ヲ指名ス

島田 俊雄君 濱田 國松君
山崎 達之輔君 志賀 和多利君
若宮 貞夫君 岡田 忠彥君
安藤 正純君 松田 源治君
賴母木 桂吉君 俵 孫一君

議長ハ兩院協議委員諸君ハ直ニ交涉室ニ參集シ議長及副議長ヲ互選セラレムコトヲ望ム旨ヲ告ク

市街地建築物法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

右議案ハ議事日程ノ順序ヲ變更シテ第一讀會ノ續會ヲ開キ第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ原案ノ通之ヲ可決ス

昭和七年度歳入歳出總決算、昭和七年度各特別會計歳入歳出決算
昭和七年度國有財產增減總計算書

右各件ハ一括シテ院議ニ付シ討論ノ後第一案ハ委員長報告ヲ是認スルニ決シ次テ第二案ハ委員長報告ノ通之ヲ是認スルニ決ス

決議案(高橋大藏大臣ノ責任ニ關スル件)(山道襄一君外二名提出)

右議案ハ議事日程ノ順序ヲ變更シテ院議ニ付シ討論ノ後之ヲ否決ス

北濃城端間鐵道速成ニ關スル建議案(西田鋭吉君提出)
岐阜ヨリ美濃町若ハ美濃關ニ至ル鐵道速成ニ關スル建議案(西田鋭吉君提出)
成羽白河間鐵道敷設速成ニ關スル建議案(中野寅吉君提出)
岡崎飯田間鐵道敷設ニ關スル建議案(小林錡君外一名提出)
白山新潟竝新潟新發田間鐵道敷設ニ關スル建議案(松木弘君外十三名提出)

第2167号 本文

二見港三田驛間鐵道敷設速成ニ關スル建議案(多木久米次郎君提出)
伊佐鐵道線路決定ニ關スル建議案(佐保畢雄君提出)
伊萬里佐世保間鐵道工事速進ニ關スル建議案(森篤君提出)
北海道鐵道敷設速成ニ關スル建議案(木下成太郎君外十三名提出)
北海道鐵道敷設速成ニ關スル建議案(山本厚三君外三名提出)
越美線ノ線路選定ニ關スル建議案(西田銑吉君提出)
八幡金山間國營自動車運轉ニ關スル建議案(西田銑吉君提出)
都城驛霧島神宮驛間國營自動車運輸開始ニ關スル建議案(水久保甚作君提出)
米原今庄間鐵道電化速成ニ關スル建議案(熊谷五右衛門君提出)
千葉木更津間鐵道電化速成ニ關スル建議案(多田滿長君提出)
福島米澤間鐵道電化速成ニ關スル建議案(戸田虎雄君外五名提出)
常磐線電化速進ニ關スル建議案(佐藤正君提出)
新潟港臨港鐵道國營移管ニ關スル建議案(松木弘君外十四名提出)
北海道中部ニ鐵道局增設ニ關スル建議案(田中喜代松君外一名提出)
北海道石灰運賃低減ニ關スル建議案(木下成太郎君外十三名提出)
北海道酸性土壤地改良ニ要スル石灰運賃輕減ニ關スル建議案(山本厚三君外三名提出)
敦賀清津羅津又ハ雄基間聯絡特急航路開始ニ關スル建議案(熊谷五右衛門君提出)
新潟北鮮間直通命令航路開始ニ關スル建議案(松木弘君外十四名提出)
小樽稚内間定期命令航路ニ關スル建議案(林路一君提出)
富山ヨリ東京大阪名古屋仙臺青森ノ各地間及富山朝鮮滿洲帝國間定期航空路開設ニ關スル建議案(高見之通君外三名提出)
縣社新田神社合祀昇格ニ關スル建議案(中島知久平君外五名提出)
志賀神宮創建ニ關スル建議案(服部岩吉君外二名提出)
橿原神宮ニ補助金交付ニ關スル建議案(福井甚三君外二名提出)
沖繩縣官吏ノ待遇改善ニ關スル建議案(高田耘平君外二名提出)
廣告物取締法改正ニ關スル建議案(篠原義政君外一名提出)
小濱港改修ニ關スル建議案(添田敬一郎君外四名提出)
新潟港ヲ第一種重要港灣ニ編入ニ關スル建議案(松木弘君外十四名提出)
宮津港ヲ第一種重要港灣ニ指定ニ關スル建議案(田中祐四郎君外一名提出)
高砂港改修ニ關スル建議案(多木久米次郎君提出)
明石港改修ニ關スル建議案(多木久米次郎君提出)
北海道港灣漁港修築速成ニ關スル建議案(木下成太郎君外十三名提出)
北海道港灣漁港修築速成ニ關スル建議案(山本厚三君外三名提出)
溫泉法制定ニ關スル建議案(岸衛君提出)
富士國立公園指定促進ニ關スル建議案(岸衛君外一名提出)
能登半島沿岸國立公園指定ニ關スル建議案(櫻井兵五郎君提出)
北海道農家負債整理ニ關スル建議案(松實喜代太君外十三名提出)
北海道農家負債整理ニ關スル建議案(山本厚三君外三名提出)
淀川低水工事ノ計畫擴充ニ關スル建議案(田中祐四郎君外一名提出)
神崎川及猪名川改修促進ニ關スル建議案(藤山貞吉君外一名提出)
利根渡良瀨江戸三川低水工事急施ニ關スル建議案(佐藤洋之助君外五名提出)
七尾金澤間縣道ヲ軍事用ノ國道ニ編入ニ關スル建議案(櫻井兵五郎君提出)
伊豆七島ニ府縣制竝町村制施行ニ關スル建議案(三上英雄君外三名提出)
葉煙草賠償價格ノ算定ニ關スル建議案(高田耘平君外四名提出)
農業用礦油輸入稅免除ニ關スル建議案(多田滿長君提出)
絹織物消費稅撤廢ニ關スル建議案(高橋熊次郎君外四名提出)
絹織物消費稅撤廢ニ關スル建議案(田中祐四郎君外一名提出)
絹織物消費稅撤廢ニ關スル建議案(戸田由美君外二名提出)
カゼインニ對シ輸入關稅賦課ニ關スル建議案(林路一君外一名提出)
シヤム國產碎白米輸入許可ニ關スル建議案(花城永渡君提出)
檢查計理士法制定ニ關スル建議案(中村繼男君外一名提出)
國定教科書改訂ニ關スル建議案(坂東幸太郎君提出)
公立商船學校ヲ官立ニ變更若ハ國庫補助ニ關スル建議案(星島二郎君外三名提出)
愛知藥學校昇格ニ關スル建議案(丹下茂十郎君外四名提出)
佛典奧義ノ最高研究機關設置ニ關スル建議案(藏園三四郎君外三名提出)
電信文鐵道驛名札國定教科書ノカナ遣氏名ノ文字地名ノ書方ノ改善ニ關スル建議案(池田敬八君外三名提出)
伊豆大島ニ中央氣象臺附屬測候所設置ニ關スル建議案(三上英雄君外三名提出)
宗教團體法制定ニ關スル建議案(安藤正純君外四名提出)
宗教法制定ニ關スル建議案(中川觀秀君外一名提出)
齒科專醫設置ニ關スル建議案(杉山元治郎君外五名提出)
不動產登記法改正ニ關スル建議案(杉本國太郎君外一名提出)
エチオピアニ親交使節派遣ニ關スル建議案(中山福藏君提出)
警察署長ノ待遇改善ニ關スル建議案(高田耘平君外四名提出)
自家用濁酒醸造免許ニ關スル建議案(土屋清三郎君外二名提出)
各戰役ニ於ケル殊勳者優遇ニ關スル建議案(本田義成君外四名提出)
北海道ニ國立種馬所設置ニ關スル建議案(東武君外一名提出)
四國ニ國立種馬所設置ニ關スル建議案(伊藤裕次郎君外二名提出)
蹄鐵工法制定ニ關スル建議案(大石倫治君外二名提出)
原料牛乳及乳製品事業統制ニ關スル建議案(林路一君外三名提出)
獸疫調查所擴充ニ關スル建議案(三善信房君外一名提出)
鬼怒川魚族絶滅防止竝增殖助成ニ關スル建議案(高田耘平君外一名提出)
林業試驗ノ擴充ニ關スル建議案(高田耘平君外一名提出)
新潟港ニ家畜傳染病檢疫所設置ニ關スル建議案(佐藤與一君外四名提出)
人造バター工業保護助長ニ關スル建議案(小野寺章君外一名提出)
人造バター取締ニ關スル建議案(林路一君提出)
傷痍軍人ノ爲特種保險法制定ニ關スル建議案(八角三郎君外三名提出)
商品券統制ニ關スル建議案(安藤正純君外四名提出)
帝國議會圖書館竝議員事務室設置ニ關スル建議案(篠原義政君外一名提出)
國史國學及漢學教育ノ擴充ニ關スル建議案(木下成太郎君外八名提出)

中小商工業振興ニ關スル建議案(安藤正純君外三十五名提出)
右八十四案ハ議事日程ノ順序ヲ變更シ一括シテ院議ニ付シ第一乃至第八十三ノ各案ハ孰レモ委員長報告(人造バター取締ニ關スル建議案(林路一君提出)ハ修正議決シ　北海道鐵道敷設速成ニ關スル建議案(木下成太郎君外十三名提出)北海道鐵道敷設速成ニ關スル建議案(山本厚三君外三名提出)、北海道港灣漁港修築速成ニ關スル建議案(木下成太郎君外十三名提出)北海道港灣漁港修築速成ニ關スル建議案(山本厚三君外三名提出)、北海道農家負債整理ニ關スル建議案(松實喜代太君外十三名提出)北海道農家負債整理ニ關スル建議案(山本厚三君外三名提出)ハ孰レモ各兩案ヲ併合シテ一案トシ修正議決シ　伊佐鐵道線路決定ニ關スル建議案(佐保畢雄君提出)伊萬里佐世保間鐵道工事速進ニ關スル建議案(森篤君提出)ノ兩案ハ併合シテ一案トシ表題ヲ「伊佐鐵道線路決定工事速進ニ關スル建議」ニ改メ　北海道石灰運賃低減ニ關スル建議案(木下成太郎君外十三名提出)北海道酸性土壤地改良ニ要スル石灰運賃輕減ニ關スル建議案(山本厚三君外三名提出)ノ兩案ハ併合シテ一案トシ表題ヲ「北海道石灰運賃低減ニ關スル建議」ト爲シ　宗教團體法制定ニ關スル建議案(安藤正純君外四名提出)宗教法制定ニ關スル建議案(中川觀秀君外一名提出)ノ兩案ハ併合シテ一案トシ表題ヲ「宗教團體法制定ニ關スル建議」ト爲シ孰レモ修正議決シ　絹織物消費稅撤廢ニ關スル建議案(高橋熊次郎君外四名提出)絹織物消費稅撤廢ニ關スル建議案(田中祐四郎君外一名提出)絹織物消費稅撤廢ニ關スル建議案(戸田由美君外二名提出)ノ三案ハ併合シテ一案トシ修正議決シ　其ノ他ノ六十七案ハ孰レモ可決ス)ノ通議決シ第八十四案ハ前田房之助君ノ討論ヲ終リタル際青木雷三郎君提出討論終局ノ動議ヲ可決シテ原案ノ通之ヲ可決ス

小作法案(杉山元治郎君提出)
右議案ハ第一讀會ヲ開キ清瀨一郎君外四名提出農村救濟負擔均衡法案外一件委員會ニ併セ付託スルニ決ス

計理士法中改正法律案(世耕弘一君外二名提出)
右議案ハ第一讀會ノ續會ヲ開キ第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通修正議決ス

史蹟名勝天然紀念物保存法中改正法律案(天辰正守君外一名提出)
水利組合法中改正法律案(熊谷五右衛門君提出)
北海道土功組合法中改正法律案(林路一君外十三名提出)
國立公園法中改正法律案(小林錡君外一名提出)
森林法中改正法律案(小林錡君外一名提出)
右五案ハ一括シテ第一讀會ノ續會ヲ開キ第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ孰レモ原案ノ通之ヲ可決ス

傷痍軍人及戰公傷病死者遺族等ノ鐵道船舶等乘車船優遇ニ關スル法律案(江藤源九郎君提出)
傷痍軍人及戰公傷病死者遺族等ノ鐵道船舶等乘車船優遇ニ關スル法律案(上原平太郎君外二名提出)
膠州灣舊租借地引渡ニ關スル條約實施ニ伴フ損害ノ補償ニ關スル法律案(久山知之君外二名提出)
右三案ハ一括シテ第一讀會ノ續會ヲ開キ第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ第一第二ノ兩案ハ委員長報告(兩案ヲ併合シテ一案トス)ノ通修正議決シ第三案ハ原案ノ通之ヲ可決ス

議長ハ議事日程ヲ議了セル旨竝明二十五日ハ會期終了日ナルヲ以テ先例ニ依リ午前十時ヨリ會議ヲ開ク旨ヲ告ケ散會ヲ宣告ス

午後五時十五分散會

◎國務大臣出席　山本内務大臣、小山司法大臣、永井拓務大臣ハ昨二十四日ノ會議ニ出席セリ

◎議案奏上及通知　一昨二十四日可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ同時ニ其旨貴族院ニ通知セリ
市街地建築物法中改正法律案

◎議案送付　一昨二十四日貴族院ニ送付シタル本院提出案左ノ如シ
計理士法中改正法律案
史蹟名勝天然紀念物保存法中改正法律案
水利組合法中改正法律案
北海道土功組合法中改正法律案
國立公園法中改正法律案
森林法中改正法律案
傷痍軍人及戰公傷病死者遺族等ノ鐵道船舶等乘車船優遇ニ關スル法律案
膠州灣舊租借地引渡ニ關スル條約實施ニ伴フ損害ノ補償ニ關スル法律案

◎議案提出　一昨二十四日議員ヨリ提出シタル議案左ノ如シ
決議案(國策確立ニ關スル件)(内田信也君外二十二名提出)

◎回付議案受領　一昨二十四日貴族院ヨリ回付アリタル政府提出案左ノ如シ
衆議院議員選擧法中改正法律案

◎質問書提出　一昨二十四日議員ヨリ提出シタル質問主意書左ノ如シ
滿洲問題ニ關スル第二質問主意書(粟原彥三郎提出)
衆議院議員選擧法ニ關スル質問主意書(大崎清作提出)
司法權ノ威信保持ニ關スル質問主意書(江藤源九郎提出)

◎議案通牒受領　一昨二十四日貴族院ニ於テ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出議案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ
(第二號)昭和八年度歲入歲出總豫算追加案
(特第二號)昭和八年度各特別會計歲入歲出豫算追加案
(第二號)昭和九年度歲入歲出總豫算追加案
(特第二號)昭和九年度各特別會計歲入歲出豫算追加案
(追第二號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件
(特第三號)昭和九年度各特別會計歲入歲出豫算追加案
函館市ノ火災被害者ニ對スル租稅ノ免除猶豫等ニ關スル法律案
會計檢查院法中改正法律案
原蠶種管理法案
河川法中改正法律案
朝鮮事業公債法中改正法律案
輸出生絲取引法案
輸出組合法中改正法律案
貿易調節及通商擁護ニ關スル法律案
日本銀行金買入法案

◎兩院協議會請求及通知　一昨二十四日左ノ政府提出案(貴族院回付)ニ付貴族院ニ對シ兩院協議會ヲ開クコトヲ請求シ又同時ニ其委員ノ數ハ十名ト爲スニ決セル旨ヲ同院ニ通知セリ
衆議院議員選擧法中改正法律案

◎建議書呈出　一昨二十四日政府ニ呈出シタル建議書左ノ如シ
北濃城端間鐵道速成ニ關スル建議書
岐阜ヨリ美濃町若ハ美濃關ニ至ル鐵道速成ニ關スル建議書
成岡白河間鐵道敷設速成ニ關スル建議書
岡崎飯田間鐵道敷設ニ關スル建議書
白山新潟間竝新潟新發田間鐵道敷設ニ關スル建議書
二見港三田驛間鐵道敷設速成ニ關スル建議書
伊佐鐵道線路決定工事速進ニ關スル建議書
北海道鐵道敷設速成ニ關スル建議書

第2167号本文

第百十六（特別報告第四〇七號）手和島
厩鍛刺所廃命ニ伴ヒ閉鎖ノ件ニ關スル請願
（委員長報告）

第百十七（特別報告第四〇八號）地方教
育費補助ニ關スル請願（委員長報告）

第百十八（特別報告第四一〇號）児島高等農林學校設置ニ關スル請願外一件（委員長報告）

第百十九（特別報告第四一一號）中等學
校入學試驗改善ニ關スル請願（委員長報告）

第百二十（特別報告第四一二號）少年園
ニ日本橋區加賀町ノ一部ヲ編入スル件（委員長報告）

第百二十一（特別報告第四一三號）大塚
神社古墳調査ニ關スル請願（委員長報告）

第百二十二（特別報告第四一四號）系譜
書籍並ニ法規刊行ノ件（委員長報告）

第百二十三（特別報告第四一五號）宗教
宣教ニ關スル法律案（委員長報告）

第百二十四（特別報告第四一六號）惣
作成ニ關スル請願（委員長報告）

第百二十五（特別報告第四一九號）宗若
ノ請願（委員長報告）

第百二十六（特別報告第四二〇號）徳
市ニ關スル請願（委員長報告）

第百二十七（特別報告第四二一號）伊
院鍛冶町鍛造場設置ノ請願（委員長報告）

第百二十八（特別報告第四二二號）水
俣ニ山師相續ニ關スル請願（委員長報告）

第百二十九（特別報告第四二五號）交
通ニ關スル請願（委員長報告）

第百三十（特別報告第四二六號）多
村字六治ニ無集配郵便局設置ノ請願（委員長報告）

第百三十一（特別報告第四二九號）村
長ノ不信任ニ關スル請願（委員長報告）

第百三十二（特別報告第四三〇號）村
長ノ不信任ニ關スル請願（委員長報告）

第百三十三（特別報告第四三一號）警
察官ノ待遇改善ニ關スル請願（委員長報告）

第百三十四（特別報告第四三四號）浦
防組員優遇ニ關スル請願（委員長報告）

第百三十五（特別報告第四三五號）大
門部落現圖道路變更ニ關スル請願（委員長報告）

第百三十六（特別報告第四三六號）東
郷城跡保存ニ關スル請願外一件（委員長報告）

第百三十七（特別報告第四三七號）忠
霊塔ニ古江田鑄造廃止ニ關スル請願（委員長報告）

第百三十八（特別報告第四三八號）神
社ニ境内地ノ一部ヲ編入スル件（委員長報告）

第百三十九（特別報告第四三九號）米
穀検査ニ關スル法律案（委員長報告）

第百四十（特別報告第四四〇號）原
町ニ無集配郵便局設置ノ請願（委員長報告）

第百四十一（特別報告第四四一號）加
納町ニ無集配郵便局設置ノ請願（委員長報告）

第百四十二（特別報告第四四二號）大
河原町ニ無集配郵便局設置ノ請願（委員長報告）

第百四十三（特別報告第四四三號）大
河原町ニ無集配郵便局設置ノ請願（委員長報告）

第百四十四（特別報告第四四四號）大
河原町ニ無集配郵便局設置ノ請願（委員長報告）

第百四十五（特別報告第四四五號）大
河原町ニ無集配郵便局設置ノ請願（委員長報告）

第百四十六（特別報告第四四六號）大
河原町ニ無集配郵便局設置ノ請願（委員長報告）

第百四十七（特別報告第四四七號）深
川第一無集配郵便局ノ請願（委員長報告）

第百四十八（特別報告第四五〇號）島
郵便局ニ集配事務開始ノ請願（委員長報告）

第百四十九（特別報告第四五一號）新
郵便局ニ集配事務開始ノ請願（委員長報告）

第百五十（特別報告第四五二號）宮
崎郵便局ニ集配事務開始ノ請願（委員長報告）

第百五十一（特別報告第四五三號）宮
崎郵便局ニ集配事務開始ノ請願（委員長報告）

第百五十二（特別報告第四五四號）脇
郷郵便局ニ電信事務開始ノ請願（委員長報告）

第百五十三（特別報告第四五六號）小
蔵郵便局ニ電信電話事務開始ノ請願（委員長報告）

第百五十四（特別報告第四五八號）神
郡郵便局ニ電信事務開始ノ請願（委員長報告）

第百五十五（特別報告第四五九號）温
泉郡ニ電話架設ノ請願（委員長報告）

第百五十六（特別報告第四六〇號）弘
法電話架設ニ關スル請願（委員長報告）

第百五十七（特別報告第四六一號）國
府ニ電話架設ニ關スル請願（委員長報告）

第百五十八（特別報告第四六二號）加
治木ニ無集配郵便局設置ノ請願（委員長報告）

第百五十九（特別報告第四六三號）高
千穂神社境界ノ請願（委員長報告）

第百六十（特別報告第四六四號）村
役場ニ電話架設ノ請願（委員長報告）

第百六十一（特別報告第四六五號）新
村大字中野字地尻ニ無集配郵便局設置ノ請願（委員長報告）

第百六十二（特別報告第四六六號）新
川原小出間鉄道運送ノ請願（委員長報告）

第百六十三（特別報告第四六七號）盛
岡大館間鉄道運送ノ請願（委員長報告）

第百六十四（特別報告第四六八號）指
宿崎間鉄道運送ノ請願（委員長報告）

第百六十五（特別報告第四六九號）古
本屋敷ニ無集配郵便局設置ノ請願外十件（委員長報告）

第百六十六（特別報告第四七〇號）石
見村大字下有見ニ停車場設置ノ請願（委員長報告）

第百六十七（特別報告第四七一號）工
業組合中央金庫設立ノ請願外二件（委員長報告）

第百六十八（特別報告第四七二號）陶
器原料採掘場設置ノ請願（委員長報告）

第百六十九（特別報告第四七三號）國
立公園ニ上人ヶ岳ヲ編入スル請願（委員長報告）

第百七十（特別報告第四七四號）國
道ノ改修ニ関スル請願（委員長報告）

第百七十一（特別報告第四七五號）和
泉村大字和泉字中野ニ無集配郵便局設置ノ請願（委員長報告）

第百七十二（特別報告第四七六號）村
役場ニ電話架設ノ請願（委員長報告）

第百七十三（特別報告第四七七號）人
挽牌並ニ國ノ請願（委員長報告）

第2167号　本文

地方行政

廣告

第2167号　本文

◎恤兵金品

今回ノ滿洲事變ニ際シ當局ニ於テ受領シタル寄附金寄附者住所氏名及寄贈品同價格竝ニ寄贈者住所氏名左ノ如シ

昭和九年三月　海軍省經理局

寄附金ノ部（代表名ノモノハ内譯ヲ省略ス）

受領月日	金額	現住所族籍官職位勳爵	氏名
	栃木縣		
九年二、一九	圓五・〇〇	上都賀郡今市町東郷町代表者	五十嵐　仁平
	東京府		
二、一	二・六五	東京市澁谷區丸山二七	原田　金太郎
同　五	一・〇〇	青山	無名氏
同　九	三・〇〇	東京市京橋區小田原町二ノ一七天野愛方	江島　優
同　一九	二・二三	同澁谷區圓山町二七原田金太郎方	岸田　嘉次郎
同　二七	二、〇〇〇・〇〇	同麴町區丸ノ内一ノ二日本工業倶樂部會館内	財團法人報効會
	一、五〇〇・〇〇	同芝區田町一ノ二〇森永製菓會社内	支那事變傷痍軍人後援會
	岡山縣		
二、一〇	三・〇〇	兒島郡荘内村大字小島池	井上　其子
同　二四	三・〇〇		
	德島縣		
二、一	一〇・〇〇	德島市中通町濱ノ丁内町青年團代表	黒崎　正三
	香川縣		
二、六	一五二・九八	綾歌郡端岡村	高橋　孝　外二十八名
	長崎縣		
二、五	一・〇〇	東彼杵郡上波佐見村舞桐	朱牟田　愛子
同　一七	一・〇〇		
	外國		
二、一六	一四九・一三	在サンパウロ總領事管内	星野　勝藏　外二名
同　二四	二・二八	上海特別陸戰隊經由	無名氏

寄贈品ノ部

受領月日	品種	數量	價格	現住所族籍官職位勳爵	氏名
	東京府				
九年二、一	慰問袋	五〇個	五〇・〇〇圓	東京市日本橋區茅場町三ノ一〇ノ一茅場町南町會長	馬場　半三郎
同	同	二四	三六・〇〇	同兜町三丁目兜町三丁目町會長	秋山　行藏
同	同	二〇	三〇・七七	同茅場町一丁目六茅場町一丁目町會長	岡本　保之助
同	同	七〇	八三・七三	同兜町二丁目兜町二丁目町會長	鈴木　圭三
同	同	五〇	一〇〇・〇〇	同本町三丁目一〇ノ三本町三丁目東町會長	戎野　喜太郎
同	同	八〇	一二八・〇〇	同箱崎町四丁目箱崎町四丁目町會長	伊藤　国二
同	同	四〇	五二・〇〇	同小傳馬町二丁目小傳馬町二丁目町會長	桑原　七兵衛
同	同	五二	七九・九〇	同小傳馬町三ノ五吉野方小傳馬町三丁目町會長	松山　國三郎
同	同	五八	五七・五八	同小網仲町小網仲町會長	川口　惣藏
同	同	三四	三四・〇〇	同室町三丁目室町三丁目町會長	杉浦　六右エ門
同	同	一一	一一・〇〇	同馬喰町四丁目馬喰町四丁目町會長	網　紀三郎
同	同	八五	八五・〇〇	同室町二丁目室二町會長	久能木　愼治
同　二	雜誌	三〇〇部	三〇・〇〇	同小石川區原町一九京北中學校	生徒一同
同	慰問袋	七二四個	五七九・二〇	同神田區新銀町八帝國在郷軍人會神田區分會第六班長	北川　榮吉
同　三	同	三	三・〇〇	同牛込區若宮町三一	鈴木　勘一
	靜岡縣				
二、三	慰問袋	一	・九〇	小笠郡堀之内町美喜本内	内山　きみ子 内山　まさ子
	石川縣				
二、三	慰問袋	三五〇	二四五・〇〇	金澤市廣坂通愛國婦人會石川縣支部長	山口　孝子
同	同	二五〇	一七五・〇〇		
	愛知縣				
二、三	慰問袋	一、一六〇	九三六・八〇	愛知縣教化事業協會長、同縣聯合青年團長、同縣聯合女子青年團長	三邊　長治
	京都府				
二、二	慰問袋	一五〇	七五・〇〇	京都市上京區下立賣新町東入修養團京都市聯合會長	松浦　有志太郎
	廣島縣				
二、一九	慰問袋	六三	三一・五〇	山縣郡川迫村	村民

◎工場財團

東京市城東區龜戸町七丁目五十番地東洋モスリン株式會社ヨリ當廳所轄既設工場財團東京市城東區龜戸町七丁目五十番地東洋モスリン株式會社第一第三工場ニ屬スル機械器具ニ對シ新ニ工場財團ニ屬スヘキモノトシテ變更登記ノ申請アリタルニ因リ右財團ニ屬スヘキ動產ニ付權利ヲ有スル者又ハ差押、假差押若クハ假處分ノ債權者ハ本公告掲載ノ日ヨリ三十二日以内ニ其權利ヲ當廳ニ申出ツヘシ

但シ工場財團ニ屬スヘキモノ、目錄ハ當廳ニ備付アリ關係者ノ閲覽ニ供ス

昭和九年三月二十六日　東京區裁判所小松川出張所

東京市城東區龜戸町七丁目五十番地東洋モスリン株式會社ヨリ當廳所轄既設工場財團東京市城東區龜戸町七丁目六十二番地東洋モスリン株式會社第四工場、靜岡縣安倍郡豐田村小黒二百八番地同靜岡工場、東京市板橋區練馬南町五丁目七千七番地同練馬工場ニ屬スル機械器具ニ對シ新ニ工場財團ニ屬スヘキモノトシテ變更登記ノ申請アリタルニ因リ右財團ニ屬スヘキ動產ニ付權利ヲ有スル者又ハ差押、假差押若クハ假處分ノ債權者ハ本公告掲載ノ日ヨリ三十二日以内ニ其權利ヲ當廳ニ申出ツヘシ

但シ工場財團ニ屬スヘキモノ、目錄ハ當廳ニ備附アリ關係者ノ閲覽ニ供ス

昭和九年三月二十六日　東京區裁判所小松川出張所

福島市大字福島字宮賜町七十番地福島電燈株式會社ヨリ新ニ白河區裁判所工場財團登記第一號ノ工場財團ニ屬スヘキモノトシテ工場財團目錄ノ記載ノ變更登記申請アリタルニ因リ右財團ニ屬スヘキ動產ニ付權利ヲ有スル者又ハ差押、假差押、假處分ノ債權者ハ本公告ノ日ヨリ三十一日以内ニ其權利ヲ當廳ニ屆出ツヘシ

但シ工場財團ニ屬スヘキモノ、目錄ハ當廳ニ備付アリ關係者ノ閲覽ニ供ス

昭和九年三月二十六日　白河區裁判所

◎證書無效

左記電信電話建築官吏之證亡失ノ旨屆出アリタルニ付爾今無效トス

昭和九年三月　遞信省

交付年月日	番號	官氏名
昭和五、六、二七	第一七四七號	遞信局技手　高屋　政夫

◎指定運送取扱人選定

指定運送取扱人左ノ通選定セリ

昭和九年三月二十六日　鐵道省

驛名	商號及氏名
八高南線　明覺	藤一運送店明覺支店平山庫治
園篠線　本篠山	篠山運送株式會社
福住	福住運送株式會社

◎縣債償還

本縣公債ノ内本月定期償還額二十万七百圓及繰上償還額產業資金公債い號九万圓ニ付抽籤ノ處左ノ通當籤ニ付本月三十一日夫々所定ノ支拂場所ニ於テ證券引換ニ之ヲ支拂フ

青森縣第三回各種事業公債（昭和二年十月二十日發行）

千圓券（丙）　九、二二、四三、五一、六〇

支拂場所　本縣本金庫

青森縣整理公債（昭和三年八月十五日發行）

い號

五千圓券　一

ろ號

五千圓券　一四

千圓券　二三、三六

百圓券　一五、一六、二五、三四、三五

に號

五千圓券　一三

千圓券　一〇

百圓券　三、六、八、一五、二三

と號

五千圓券　八

支拂場所　山一證券株式會社本店及支店

青森縣事業公債（昭和四年三月一日發行）

に號

五千圓券（丁）　三

五百圓券（乙）　一

百圓券（甲）　一、五、二〇

と號

五百圓券（乙）　一

百圓券（甲）　四、七

支拂場所　野村證券株式會社本店及支店

青森縣第三回整理公債（昭和四年四月二十日發行）

い號

千圓券（丙）　五

五百圓券（乙）　九

支拂場所　野村證券株式會社本店及支店

青森縣八戸漁港修築費公債（昭和五年八月二十日發行）

五千圓券（[illegible]）　七

千圓券（[illegible]）　一、三三

五百圓券（[illegible]）　五

支拂場所　鴻池信託株式會社本店及支店

青森縣第四回整理公債（昭和八年三月一日發行）

百圓券　四、四六、四七、七二、七七

支拂場所　野村證券株式會社本店及支店

青森縣第六回事業公債（昭和八年五月十五日發行）

い號

千圓券　七、九、一〇、一二、一四、一五、一八、二二、二三、二五、二七、三二、四一、四三

支拂場所　山一證券株式會社本店及支店

青森縣產業資金公債（昭和八年八月十五日發行）

い號

五千圓券　一九、二八、三五、三九、五七、七五、八二、一一八、一三三、一三七、一五九、二二五、二二五、二四九、二六八、三一〇、三三三、三四二、三四六、三五三、三五九、三六〇、四〇〇、四二八、四三六、四四七、四五六、四八九、五一九、五二八、五三五、五三九

千圓券　一八、四六、一四四、二八四、四三八、五一八

百圓券　二九、九五、二一一七、二七七、三〇〇

ろ號

五千圓券　四、一五、五四、八四、一九二、二一〇、六二三、一二三三

千圓券　一八、四二、八〇、九六、一〇九、一二六二、三四、一四〇、二七二、七五、一八六、一八八、一九五、一九六、二四七、二七二、二七五、三二一、三三九、三四〇、三五七、三八九、三九三、四〇九、四二〇

百圓券　一七三、二八六

支拂場所　野村證券株式會社本店及支店

本縣公債ノ内本月三十一日左ノ通繰上償還ス

青森縣第三回各種事業公債（昭和二年十月二十日發行）

殘額　金十五万圓

支拂場所　本縣本金庫

青森縣八戸漁港修築費公債（昭和五年八月二十日發行）

殘額　金十四万圓

支拂場所　鴻池信託株式會社本店及支店

青森縣事業公債（昭和四年三月一日發行）

と號殘額　金四万六千六百圓

支拂場所　野村證券株式會社本店及支店

昭和九年三月　青森縣

◎公債償還

本縣水力電氣事業公債來ル四月四日左ノ通償還ス

昭和九年三月　富山縣

本年四月一日元金現在額

第十四回　百六十五万九千圓

第十五回　二百十一万四千圓

第十六回　百七十六万六千圓

第十七回　三百五十五万圓

償還日マテノ端數利子（各回各號共通）

壹万圓券　六圓二錢

五千圓券　三圓一錢

壹千圓券　六十錢

壹百圓券　六錢

◎購買入札

第三十三號　裸麥　一四〇、〇〇〇瓩（七〇、〇〇〇瓩宛二口）

一入札日時及場所　四月六日午前十一時當支廠、即時開札

一入札心得書、契約書案及標本　當支廠ニ在リ

一入札保證金　各自見積金額ノ百分ノ五以上（圓未滿切上ク）

一入札者資格　大正十一年四月大藏省令第三十三號ノ資格證明アル者ニ限ル

昭和九年三月二十六日　宇品陸軍糧秣支廠

一石炭（九州塊炭）　六十万瓩

一運發油（五戰入）　二千罐

一契約條項ヲ示ス場所　當所

一入札竝開札日時及場所　來ル四月七日石炭ハ午前十時マテ運發油ハ同十一時マテ當所ニ入札書ヲ差出スヘシ即時開札ス但シ郵便、電信入札差支ナシ

一入札保證金　各自見積價格ノ百分ノ五以上（圓未滿切上ク）

一入札資格　大正十一年四月大藏省令第三十三號ノ資格證明アル者ニ限ル

昭和九年三月二十六日　市谷刑務所

一地氣三極（新草）　一万瓩

一晒三極（新草）　一万瓩

一契約條項ヲ示ス場所　當所

一入札竝開札日時及場所　來ル四月五日午後一時當所ニ入札書ヲ差出スヘシ即時開札ス但シ郵便、電信入札差支ナシ

一入札保證金　各自見積價格ノ百分ノ五以上

一入札資格　大正十一年四月大藏省令第三十三號ノ資格證明アル者ニ限ル

昭和九年三月二十六日　高知刑務所

一楢押角材（北海道產徑四五糎以上、長一八二糎以上）　五〇立方米

一樅押角材（同）　五〇立方米

一栂押角材（同）　五〇立方米

一桂押角材（北海道產徑四五糎以上、長一八二糎以上）　五〇立方米

一水芽櫻丸太材（內地產徑三〇糎以上、長一八二糎以上）　三〇立方米

各材質大節目廻リ割レ大入皮ナク腐レ捩レ割裂少ナキ良材

一契約條項ヲ示ス場所　當所

一入札竝開札日時及場所　來ル四月六日午前十時各號毎ニ當所ニ入札書ヲ差出スヘシ即時開札ス但シ郵便、電信入札差支ナシ

一入札保證金　各自見積價格ノ百分ノ五以上（圓未滿切上ク）

一入札資格　大正十一年四月大藏省令第三十三號ノ資格證明アル者ニ限ル

昭和九年三月二十六日　名古屋刑務所

一玄裸麥（十立ノ衡量七瓩以上）　五万瓩　當所納

一同（同）　二万瓩　小倉支所納

一契約條項ヲ示ス場所　當所

一入札竝開札日時及場所　來ル四月五日午後一時マテニ當所ニ入札書ヲ差出スヘシ即時開札ス但シ郵便、電信入札差支ナシ

一入札保證金　各自見積價格ノ百分ノ五以上（圓未滿切上ク）

一入札資格　大正十一年四月大藏省令第三十三號ノ資格證明アル者ニ限ル

昭和九年三月二十六日　福岡刑務所

一玄裸麥（十立ノ衡量七瓩以上）　二万瓩

一契約條項ヲ示ス場所　當所

一入札竝開札日時及場所　來ル四月五日午後二時限當所ニ入札書ヲ差出スヘシ即時開札ス但シ郵便、電信入札差支ナシ

一入札保證金　各自見積價格ノ百分ノ五以上（圓未滿切上ク）

一入札資格　大正十一年四月大藏省令第三十三號ノ資格證明アル者ニ限ル

昭和九年三月二十六日　鹿兒島刑務所

一精麥（十立ノ衡量七瓩二百八十瓦以上）　二万瓩　當所納

一契約條項ヲ示ス場所　當所

一入札竝開札日時及場所　來ル四月十日午前十一時マテ當所ニ入札書ヲ差出スヘシ即時開札ス但シ郵便、電信入札差支ナシ

第2167号本文

一入札保證金　各自見積價格ノ百分ノ五以上(圓未滿切上ク)
一入札資格　大正十一年四月大藏省令第三十三號ノ資格證明アル者ニ限ル
昭和九年三月二十六日　秋田刑務所

◎賣拂入札

一品名數量　空罐　四點
一現品引渡場所　名古屋倉庫
一入札並開札　四月五日午前十一時
一入札場所　當局經理課
一下見　四月四日
一公示書類　入札人心得書、契約書案ハ當局經理課ニ於テ縱覽スヘシ
一入札保證金　各自見積代價ノ百分ノ十以上(圓未滿切上ク)
一契約保證金　契約代價ノ百分ノ十以上(同上)
昭和九年三月二十六日　名古屋鐵道局

◎商業登記

◎東洋拓殖株式會社社債發行(支店)
一第九十九回社債總額金四十万圓
各社債ノ金額　一千圓一万圓
社債ノ利率　年四分五厘
社債償還ノ方法及期限
昭和九年六月二十七日同年十二月二十七日昭和十年六月二十七日同年十二月二十七日ニ各六千圓宛昭和十一年六月二十七日同年十二月二十七日昭和十三年六月二十七日ニ各金七千圓宛昭和十三年十二月二十七日昭和十四年六月二十七日同年十二月二十七日昭和十五年六月二十七日同年十二月二十七日ニ各金八千圓宛昭和十六年六月二十七日同年十二月二十七日昭和十七年六月二十七日同年十二月二十七日ニ各金九千圓宛昭和十八年六月二十七日同年十二月二十七日昭和十九年六月二十七日同年十二月二十七日ニ各金一万圓宛昭和二十年六月二十七日同年十二月二十七日昭和二十一年六月二十七日同年十二月二十七日ニ各金九千圓宛昭和十八年六月二十七日同年十二月二十七日昭和十九年六月二十七日同年十二月二十七日ニ各金一万圓宛昭和二十年六月二十七日同年十二月二十七日昭和二十一年六月二十七日同年十二月二十七日ニ各金一万一千圓宛昭和二十二年六月二十七日同年十二月二十七日昭和二十三年六月二十七日ニ各金一万二千圓宛昭和二十三年十二月二十七日昭和二十四年六月二十七日同年十二月二十七日ニ各金一万三千圓宛昭和二十五年六月二十七日同年十二月二十七日昭和二十六年六月二十七日ニ各金一万四千圓宛昭和二十六年十二月二十七日ニ金一万二千圓宛昭和二十七年六月二十七日同年十二月二十七日昭和二十八年六月二十七日同年十二月二十七日ニ各金一万三千圓宛償還ス但シ本資金ニ依ル貸付金返濟高カ償還年次金額ヲ超過シタルトキハ其超過額モ同時ニ償還スルモノトス
各社債ニ付拂込ミタル金額　全額

◎朝鮮銀行支店廢止(支店)
一昭和九年一月三十一日咸鏡北道會寧郡會寧邑二洞五十七番地ノ一ノ支店ヲ廢止ス
右昭和九年二月十六日登記

◎秋田商會木材株式會社更正(支店)
一鞍山南二條通百七番地ノ支店ヲ左ノ通更正ス
鞍山南一條町百七番地
右昭和九年二月十七日登記

◎合資會社青島輸出獸類檢疫所變更
一無限責任社員大橋慶治郎ハ昭和九年一月十七日死亡シタリ

◎合資會社青島輸出獸類檢疫所變更
一昭和九年二月十六日無限責任社員大橋慶次郎家督相續人大橋鐵男其持分ヲ大橋金次郎ニ讓渡シ同日左記ノ者入社ス
入社シタル社員ノ氏名住所出資額及責任
金二万五千七百十五圓五十錢　無限　大橋金次郎　青島觀城路四十五號

◎株式會社三日月溫泉變更
一昭和九年一月十日清算人清輔篤太郎ハ辭任シ同年二月九日左記ノ者清算人ニ就任ス
青島齊山路十一號　高宅慶夫

◎日華商事株式會社變更
一取締役鐘江敏ハ昭和八年十二月十四日死亡シ同豬俣政平ハ昭和九年一月二十日辭任シ同年二月十日左記ノ者取締役ニ就任ス
青島齊山路十一號　高宅慶夫
青島齊山路十一號　石川修造
一會社ヲ代表スヘキ取締役鐘江敏ハ昭和八年十二月十四日死亡シ同年二月十日左記ノ者就任ス
會社ヲ代表スヘキ取締役　石川修造
右昭和九年二月十九日登記

◎日本綿花株式會社變更(支店)
一昭和九年二月一日取締役日置保彥ハ其住所ヲ左ノ通リ變更ス
大阪市住吉區帝塚山西五丁目二十九番地

◎東洋拓殖株式會社社債發行(支店)
一第一百回社債發行
一社債總額　金七万七千六百圓
一各社債ノ金額　一百圓一千圓
一社債ノ利率　年四分
一社債償還ノ方法及期限
昭和十四年一月三十一日迄据置キ爾後左ノ通リ償還ス
昭和十四年七月三十一日昭和十五年一月三十一日ニ各金一千八百圓宛昭和十五年七月三十一日昭和十六年一月三十一日ニ各金一千九百圓宛昭和十六年七月三十一日昭和十七年一月三十一日ニ各金二千圓宛昭和十七年七月三十一日昭和十八年一月三十一日ニ各金二千一百圓宛昭和十八年七月三十一日昭和十九年一月三十一日ニ各金二千二百圓宛昭和十九年七月三十一日昭和二十年一月三十一日ニ各金二千三百圓宛昭和二十年七月三十一日昭和二十一年一月三十一日ニ各金二千四百圓宛昭和二十一年七月三十一日ニ金二千五百圓昭和二十二年一月三十一日同年七月三十一日ニ各金二千六百圓宛昭和二十三年一月三十一日ニ金二千七百圓昭和二十三年七月三十一日昭和二十四年一月三十一日ニ各金二千八百圓宛昭和二十四年七月三十一日ニ金二千九百圓昭和二十五年一月三十一日同年七月三十一日ニ各金三千圓宛昭和二十六年一月三十一日ニ金三千一百圓昭和二十六年七月三十一日昭和二十七年一月三十一日ニ各金三千二百圓宛昭和二十七年七月三十一日ニ金三千三百圓昭和二十八年一月三十一日ニ金三千四百圓昭和二十八年七月三十一日ニ金三千五百圓昭和二十九年一月三十一日ニ金三千六百圓償還ス
但シ本資金ニ依ル貸付金返濟高カ償還年次金額ヲ超過シタルトキハ其超過額モ同時ニ償還スルモノトス
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
右昭和九年二月二十日登記

◎東洋鑛業株式會社設立
一商號　東洋鑛業株式會社
一本店　中華民國青島無棣二路三十三號
一目的　一鑛業一般二鑛産物ノ賣買及事業ニ對スル投資三前二項ニ關スル一切ノ業務
一設立年月日　昭和九年二月十五日
一資本ノ總額　金一百万圓
一株ノ金額　金二十圓
一各株ニ付拂込ミタル株金額　金二十圓
一公告ヲ爲ス方法　青島ニ於テ總領事館ノ公告ヲ爲ス新聞ニ掲載ス
一取締役ノ氏名住所
取締役　池田鎔二　東京市大森區南千束町六十九番地
同　南部純一郎　東京市本郷區西須賀町十六番地
同　本間德彦　埼玉縣北足立郡蕨町四千五百九番地
同　南部勇平　東京市王子區上十條町千三百五十六番地
一監査役ノ氏名住所
監査役　田付貞介　東京市淀橋區戸塚町一ノ二八三番地
會社ヲ代表スヘキ取締役　池田鎔二

◎長崎紡織株式會社變更(支店)
一昭和九年二月一日監査役岩田宗次郎ハ其ノ住所ヲ左ノ通リ變更ス
大阪市住吉區帝塚山中一丁目二十四番地
右昭和九年二月二十一日登記

◎合名會社有川商店變更
一昭和九年二月二十日營業目的ヲ左ノ如ク變更ス
一石炭コークスノ賣買並輸出入及之ニ附帶スル一切ノ業務
二石材採掘販賣及之ニ附帶スル一切ノ業務
一昭和九年二月二十日左記ノ者會社ヲ代表スヘキ社員ニ就任ス
有川常藏　東京市麴町區飯田町六丁目二十五番地
右昭和九年二月二十二日登記

◎東洋拓殖株式會社變更(支店)
一第三十九回社債登記事項中社債償還ノ方法及期限ヲ昭和九年二月十三日左ノ如ク變更ス
社債償還ノ方法及期限　昭和十六年十二月一日迄ニ毎年左記ノ通リ償還スルモノトス
昭和九年十二月一日　金二十万圓
同十年十二月一日　金三十四万圓
同十一年十二月一日　金四十四万圓
同十二年十二月一日　金三十五万圓
同十三年十二月一日　金三十五万圓
同十四年十二月一日　金四十五万圓
同十五年十二月一日　金五十万圓
同十六年十二月一日　金三十二万圓

◎日本綿花株式會社變更(支店)
一昭和九年二月十四日取締役大岡破挫魔ハ其住所ヲ左記ニ移轉ス
兵庫縣武庫郡本山村田中二百五十八番地
右昭和九年二月二十四日登記

◎株式會社正隆銀行變更(支店)
一昭和九年二月九日左記ノ者取締役ニ重任ス
東京市本郷區駒込林町十八番地　安田善四郎
大連市佐渡町六番地　佐藤至誠
大連市監部通三十九番地　張本政
右昭和九年二月二十七日登記
在青島日本帝國總領事館

◎中華製氷株式會社(變更)
一左記監査役ハ昭和九年二月二十四日重任ス
迎英輔　漢口日本租界大正街第四十號
近藤宗治　漢口日本租界中街第十一號

◎日本綿花株式會社(變更)(更正)
一取締役大岡破挫魔ハ昭和九年二月十四日其住所ヲ兵庫縣武庫郡本山村田中二百五十八番地ニ移轉ス
一取締役日置保彥ノ住所ヲ昭和九年二月一日大阪市住吉區帝塚山西五丁目二十九番地ト變更ス
右昭和九年二月二十六日登記
在漢口日本帝國總領事館

◎株式會社關東銀行變更(支店)
一監査役野村金次郎同廣瀨淸繼ハ昭和九年一月二十九日任期滿了ニ因リ退任シ昭和九年一月三十日左ノ者重任ス
廣瀨淸繼　高座郡藤澤町藤澤一八六七番地
右昭和九年二月十二日登記

◎合資會社設立
一商號　合資會社大正屋
一本店　神奈川縣三浦郡浦賀町大津八〇五番地
一目的　精白米蔬菜果實其ノ他一般ノ食料品竝ニ日用品ノ販賣業
一設立ノ年月日　昭和九年二月十一日
一代表社員ノ氏名　關本多一郎岡崎佐太郎
一社員ノ氏名住所出資及責任
一金一千圓　無限　關本多一郎　三浦郡浦賀町大津八〇五番地
一金一千圓　無限　岡崎佐太郎　横須賀市中里町一〇七番地
一金一千圓　有限　飛田久治郎　同市逸見町四二七番地
一金三百圓　有限　高橋恭一　三浦郡浦賀町鴨居八七八番地
一金三百圓　有限　長谷川信一　三浦郡浦賀町大津七八三番地
一金一百圓　有限　松本彌藏　三浦郡浦賀町大津八一五番地
一金一百圓　有限　杉山盛治　同所八三三番地
一金六十圓　有限　瀧川萬藏　同所八三九番地
一金一百圓　有限　玉置春助　同所七八四番地
一金一百圓　有限　竹下末次郎　同所八〇八番地
一金一百圓　有限　高田政吉　同町芝生四一七番地
一金一百圓　有限　笹山惣助　横濱市中區中村町一三四三番地
一金一百圓　有限　石井德造　三浦郡浦賀町大津一〇一六番地
一金一百圓　有限　森照義　横須賀市公鄕町一二〇九番地
一金一百圓　有限　飯田禎次　三浦郡浦賀町走水八三一番地
一金一百圓　有限　米山留藏　同町大津七五六番地
一金六十圓　有限　日隈五島　同所一一四二番地
一金六十圓　有限　河西幸之助　同所七二〇番地
一金六十圓　有限　飛松虎彥　三浦郡浦賀町大津九七〇番地
一金六十圓　有限　飯島幸吉　同所八五五番地
一金六十圓　有限　竹本作平　同所九七九番地
一金六十圓　有限　山口重太郎　同所九九七番地
一金六十圓　有限　鶴見留吉　横須賀市深田町三一三番地
一金六十圓　有限　石渡新吉　三浦郡浦賀町大津七八六番地
一金六十圓　有限　岡勘次郎　同町芝生二七五番地
一存立ノ時期　設立ノ日ヨリ二十箇年
右昭和九年二月十四日登記
横須賀區裁判所浦賀出張所

◎株式會社神奈川縣農工銀行社債(支店)
一第百四十四回社債發行
一社債ノ總額　金一万三千四百圓
二各社債ノ金額　金一百圓
三各社債ノ利率　年三分二厘
四社債償還ノ方法及期限　昭和九年八月第一回ノ償還抽籤ヲ執行シ以後毎年二回二月八月抽籤ヲナシ毎回元金一千圓以上ヲ其翌月ニ償還シ昭和十五年三月一日殘額全部ヲ償還ス但シ本資金ニ依ル貸付金返濟高カ前記償還高ヲ超過シタル時ハ其超過額モ同時ニ償還シ又本債券据置期間中ニ於テ本資金ニ依ル貸付金ノ全部又ハ一部ノ返濟アリタルトキハ最近ノ元利支拂期ニ於テ該返濟額相當額ノ償還ヲナスモノトス
五各社債ニ付拂込ミタル金額　全額拂込濟
一同行第百四十五回社債發行
一社債ノ總額　金一万三千八百圓
二各社債ノ金額　金一百圓
三各社債ノ利率　年三分八厘
四社債償還ノ方法及期限　昭和九年七月第一回ノ償還抽籤ヲ執行シ以後毎年二回一月七月抽籤ヲナシ毎回元金一千三百圓以上ヲ其翌月ニ償還シ昭和十四年二月一日殘額全部ヲ償還ス但シ本資金ニ依ル貸付金返濟高カ前記償還高ヲ超過シタル時ハ其超過額モ同時ニ償還シ又本債券据置期間中ニ於テ本資金ニ依ル貸付金ノ全部又ハ一部ノ返濟アリタルトキハ最近ノ元利支拂期ニ於テ該返濟額相當額ノ償還ヲナスモノトス
五各社債ニ付拂込ミタル金額　全額拂込濟
右昭和九年二月九日登記

◎株式會社關東銀行變更(支店)
一監査役全員任期滿了ニ付左記ノ者昭和九年一月三十日監査役ニ就任ス
廣瀨淸繼　高座郡藤澤町藤澤一八六七番地
右昭和九年二月十二日登記
横須賀區裁判所三崎出張所

◎株式會社關東銀行變更(支店)
監査役野村金次郎同廣瀨淸繼ハ昭和九年一月二十九日任期滿了ニ付退任シ昭和九年一月三十日左ノ者重任ス
一監査役ノ氏名住所
廣瀨淸繼　高座郡藤澤町藤澤千八百六十七番地
右昭和九年二月十二日登記
横須賀區裁判所長井出張所

◎丸庄製絲株式會社變更
一取締役岸上光ノ住所ハ昭和九年二月十一日行政區劃ノ變更ニ因リ左ノ通リ變更ス
浦和市四千三百二十六番地
昭和九年二月二十四日登記
熊谷區裁判所本庄出張所

◎鍋店株式會社變更(支店)
一取締役大塚勉三ハ昭和九年二月十六日死亡ス
昭和九年二月二十六日登記
佐倉區裁判所木下出張所

◎鍋店株式會社變更(支店)
一取締役大塚勉三ハ昭和九年二月十六日死亡ス
昭和九年二月二十六日登記
八日市場區裁判所東金出張所

◎鍋店株式會社變更(支店)
一取締役大塚勉三ハ昭和九年二月十六日死亡ス
昭和九年二月二十六日登記
佐原區裁判所神崎出張所

◎株式會社三ツ輪銀行變更
昭和九年二月十五日監査役宮古啓三郎ハ重任ス
右昭和九年二月二十四日登記
土浦區裁判所

◎株式會社丸生桐生魚市場變更
一取締役全員任期滿了ノ處昭和九年二月十一日左記ノ者取締役ニ就任ス
青木正市　桐生市本町二丁目二百六十四番地
野澤仙吉　同市末廣町二丁目千百五十九番地ノ一
祖父江謙介　同市本町一丁目百六十六番地
中村庄吉　同市今泉町七百六番地
八田良治　同市末廣町一丁目千百六十三番地
一監査役全員任期滿了ノ處同日左記ノ者監査役ニ就任ス
稻川確　桐生市本町六丁目三百七十七番地
藤生正資　山田郡大間々町大字大間々千四百十五番地
昭和九年二月二十三日登記
新田區裁判所桐生出張所

◎境川倉庫乾燥株式會社變更
一取締役任期滿了ニ付宇佐美一經宇佐美妙福橋田民司三枝正富ハ昭和九年二月十七日重任ス
昭和九年二月二十四日登記
甲府區裁判所石和出張所

第2167号　本文

◎笹川紡績株式會社變更（本店）
一取締役辻重五郎ハ昭和九年二月七日辭任セリ
右昭和九年二月二十日登記　松阪區裁判所

◎合資會社藤山組變更
一有限責任社員辻總次郎ハ昭和九年二月二日死亡ニ因リ退社ス
昭和九年二月十五日登記　上野區裁判所名張出張所

◎合資會社設立
一商號　合資會社川村商店
一本店　四日市市西町百八番屋敷
一目的　醬油販賣及木綿製造販賣及之レニ附帶スル一切ノ業務
一設立ノ年月日　昭和九年二月二十二日
一存立ノ時期　滿十箇年
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任
一金二千圓　無限　川村甚一　四日市市西町百八番屋敷
一勞務　有限　川村吉彌　同所同番屋敷
一金千五百圓　有限　川村太市　三重郡神前村大字會井九十五番屋敷
一金千五百圓　有限　川村藤一郎　同所八百二十四番地

◎合資會社三重繭糸店變更
一昭和九年二月二十日左記ノ者代表社員ニ就任ス
藤澤常吉
一同日有限藤澤恒三ハ其責任ヲ無限ト變更ス
昭和九年二月二十二日登記　四日市區裁判所

◎北勢倉庫株式會社變更
一取締役南部勢一郎ハ昭和九年二月十六日辭任シタリ
昭和九年二月二十日登記　四日市區裁判所桑名出張所

◎合資會社設立
一商號　合資會社高橋商店
一本店　宇治山田市大字今在家町四十三番地
一目的　米穀及酒類竝ニ之レニ類似附隨スル一切ノ物品販賣ヲ營ムコト
一設立ノ年月日　昭和九年二月十三日
一社員ノ氏名住所出資ノ種類責任
一勞務　無限　高橋ゑげ　宇治山田市大字今在家町四十三番地
一金二千圓　有限　高橋そめ　同上同番地
一金二百五十圓　有限　中村清治郎　同市大字船江町二百七番屋敷
一金五百圓　有限　中村清藏　同上同番屋敷
一金二百五十圓　有限　岡田冬三郎　同上三百十四番地
一存立ノ時期　設立ノ日ヨリ滿十箇年
昭和九年二月十四日登記　山田區裁判所

◎妻登記
一妻ノ氏名住所　森みや　南牟婁郡南輪内村大字曾根浦五十番屋敷
一營業ノ種類　米穀類ノ販賣竝ニ雜貨商
一營業所　南牟婁郡南輪内村大字曾根浦二百十七番地ノ二
昭和九年二月二十日登記　木本區裁判所南輪内出張所

◎大東運送合資會社變更
一無限責任社員大西與三吉、東末吉ハ昭和九年二月十二日其ノ出資ノ種類及價格ヲ左ノ通リ變更ス　一金一千圓無限大西與三吉北牟婁郡三野瀨村大字海野浦千五十七番地　一金一千圓無限東末吉北牟婁郡三野瀨村大字道瀨浦八十三番地ノ二
昭和九年二月二十二日登記　木本區裁判所長島出張所

◎合資會社設立
一商號　合資會社高山相互更生會
一本店　大野郡高山町大字三町千四百五十七番地
一目的　金融業竝ニ之ニ附帶スル一切ノ業務
一設立年月日　昭和九年二月二十日
一社員ノ氏名住所出資及責任
金一千圓　無限　松本覺　大野郡高山町三町千四百五十七番地
金五百圓　有限　松本滿雄　同町空町三千百八十四番地
金五百圓　有限　松本忠平　同郡大名田町花里三百五十七番地
會社代表社員　松本覺
一存立時期　設立ノ日ヨリ滿二十箇年
昭和九年二月二十三日登記　高山區裁判所

◎富來金融株式會社變更
一取締役全員任期滿了ニ付河原嘉一郎ハ昭和九年二月十四日重任シ左記ノ者同日新ニ取締役ニ就任
橋爪善五郎　羽咋郡富來町字地頭町七ノ二番地一號甲
葛城　滿　同郡同町同字七ノ十一番地一號
中林林太郎　同郡同町同字六ノ百六十五番地
柏谷貞治　同郡同町同字八ノ百六十五番地
須磨謙太郎　同郡同町同字七ノ二十番地
一監査役全員任期滿了ニ付昭和九年二月十四日左記ノ者新ニ監査役ニ就任ス
寺井文四郎　羽咋郡富來町字領家町二ノ三十二番地
高澤佐門　同郡同町字地頭町七ノ五番地
右昭和九年二月二十三日登記　七尾區裁判所富來出張所

◎株式會社入善銀行變更
監査役前田久三郎ハ昭和九年二月十三日死亡ス
右昭和九年二月二十四日登記　魚津區裁判所入善出張所

◎中越機業株式會社變更
一監査役梅崎喜八金田清作ハ昭和九年二月十日各重任ス
一同日左ノ者新ニ取締役ニ就任ス
竹村太平　東礪波郡井波町井波三〇七二番地
右昭和九年二月二十四日登記　出町區裁判所井波出張所

◎廣島電氣株式會社社債償還（支店）
一第九回社債金一千万圓第十回社債金一千万圓ハ昭和九年二月二十日償還シタリ
右昭和九年二月二十三日登記　三次區裁判所

◎株式會社平野商店變更（支店）
一取締役太田庄一郎ハ昭和九年二月十七日其ノ住所ヲ下關市大字關後地村八百七十番地ト變更ス
右昭和九年二月二十四日登記　下關區裁判所

◎合名會社岡本織布工場（解散）
總社員ノ同意ニ依リ昭和九年二月二十日解散ス
右昭和九年二月二十四日登記　岡山區裁判所甲浦出張所

◎妻登記
一妻ノ氏名住所　船口定惠妻船口久子　東伯郡倉吉町大字西仲町二千六百三十九番地
一營業ノ種類　吳服竝洋反物販賣業
一營業所　東伯郡倉吉町大字西仲町二千六百三十九番地
右昭和九年二月二十四日登記　倉吉區裁判所

◎廣島電氣株式會社社債償還（支店）
第九回社債金一千万圓第十回社債金一千万圓ハ昭和九年二月二十日償還シタリ
右昭和九年二月二十三日登記　米子區裁判所

◎株式會社日本勸業銀行變更（支店）
一昭和九年二月二十日埼玉縣南埼玉郡久喜町大字久喜新三百七十七番地千葉縣安房郡館山北條町北條千八百二十番地三長野縣下高井郡中野町大字中野字西町下四百八十番地ノ各支店ヲ廢止ス
右昭和九年二月二十四日登記　松江區裁判所

◎株式會社大田檢番變更
一監査役和田源次郎ハ昭和九年二月十八日死亡セリ
右昭和九年二月二十三日登記　今市區裁判所大田出張所

◎城山土地株式會社變更
一昭和九年二月二十日臨時株主總會ニ於テ目的ヲ左ノ如ク變更ス
一土地建物竝ニ山林ノ賣買
二土地建物ニ對スル投資
三土地建物ノ賃貸借
四土地建物ニ對スル保證及擔保ヲ目的トスル土地建物ノ貸與
五土木建築ノ請負
六土地建物ニ關スル一切ノ事業
七有價證券ノ所有竝ニ賣買
八債權ノ整理竝ニ賣買
右昭和九年二月二十三日登記

◎豫洲自動車株式會社更正
一監査役三瀨德太郎ノ住所ヲ左ノ如ク更正ス
甲百十七番地ノ内第一

◎豫洲自動車株式會社變更
一監査役三瀨德太郎ハ昭和九年二月十五日辭任
右昭和九年二月二十四日登記　大洲區裁判所

◎株式會社德積銀行（支店）
一取締役渡邊雅太郎ハ昭和九年二月八日死亡ス
昭和九年二月十七日登記

◎株式會社大洲銀行（支店）
一監査役三瀨德太郎ハ昭和九年二月十五日辭任ス
昭和九年二月二十日登記　宇和島區裁判所野村出張所

◎株式會社設立
商號　株式會社岡政
本店　長崎市東濱町二十六番地
支店　同市同町二十一番地
目的
一百貨店營業
二右業務ニ附隨スル製造業物品又ハ室ノ賃貸業
三諸物品賣買竝ニ代理業及委託販賣業
四有價證券及ヒ土地建物ノ賣買

五前記各項ニ附隨スル業務及ヒ同一又ハ類似ノ營業事業ニ對スル投資
設立ノ年月日　昭和九年二月十一日
資本ノ總額　金五十万圓
一株ノ金額　金五十圓
各株ニ付拂込ミタル株金額　金二十圓
公告方法　本店店頭ニ掲示ス
取締役ノ氏名住所
取締役　岡部政太郎　長崎市高平町七十九番地
同　岡部　貫　同市爐粕町四十五番地
同　内川　清一　同市鳴瀧町百三十五番地
會社ヲ代表スヘキ取締役ノ氏名　岡部貫
監査役ノ氏名住所
監査役　岡部マス　長崎市高平町七十九番地
同　岡部ツネ　同市爐粕町四十五番地
同　川田松治　同市船大工町六十二番地

◎長崎無盡株式會社（支店設置）
昭和九年二月二十二日左記ノ通リ支店ヲ設置ス
支店　南高來郡島原町字堀町百四十九番地
同　北高來郡諫早町乙百五番地
右昭和九年二月二十三日登記　長崎區裁判所

◎千々石商事株式會社（變更）
一清算人城蒔義行ハ昭和九年二月十二日死亡ス
昭和九年二月二十二日登記　島原區裁判所小濱出張所

◎合資會社設立
商號　合資會社清本商店
本店　佐世保市鹽濱町五十六番地
目的　一砂糖麥粉麵類飲料水ノ販賣二製菓原料ノ販賣三前各項ニ附帶セル一切ノ業務
設立年月日　昭和九年二月十六日
代表社員　松林森太郎
社員ノ氏名住所出資及責任
金二千圓　無限　松林森太郎　佐世保市京坪町四十三番地
金千五百圓　同　田鍋勢至　同市鹽濱町五十六番地
金二千圓　有限　馬場俱志　同上同番地
金千五百圓　同　馬場萬吉　吳市本通リ十一丁目一番地
存立時期　設立ノ日ヨリ滿二十箇年
右昭和九年二月二十三日登記　佐世保區裁判所

◎株式會社日本勸業銀行變更（支店）
一昭和九年二月二十日埼玉縣南埼玉郡久喜町大字久喜新三百七十七番地千葉縣安房郡館山北條町北條千八百二十番地ノ三長野縣下高井郡中野町大字中野字西町下四百八十番地ノ各支店ヲ廢止ス
右昭和九年二月二十四日登記　佐賀區裁判所

◎株式會社佐賀中央銀行變更（支店）
一佐賀縣杵島郡江北村大字山口千六百五番地佐賀縣東松浦郡厳木村大字本山三百六十九番地佐賀縣唐津市大字滿島三千九百十三番地福岡縣糸島郡周船寺村大字周船寺三百九十番地ノ二ニ設立シタル支店ヲ昭和九年二月十五日廢止ス
右昭和九年二月二十日登記　武雄區裁判所江北出張所

◎支配人選任
一支配人ノ氏名住所　藤木秋三　佐賀市吳服町二十三番地
一主人ノ氏名住所　株式會社不動貯金銀行　東京市芝區宮本町三十四番地
一支配人ヲ置キタル場所　福岡縣山門郡柳河町京町三十六番地

◎株式會社不動貯金銀行支配人解任
一支配人上村正雄ハ昭和九年二月二十一日解任シタリ
昭和九年二月二十四日登記　柳河區裁判所

◎支配人解任（支店）
一主人株式會社不動貯金銀行ノ支配人上村正雄ヲ昭和九年二月二十日解任ス

◎支配人選任（支店）
一支配人ノ氏名住所　矢作秋郎　熊本市南千反畑百一番地
一主人ノ氏名住所　株式會社不動貯金銀行　東京市芝區宮本町三十四番地
一支配人ヲ置キタル場所　大牟田市有明町九番地
昭和九年二月二十四日登記　柳河區裁判所三池出張所

◎合名會社伊藤本店變更
一社員伊藤長市ハ昭和九年二月十五日死亡ニ因リ退社ス
一代表社員伊藤長市ハ昭和九年二月十五日死亡シタリ
昭和九年二月二十四日登記　八女區裁判所

◎小栗海運株式會社變更（支店）
一取締役小栗龍三ハ昭和九年二月十四日其住所ヲ東京市中野區氷川町二十九番地ニ移轉ス
昭和九年二月二十一日登記　小倉區裁判所門司出張所

◎株式會社太田商店變更
一取締役太田宏吉ハ昭和九年二月二十日會社ヲ代表スヘキ取締役ニ就任ス

◎合資會社坂本商店變更
一無限責任社員坂本芳枝ハ昭和九年二月十日其責任ヲ有限ト變更ス
代表社員坂本芳枝ハ同日代表社員ヲ辭任ス
昭和九年二月二十三日登記

◎株式會社太田商店變更
一取締役太田雄吉ハ昭和九年二月十二日死亡ス
同年同月十六日左ノ者取締役ニ就任ス
太田ツチヨ　若松市修多羅三百十一番地

◎合資會社設立
一商號　合資會社松澤百貨店
一本店　若松市中川通四丁目二十六番地
一目的　漆器陶器絹綿布類茶及乾物類ノ販賣竝ニ之ニ附帶スル事業
一設立年月日　昭和九年二月十九日
一代表社員ノ氏名　松澤連樹
一社員ノ氏名住所出資及責任
金三百圓　無限　松澤連樹　若松市中川通四丁目二十六番地
金一百圓　有限　松澤連俊　同所同番地
金一百圓　同　松澤マキ　同所同番地
一存立時期　定款作成ノ日ヨリ滿十箇年
昭和九年二月十九日登記　小倉區裁判所若松出張所

◎別府グラウンド株式會社本店移轉竝ニ變更（本店）
昭和九年一月三十一日本店ヲ左ノ地ニ移轉ス
別府市大字濱脇三千四百五十三番地
同日目的中第一項ヲ左ノ通リ變更ス
一各種運動競技竝ニ娛樂場ノ經營及賃貸

◎株式會社第二十九銀行變更（支店）
監査役恒原宇之助長山芳介ハ昭和九年二月九日重任ス
取締役會社代表取締役三谷良二ハ昭和九年二月九日重任ス
右昭和九年二月十三日登記

◎別府魚市株式會社變更（本店）
監査役宇田孝一安達熊六ハ昭和九年一月三十日重任ス
右昭和九年二月十三日登記

◎合資會社キング商會出資增加（本店）
昭和九年二月五日總社員ノ同意ニ因リ左ノ者新ニ出資シ入社ス
一金一千五百圓　無限　吉賀辰美　別府市大字別府三百八十一番地ノ六十二

◎合資會社キング商會變更（本店）
代表社員熊丸榮ハ昭和九年二月五日辭任シ同日左ノ者代表社員ニ就任ス
一代表社員ノ氏名　吉賀辰美
右昭和九年二月十四日登記

◎合資會社富屋本店移轉（本店）
昭和九年二月七日本店ヲ大分市大字大分千二百四十七番地ヨリ當管内ニ移轉シタルニ付左ノ登記ヲ爲ス
一商號　合資會社富屋
一本店　別府市大字別府二千二百五十八番地
一目的　一酒類及醬油ノ販賣二前項ニ附帶スル一切ノ業務
一設立年月日　昭和六年十一月十四日
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任
一金四千五百圓　無限　阿部高雄　大分市大字大分千二百四十七番地
一金二百五十圓　有限　阿部政子　同所同番地
金二百五十圓　有限　渡邊義夫　大分郡別保村大字皆春七百七十一番地ノ二
右昭和九年二月二十四日登記　大分區裁判所別府出張所

◎八木合資會社變更
一昭和九年二月二十三日岡崎寛藏ハ持分全部ヲ八木仁兵衞ニ讓渡退社シ左ノ者ハ其ノ出資額ヲ左ノ如ク變更ス
一金一万二千圓　有限　八木仁兵衞

◎合名會社設立
一商號　合名會社活洲
一本店　熊本市四軒町六番地
一目的　料理店業竝ニ之ニ附隨スル一切ノ業務
一設立年月日　昭和九年二月十一日
一代表社員ノ氏名　寺本勘四郎
一社員ノ氏名住所出資ノ種類及ヒ價格
一金四万五千圓　寺本勘四郎　熊本市四軒町六番地
一金三千圓　寺本ミサヲ　同所同番地
一金二千圓　坂本政一　同所同番地
一存立ノ時期　設立ノ日ヨリ滿二十箇年
昭和九年二月二十三日登記　熊本區裁判所

◎株式會社益城銀行變更
一取締役内野宗雄ハ昭和九年二月九日辭任ス
右昭和九年二月十九日登記　御船區裁判所

◎大淀驛構内自動車合資會社更正
一總社員ノ同意ニ因リ昭和九年二月十五日無限責任社員宮崎バス株式會社ハ其ノ責任ヲ有限ト更正ス
昭和九年二月二十二日登記

第2167号　本文

第2167号 本文

●日州無盡株式會社變更
一昭和四年三月二十五日各新株ニ付拂込ミタル株金額ヲ金二十五圓ト變更ス
●日州無盡株式會社變更
一昭和九年二月十三日各新株ニ付拂込ミタル株金額ヲ金三十七圓五十錢ト變更ス
昭和九年二月二十四日登記 宮崎區裁判所

●木花株式會社變更
取締役鎗山忠正川添甚作川添正作ハ任期滿了ノ處昭和九年二月十七日孰モ重任ス
昭和九年二月二十三日登記 宮崎區裁判所青島出張所

●合資會社設立
一商號 合資會社三輪藥店
一本店 兒湯郡妻町大字妻五百九十番地一
一目的 一、藥品賣藥醫療機械器具其他醫術ニ關スル一切ノ物品購入販賣 二、化粧品食料品其他雜貨ノ購入販賣 三、前二項ニ附帶スル一切ノ業務
一設立年月日 昭和九年二月十五日
一代表社員ノ氏名 三輪房吉
一社員ノ氏名住所出資及責任 金千百圓無限三輪房吉兒湯郡妻町大字妻二百四十七番地 金九百五十圓有限三輪サダエ同所同番地 金九百五十圓有限三輪八郎同所同番地 金五百圓有限兒玉文男同郡同町大字三宅二千六百五十五番地
一存立時期 設立ノ日ヨリ滿二十箇年
右昭和九年二月二十三日登記 宮崎區裁判所妻町出張所

●合資會社設立
一商號 合資會社井手商店
一本店 西諸縣郡小林町大字納野三百九十九番地
一目的 米穀荒物日用品雜貨類ノ賣買
一設立ノ年月日 昭和九年二月二十一日
一代表社員ノ氏名 井手權助
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及ヒ責任
勞務 無限責任 井手權助 西諸縣郡小林町大字細野三百九十九番地
一金八百圓 有限責任 井手フデ 西諸縣郡小林町大字細野三百九十九番地
一金五百圓 有限責任 井手鐵夫 西諸縣郡小林町大字細野三百九十九番地
一金三千圓 有限責任 井手正治 西諸縣郡小林町大字細野三百九十九番地
一金七百圓 有限責任 井手祐雄 西諸縣郡小林町大字細野三百九十九番地
一存立ノ時期又ハ解散ノ事由 設立ノ日ヨリ二十箇年存立時期滿了總社員同意
右昭和九年二月二十三日登記 都城區裁判所小林出張所

●株式會社第九十銀行變更(支店)
一昭和九年二月二十日左記ノ支店ヲ廢止シタリ
一支店
岩手縣盛岡市仁王第三地割字材木町一番地
同縣同市仁王第一地割字本町二百四十八番地
同縣同市東中野第三地割字鉈屋町九十一番地ノ一
同縣九戸郡葛巻村第十二地割二十四番地ノ一
同縣下閉伊郡小川村大字門第六地割字町九十八番地
同縣二戸郡一戸町大字一戸字向町十三番地
青森縣弘前市大字土手町五十九番地
同縣北津輕郡五所川原町字鶴野十三番ノ三號
同縣同郡板柳町大字板柳字土井三百十五番地ノ二號
昭和九年二月二十三日登記 二戸區裁判所輕米出張所

●株式會社第九十銀行變更(支店)
一昭和九年二月二十日左記支店ヲ廢止ス
支店
岩手縣盛岡市仁王第三地割字材木町一番地
同上第一地割字本町二百四十八番地
同上東中野第三地割字鉈屋町九十一番地ノ一
同縣九戸郡葛巻村第十二地割二十四番地ノ一
同縣下閉伊郡小川村大字門第六地割字町九十八番地
同縣二戸郡一戸町大字一戸字向町十三番地
青森縣弘前市大字土手町五十九番地
同縣北津輕郡五所川原町字鶴野十三番ノ三號
同縣同郡板柳町大字板柳字土井三百十五番ノ二號
昭和九年二月二十四日登記 宮古區裁判所

●株式會社第九十銀行支店廢止(支店)
一昭和九年二月二十日左記支店ヲ廢止ス
岩手縣盛岡市仁王第三地割字材木町一番地
同縣同市仁王第一地割字本町二百四十八番地
同縣同市東中野第三地割字鉈屋町九十一番地ノ一
同縣九戸郡葛巻村第十二地割二十四番地ノ一
同縣下閉伊郡小川村大字門第六地割字町九十八番地
同縣二戸郡一戸町大字一戸字向町十三番地
青森縣弘前市大字土手町五十九番地
同縣北津輕郡五所川原町字鶴野十三番ノ三號
同縣同郡板柳町大字板柳字土井三百十五番ノ二號
昭和九年二月二十三日登記 宮古區裁判所岩泉出張所

●龜井合資會社解散
昭和九年二月十五日總社員ノ同意ニ依リ解散シタリ
右昭和九年二月二十二日登記 水澤區裁判所

●合資會社設立
一商號 合資會社小松商店
一本店 秋田市上通町二十五番地
一目的 鳥肉卵ノ賣買
一設立年月日 昭和九年二月十五日
一社員ノ氏名住所出資及責任
金一千五百圓 無限 小松千代治 秋田市上通町二十七番地
金一千五百圓 有限 小松堅藏 同住所
金五百圓 同 小松コト 同住所
一代表社員ノ氏名 小松千代治
一存立時期 設立ノ日ヨリ滿二十箇年
右昭和九年二月二十二日登記

●株式會社日本勸業銀行支店廢止(支店)
一昭和九年二月二十日埼玉縣南埼玉郡久喜町大字久喜新三百七十七番地千葉縣安房郡舘山北條町北條千八百二十番地ノ三長野縣下高井郡中野町大字中野字西町下四百八十番地ノ各支店ヲ廢止ス
右昭和九年二月二十三日登記 秋田區裁判所

●由利殖産無盡株式會社變更(支店)
一監査役加藤政之助ハ昭和九年二月十五日辭任ス
右昭和九年二月二十四日登記 能代區裁判所

●飯詰合同運送株式會社(變更)
昭和九年二月二十二日左記ノ者會社ヲ代表スヘキ取締役トナル
會社ヲ代表スヘキ取締役 大坂文治
右昭和九年二月二十四日登記 大曲區裁判所六郷出張所

●株式會社日本勸業銀行支店廢止(支店)
一昭和九年二月二十日左記ノ地ニ在ル支店ヲ廢止ス
埼玉縣南埼玉郡久喜町大字久喜新三百七十七番地
千葉縣安房郡舘山北條町北條千八百二十番地ノ三
長野縣下高井郡中野町大字中野字西町下四百八十番地

●合資會社笑福娘商店變更
一昭和九年二月九日商號左ノ通リ變更ス
商號 合資會社三福商店
●合資會社三福商店移轉
一昭和九年二月九日本店ヲ左ノ地ニ移轉ス
本店 青森市大字濱町三十六番地
昭和九年二月二十三日登記 青森區裁判所

●大湊電燈株式會社變更
一取締役二本柳常五郎ハ昭和九年二月十六日死亡ス
昭和九年二月二十四日登記 青森區裁判所田名部出張所

●株式會社第九十銀行支店廢止(支店)
一昭和九年二月二十日左記支店ヲ廢止ス
支店
岩手縣盛岡市仁王第三地割字材木町一番地
同縣同市仁王第一地割字本町二百四十八番地
同縣同市東中野第三地割字鉈屋町九十一番地ノ一
同縣九戸郡葛巻村第十二地割二十四番地ノ一
同縣下閉伊郡小川村大字門第六地割字町九十八番地
同縣二戸郡一戸町大字一戸字向町十三番地
青森縣弘前市大字土手町五十九番地
同縣北津輕郡五所川原町字鶴野十三番ノ三號
同縣同郡板柳町大字板柳字土井三百十五番ノ二號
右昭和九年二月二十四日登記 八戸區裁判所

●株式會社北海道拓殖銀行社債ノ登記(支店)
一第百八十四回社債ノ總額 金三百三十万圓
一各社債ノ金額 金一万圓
一社債ノ利率 年三分五厘
一償還ノ方法及期限 昭和九年七月第一回ノ償還抽籤ヲ執行シ以後毎年二回(一月七月)抽籤ヲ爲シ毎回元金三十万圓以上ヲ其翌月ニ償還シ昭和十四年二月十五日殘額全部ヲ償還ス但シ本資金ニ依ル貸付金返濟高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其超過額モ同時ニ償還シ又本債券ノ据置期間中ニ於テ本資金ニ依ル貸付金ノ全部又ハ一部ノ返濟アリタルトキハ最近ノ元利支拂期ニ於テ該返濟額相當額ノ償還ヲナスモノトス
一各社債ニ付拂込ミタル金額 全額
昭和九年二月二十四日登記 室蘭區裁判所苫小牧出張所

●株式會社北海道拓殖銀行社債(支店)
一第百八十四回社債總額 金三百三十万圓
一各社債金額 一万圓
一社債利率 年三分五厘
一償還ノ方法及期限 昭和九年七月第一回ノ償還抽籤ヲ執行シ以後毎年二回(一月七月)抽籤ヲ爲シ毎回元金三十万圓以上ヲ其翌月ニ償還シ昭和十四年二月十五日殘額全部ヲ償還ス但シ本資金ニ依ル貸付金返濟高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其ノ超過額モ同時ニ償還シ又本債券ノ据置期間中ニ於テ本資金ニ依ル貸付金ノ全部又ハ一部ノ返濟アリタル時ハ最近ノ元利支拂期ニ於テ該返濟額相當額ノ償還ヲナスモノトス
一各社債拂込金額 全額
昭和九年二月二十四日登記 旭川區裁判所富良野出張所

●株式會社北海道拓殖銀行社債(支店)
第百八十四回社債ノ總額 金三百三十万圓也
各社債ノ金額 一万圓
社債ノ利率 年三分五厘
償還ノ方法及期限 昭和九年七月第一回ノ償還抽籤ヲ執行シ以後毎年二回(一月七月)抽籤ヲ爲シ毎回元金三十万圓以上ヲ其ノ翌月ニ償還シ昭和十四年二月十五日殘額全部ヲ償還ス但シ本資金ニ依ル貸付金返濟高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其ノ超過額モ同時ニ償還シ又本債券ノ据置期間中ニ於テ本資金ニ依ル貸付金ノ全部又ハ一部ノ返濟アリタルトキハ最近ノ元利支拂期ニ於テ該返濟額相當額ノ償還ヲナスモノトス
各社債ニ付拂込ミタル金額 全額
昭和九年二月二十四日登記 旭川區裁判所深川出張所

●株式會社北海道銀行支店設置(支店)
昭和九年二月十四日支店ヲ左ノ地ニ設置セリ
紋別郡湧別村字湧別原野三百五十七番地ノ六
靜內郡靜內町大字靜內村八十番地ノ一
茅部郡森町大字森村字柳原六十六番地 六十八番地
右昭和九年二月二十二日登記 稚內區裁判所香深出張所

●合資會社設立
一商號 合資會社丸三旅館
一本店 中川郡本別町大字本別村字本別市街北見通六十五番地
一目的 旅人宿業
一設立年月日 昭和九年二月二十三日
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任
一金五百圓也 無限責任社員 滿仁崎賢次 中川郡本別町大字本別村字本別市街北見通六十五番地
一金五百圓也 有限責任社員 滿仁崎榮枝 同上番地
一存立ノ時期 設立ノ日ヨリ滿二十箇年
右昭和九年二月二十三日登記 帶廣區裁判所本別出張所

●合資會社岡田商店解散
昭和九年二月二十日總社員ノ同意ニヨリ解散
右昭和九年二月二十三日登記 網走區裁判所斜里出張所

●合資會社設立
一商號 合資會社遠輕劇場
一本店 紋別郡遠輕村字遠輕市街地
一目的 劇場ノ經營スルヲ以テ目的トス
一設立年月日 昭和九年二月二十日
一代表社員ノ氏名 清水よし
一社員ノ住所氏名出資ノ種類價格並ニ責任 紋別郡遠輕村字遠輕市街地
金五千圓 無限責任 清水よし
金一千圓 無限責任 遠間伊七 同所
金一千圓 有限責任 上原啓平 同所
一存立時期 設立ノ日ヨリ滿十五箇年
右昭和九年二月二十三日登記 野付牛區裁判所上湧別出張所

●株式會社北海道拓殖銀行變更(支店)
監査役門野重九郎同三浦英太郎同西森猷太郎ハ任期滿了ノ處昭和九年二月十三日各重任ス
右昭和九年二月二十一日登記 豐原區裁判所元泊出張所

●大泊漁業株式會社變更
昭和九年一月三十日會社ヲ代表スヘキ取締役宮澤友治郎柴山福次郎取締役佐藤長治八柳三代鐵見角久平監査役森下九兵永森誠次龜田金次ハ各重任ス
右昭和九年二月十六日登記

●株式會社北海道拓殖銀行變更(支店)
昭和九年二月十三日監査役門野重九郎三浦英太郎西森猷太郎ハ各重任ス
右昭和九年二月二十日登記

●長濱回漕株式會社變更
會社ヲ代表スヘキ取締役高島彌太郎取締役村松輝太郎濱野美濃里山中八五郎持丸嘉久造長谷川喜藤次ハ昭和九年一月三十日各重任ス
右昭和九年二月二十二日登記 豐原區裁判所大泊出張所

●株式會社本斗市場變更
一監査役古川重素ハ昭和九年一月二十五日辭任ス
一取締役全員任期滿了ノ處昭和九年一月二十五日藤森正隆松本文五郎宇野金三郎重任シ同日左者就任ス 取締役古川重素本斗郡本斗町大字本斗字濱通六丁目十八番地 同奧野長四郎同上字中通四丁目六番地
一同日株主總會ニ於テ商號ヲ左ノ通變更ス 商號株式會社本斗食品市場

●株式會社北海道拓殖銀行變更(支店)
監査役門野重九郎同三浦英太郎同西森猷太郎ハ任期滿了ノ處昭和九年二月十三日株主總會ニ於テ再選重任シタリ 監査役門野重九郎東京市赤坂區新坂町五十一番地 同三浦英太郎和歌山市小松原通五丁目一番地 同西森猷太郎札幌市南三條西十丁目一千三番地ノ三
右各昭和九年二月十九日登記 眞岡區裁判所本斗出張所

●株式會社北海道拓殖銀行變更(支店)
監査役門野重九郎三浦英太郎西森猷太郎ハ任期滿了ノ處昭和九年二月十三日各重任ス

●泊居無盡株式會社變更
一取締役坂垣外次郎ハ任期滿了ニ因リ昭和九年一月二十七日退任シ取締役魚谷桑次郎同藤巻茂四郎同中西岩吉同寺崎治作ハ同日重任シ左記ノ者同日新ニ取締役ニ就任ス
福田義信 泊居郡泊居町大字泊居字松ヶ枝町二丁目二番地
一監査役福田義信ハ任期滿了ニ因リ昭和九年一月二十七日退任シ同小林房次郎ハ同日重任シ左記ノ者同日新ニ監査役ニ就任ス
細谷孫藏 泊居郡泊居町大字泊居字松ヶ枝町二丁目二番地
會社ヲ代表スヘキ取締役魚谷桑次郎ハ昭和九年一月二十七日重任ス
昭和九年二月二十日登記 眞岡區裁判所泊居出張所

●合資會社丸合運輸組變更
昭和九年二月十六日有限林岡見徐在吉岩野忠良黄信義佐藤龍雄荒木昌治郎村田米藏無限鄭金獅陳阿東ハ出資全部ヲ劉氏滿秀陳賛路劉鑾坤劉祖震ニ讓渡シ退社讓受ケタル無限劉祖震ハ自己ノ出資ヲ金八千圓ト變更同日左者頭書ノ出資ヲ讓受ケ新タニ入社ス
一金一千四百圓有限劉氏滿秀花蓮港街花蓮港春日通四七番戸
一金二千四百圓有限陳賛路花蓮港廳太庄區大庄頭人埔一二二番戸
一金二千二百圓有限劉鑾坤臺北州文山郡新店庄大坪林字十二張八二番地
右昭和九年二月十九日登記 臺北地方法院花蓮港出張所

◉法人登記

●社團法人秋山獎學會變更
一昭和九年二月十八日資產總額ヲ左記ノ通リ變更ス
金七千百三十圓
昭和九年二月二十四日登記 足利區裁判所葛生出張所

●社團法人群馬縣町村吏員互助會變更
理事九鬼三郎ハ昭和九年二月十九日退任シ左記ノ者同日理事ニ就任ス
三橋樹三 前橋市神明町六十三番地
昭和九年二月二十四日登記 前橋區裁判所

●豐田村內申報德社變更
昭和九年二月十四日資產ノ總額ヲ左ノ通リ變更ス
一資產ノ總額 金一万九千七百三十二圓九十八錢
右昭和九年二月十六日登記

●高柳報德社變更
昭和九年二月十一日資產ノ總額ヲ左ノ通リ變更ス
一資產ノ總額 金八千二百十五圓六十錢
右昭和九年二月十七日登記 靜岡區裁判所藤枝出張所

●上乘木坂下報德社變更
昭和九年二月十八日資產ノ總額ヲ左ノ通リ變更ス
金一万七千四十一圓五十二錢及米十八石二斗六升

●蠣鎌報德社變更
昭和九年二月二十一日資產ノ總額ヲ左ノ通リ變更ス
一金八千五百圓四十二錢
右昭和九年二月二十三日登記 掛川區裁判所

●大門報德社變更
一昭和九年二月二十日資產總額ヲ金三千四百十圓七十四錢ト變更ス
●淺羽報德社變更
一昭和九年二月十八日資產總額ヲ金四千七百六十八圓四十三錢ト變更ス
●馬場貫名地報德社變更
一昭和九年二月十八日資產總額ヲ金五千六百八十八圓八十七錢ト變更ス
右昭和九年二月二十一日登記

●久津部報德社變更
昭和九年二月十九日資產ノ總額ヲ左ノ通リ變更ス
金二万三千圓十六錢
昭和九年二月二十二日登記

●上淺羽篠ケ谷報德社變更
昭和九年二月十八日資產總額ヲ金一千九百三十四圓四錢ト變更ス
右昭和九年二月二十三日登記　掛川區裁判所袋井出張所

●小貫報德社(變更)
昭和九年二月二十日資產總額ヲ金四千三百九十九圓八十三錢ト變更セリ
右昭和九年二月二十三日登記　掛川區裁判所平田出張所

●大日下組報德社變更　一昭和九年二月二十日資產總額ヲ金六千六百五十圓八十三錢ト變更ス

●一色報德社變更　一理事任期滿了ニ付昭和九年二月十九日改選セシ處左記ノ者當選就任ス
山內一農　周智郡宇刈村宇刈五十九番地
鈴木與三郎　周智郡宇刈村宇刈二十番地
一昭和九年二月十九日資產總額ヲ金六千九百七十九圓八十五錢ト變更ス
右昭和九年二月二十二日登記　掛川區裁判所森町出張所

●番生寺報德社變更
一理事任期滿了ニ付昭和九年二月二十一日改選ノ結果鶴山喜一郎杉村仙次郎ハ各重任ス
一前同日資產ノ總額ヲ左ノ通リ變更ス
金一万六千三百八十三圓六十三錢
玄米二石五升八合
右昭和九年二月二十四日登記　掛川區裁判所金谷出張所

●大寄報德社變更　昭和九年二月二十日資產ノ總額ヲ左ノ通リ變更ス
一金二万三千三百二十八圓八錢
理事滿期ニ付昭和九年二月二十日改選左者當選重任ス
橫山格太郎　增田唯助
右昭和九年二月二十一日登記　掛川區裁判所相良出張所

●野尻向報德靑年會變更
一理事槇澤金次郎古瀨福太郎森下義之輔大畑武一前野久藏前野德重ハ昭和九年二月十二日重任セリ
昭和九年二月二十三日登記　木曾區裁判所讀書出張所

●新潟縣小學校教員互助會變更
一理事安田穰ハ昭和九年二月二十日資格喪失ニ因リ退任ス
昭和九年二月二十三日登記　新潟區裁判所

●小倉靑年會財團(財團法人)變更
改選ニヨリ理事全員ハ昭和九年二月十五日退任ス
同日左者新ニ理事ニ就任ス
中村準次郎　佐渡郡畑野村大字小倉乙千五番地
杉本晋次郎　同村乙九百三十四番地
昭和九年二月二十二日登記　相川區裁判所眞野出張所

●財團法人神戶忠魂會變更
一理事紀谷彌吉ハ昭和九年二月十七日死亡ス

●財團法人神戶孤兒院變更
一理事矢野はつハ昭和九年二月一日死亡ス
一左ノ者昭和九年二月十五日理事ニ就任ス
水谷愛子　神戶市神戶區中山手通七丁目九十二番地ノ一
昭和九年二月二十二日登記　神戶區裁判所

●財團法人私立睦實踐女學校變更
一理事植田直一ハ昭和九年二月十三日辭任シ左ノ者同日新ニ就任ス
橫田政次郎　武庫郡住吉村字垣添百二十二番地
右昭和九年二月二十日登記　神戶區裁判所御影出張所

●社團法人和歌山縣教育會變更
一昭和九年二月六日理事高橋一郎川島庄一郎立川伊三郎高垣光楠堀內喜一郎岩本茂一谷口又雄水田敏太郎川村德治須藤丑彥東平四郎葛西嘉資寺島圭三玉置光一重任ス
右昭和九年二月九日登記　和歌山區裁判所

●滋賀縣山林會變更
一理事三樹樹三ハ昭和九年二月十九日退任ス
昭和九年二月二十三日登記　大津區裁判所

●財團法人名古屋養老院變更
理事尾關忠治郎ハ昭和九年二月十五日其住所ヲ名古屋市東區櫻井町一丁目十三番地ニ移ス
右昭和九年二月二十二日登記

●財團法人名古屋養育院變更
理事有坂滋忍磯部松太郎江間ちやう庄林一正梶田鉦太郎ハ昭和九年二月二十三日重任ス
理事ニ同日左ノ者就任ス
山田懿等　名古屋市南區熱田西町字幣懸二十六番地
高田義政　知多郡常滑町字市場百十一番地ノ一
右昭和九年二月二十三日登記　名古屋區裁判所

●財團法人三重縣社會事業協會變更
一理事淵上房太郎ハ昭和九年二月二十日辭任シ同日左記ノ者新ニ理事ニ就任ス
理事　甲斐莊正顯　津市大字塔世千九十番地ノ一
昭和九年二月二十二日登記　安濃津區裁判所

●眞宗高田派教育財團變更
一昭和九年二月十七日資產總額ヲ金三万二千二百十一圓二十錢ト變更ス
昭和九年二月二十一日登記　安濃津區裁判所一身田出張所

●福井縣結核豫防會變更
一理事中野與吉郎ハ昭和九年二月二十日解任ス
右昭和九年二月二十三日登記　福井區裁判所

●湯山報德社變更
一昭和九年二月二十日資產ノ總額ヲ增加シテ左ノ通リ變更ス
資產ノ總額　金二千八百九圓三十三錢
右昭和九年二月二十三日登記　鳥取區裁判所

●財團法人島根縣體育協會變更
一理事松原久人ハ昭和九年二月十六日辭任シ昭和九年二月十七日左記ノ者理事ニ就任ス
松江市南田町百五十六番地一百五十六番地二　熊野周二
右昭和九年二月二十三日登記　松江區裁判所

●財團法人鹿兒島縣消防義會變更
一理事廣瀨福政ハ昭和九年二月十日辭任シ左記ノ者同日新ニ理事ニ就任ス
江口義照　鹿兒島市山下町六十八番地
昭和九年二月十六日登記　鹿兒島區裁判所

●恩賜財團臺灣奬學會(變更)　理事名和仁一昭和九年二月十日死亡
右昭和九年二月十七日登記　臺北地方法院

●社團法人臺灣社會事業協會(變更)　理事名和仁一ハ昭和九年二月十日死亡セリ
右昭和九年二月二十日登記　臺北地方法院新竹支部

●社團法人臺灣社會事業協會變更(從タル事務所)　理事名和仁一ハ昭和九年二月十日死亡
右昭和九年二月十九日登記　臺北地方法院花蓮港出張所

●社團法人臺灣社會事業協會(變更)　理事名和仁一ハ昭和九年二月十日死亡ス
右昭和九年二月十九日登記　臺南地方法院

◉產業組合登記

●香川縣自動車運輸商業組合設立
一名稱　香川縣自動車運輸商業組合
一事務所　高松市西ノ丸町二番地
一目的　當組合ハ組合員使用商品ノ共同仕入及共同施設又ハ營業方法及賃金ノ統制ヲ行ヒ營業上ノ弊害ヲ豫防又ハ矯正シ營業上ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス
一地區　香川縣一圓
一設立認可ノ年月日　昭和八年十月五日
一出資ノ總口數　六百口
一拂込タル出資ノ總額　金七千五百圓
一出資一口ノ金額　金五十圓
一出資拂込ノ方法　出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金十二圓五十錢トス第二回以後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金中ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外次年度ヨリ每年五月末日迄ニ出資一口ニツキ金十圓宛ヲ拂込モノトス
一理事ノ氏名住所
近藤甚三郎　大川郡三本松町一千二百五十二番地
西角太郎　大川郡長尾町大字西一千四十九番地
藤目七郎　大川郡松尾村大字田面九十八番地
本文次　小豆郡坂手村甲六百三十三番地
日下音吉　高松市中新町一百二十七番地
古林善雄　高松市築林町一千五百三十九番地
鹿瀨淳造　高松市鹽屋町五十五番地
蓮井幹二　高松市西新通町六十九番地
平井茂治郎　高松市二番丁四十番地ノ二
新谷麟六　綾歌郡坂出町三千八百十二番地
黑井秀雄　仲多度郡榎井村八百五十六番地
大西清一　仲多度郡琴平町六百九番地
河田富太郎　三豐郡觀音寺町甲一千二百三十六番地
一監事ノ氏名住所
白井中木山　郡平井町大字牟木三百三十八番地
中村和七　香川郡川東村大字川東上一千七百七十四番地
川崎武千代　大川郡志度町大字志度六百十六番地
奈良榮一　高松市瀨ノ丁十番地
山野鐵　仲多度郡南村六十五番地
白井豐重　仲多度郡善通寺町大字善通寺四百六十二番地
西谷蕃　仲多度郡多度町字多度津四千六百七十一番地
三木猛一　三豐郡觀音寺町大字觀音寺甲三千八百五十八番地
一存立ノ時期又ハ解散ノ事由　總會ノ決議ニヨリ解散ス
右昭和九年二月二十四日登記　高松區裁判所

●岡山製氷御賣商業組合(變更)
昭和九年二月七日理事山田義太郎辭任ス
昭和八年十二月二十日總會ニ於テ左ノ者理事ニ當選同九年二月二日就任ス
柳井謙太郎　岡山市野田屋町百十五番地
岡田丈吉　岡山市內山下四十八番地
右昭和九年二月十三日登記　岡山區裁判所

◉牧野組合登記

●小奴可牧野組合變更
一理事柳生一身ハ昭和九年二月十五日同佐伯郡之介ハ同年同月十九日辭任ス
昭和九年二月二十四日登記　庄原區裁判所東城出張所

◉工業組合登記

●秩父織物工業組合變更
一昭和九年二月十六日組合員丸山牛太郎ハ組合ノ承諾ヲ得テ持分全部ヲ讓渡シテ脫退シ之レヲ讓受タル者ハ同日左ノ如ク加入ス
保證金額七百五十圓　橋本久太郎　秩父郡秩父町大字大宮二千四百四十四番地
一同日左ノ者ハ組合ノ承諾ヲ得テ新ニ加入ス
保證金額百五十圓　逸見貞一郎　秩父郡橫瀨村二千五十三番地ノ一
一昭和九年二月二十日組合員久喜武藏ハ組合ノ承諾ヲ得テ出資四口ヲ增加シタルニ付保證金額ヲ金七千五百圓ト變更ス
昭和九年二月二十三日登記　秩父區裁判所

●靜岡縣輸出麻眞田工業組合變更
左者昭和九年二月二十日理事ニ就任ス
中野豐太郎　濱名郡新居町新居千二百四十五番地
右昭和九年二月二十四日登記　濱松區裁判所

●工業組合設立
一名稱　立岩製紙工業組合
一事務所　長野縣小縣郡長窪古町千八十四番地一號
一目的　本組合ハ製紙工業ノ改良發達ヲ圖ル爲共同施設ヲ爲スヲ以テ目的トス
一地區　長野縣小縣郡長窪古町及同縣同郡武石村
一設立認可ノ年月日　昭和八年七月二十八日
一出資ノ總口數　百口
一拂込タル出資ノ總額　金千圓
一出資一口ノ金額　金四十圓
一出資拂込ノ方法　出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金十圓トシ第二回以後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金中ヨリ拂込ミニ充ツルモノノ外出資一口ニ付金五圓ヲ每年十二月末日迄ニ拂込ムモノトス
一理事ノ氏名住所
藤田多四郎　長野縣小縣郡長窪古町二百七十七番地
勝見喜太郎　同縣同郡同町千二百六十八番地
龍野英次　同縣同郡同町二千九百十一番地
勝見行雄　同縣同郡同町千二百二番地
笹澤勇　同縣同郡同町三百十一番地
一監事ノ氏名住所
尾美茂保　長野縣小縣郡長窪古町乙百五十四番地
勝見辰雄　同縣同郡同町二百七十番地
一存立ノ時期　定メナシ
昭和九年二月二十三日登記　上田區裁判所長久保出張所

●大阪莫大小編立工業組合變更
一監事島橋伊三郎村岸藤代吉ハ昭和九年一月二十七日重任ス
右昭和九年二月二十一日登記　大阪區裁判所

●工業組合設立
一名稱　三州織物工業組合
一事務所　岡崎市康生町九十八番地ノ二
一目的　織物工業ノ改良發達ヲ圖ル爲共同施設ヲ爲スヲ以テ目的トス
一地區　岡崎市額田郡西加茂郡東加茂郡碧海郡一圓
一設立認可年月日　昭和八年十二月二十六日
一出資ノ總口數　三百六十六口
一拂込ミタル出資ノ總額　金四千五百七十五圓
一出資一口ノ金額　金五十圓
一出資拂込ノ方法　出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金十二圓五十錢トシ第二回以後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金中ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外必要ニ應シ理事會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム
一理事ノ氏名住所
杉浦市太郎　碧海郡大濱町字羽根九番地ノ二
鍋島兵左衞門　碧海郡大濱町四百八番戶
倉田仙太郎　碧海郡大濱町字多賀谷二十八番地
和田賢次　碧海郡明治村大字米津字渡場六十四番地
杉田泰次郎　岡崎市欠町字札木十四番地
小野內榮太郎　岡崎市元能見町九番地
渡邊惣一　岡崎市元能見町百六十八番地
黑柳久太郎　岡崎市松本町七番地
牧野丑太郎　額田郡幸田村大字蘆谷字幸田九十五番地
鶴田督亮　額田郡龍谷村大字龍泉寺三十六番戶
一監事ノ氏名住所
岩間嘉市郎　碧海郡大濱町字尾崎二十二番地
神谷永二郎　碧海郡安城町大字福釜字藏前九十一番地
大須賀茂十郎　額田郡藤川村大字市場字東町二十四番地
昭和九年二月二十一日登記　岡崎區裁判所

●妻木陶磁器工業組合移轉
昭和九年二月二十日主タル事務所ヲ左ノ地ニ移轉セリ
土岐郡妻木町千三百九十二、千三百九十四ノ二番地
昭和九年二月二十日登記　御嵩區裁判所多治見出張所

◉產業組合登記

●有限責任八王子市信用購買組合(變更)
一監事三上安太郎ハ昭和九年一月三十日退任ス
一理事北野吉兵衞小島彌太郎荻島直吉長谷部好三ハ同日重任ス
一監事橋本完治小林忠平ハ同日重任ス
一左ノ者ハ同日理事ニ就任ス
三上安太郎　八王子市東町十九番地
一左ノ者ハ同日監事ニ就任ス
柿島篤平　八王子市中町十三番地
栗原竹次郎　同市小門町八十八番地
鈴木榮七　同市三崎町十九番地

●有限責任利用組合多摩相互病院(變更)
一左ノ者ハ昭和九年二月六日理事ニ就任ス
關田政五郎　八王子市新町百一番地
高杉林太郎　同市萬町二十二番地
赤坂長作　同市橫山町六十五番地
太田平輔　同市八日町四十六番地
三ツ木與重　同市天神町七番地
小野藤吉　同市新町四十四番地
松村五郎吉　南多摩郡橫山村散田五百五十六番地
一左ノ者ハ同日監事ニ就任ス
風間福藏　同郡小宮村大和田九百三十七番地
牛久保利一郎　同郡堺村相原七百四十六番地
右昭和九年二月二十二日登記

●有限責任高月信用購買組合(變更)
一昭和九年二月十九日存立ノ時期ヲ削除ス
右昭和九年二月二十三日登記　八王子區裁判所

●有限責任調布信用購買組合(變更)
一監事中村準一郎濱野菊三郎伊藤馬吉小山幸助石川長次郎ハ任期滿了ノ處昭和九年一月二十六日重任ス
右昭和九年二月十六日登記　八王子區裁判所靑梅出張所

●有限責任橫濱米商信用購買販賣組合變更
一昭和八年十二月二十七日組織及名稱ヲ左ノ如ク變更ス
組織　保證責任
名稱　保證責任橫濱米商信用購買販賣組合

●保證責任橫濱米商信用購買販賣組合
一昭和九年一月二十五日監事齋藤正司同橫山定右衞門ハ重任シ同日左記ノ者理事ニ就任ス
理事ノ氏名住所　平本卯之吉　橫濱市神奈川區子安町三三九〇番地
右昭和九年二月十六日登記　橫濱區裁判所

●有限責任金澤町信用組合變更
一昭和九年一月二十八日監事全員再選重任シ左記ノ者同日新ニ理事ニ就任ス
理事ノ氏名住所　吉川淸吉　久良岐郡金澤町宮岡一八四一番地
右昭和九年二月十四日登記　橫濱區裁判所笹下出張所

●無限責任中田信用販賣購買利用組合變更
一監事長谷川照吉ハ昭和九年一月二十五日辭任シ左記ノ者同日理事監事ニ就任ス
一理事ノ氏名住所　長谷川照吉　鎌倉郡中和田村中田二三二九番地
一監事ノ氏名住所　長谷川元房　同所二三八六番地

●保證責任後山田販賣購買組合變更
一監事大山久八ハ昭和九年一月二十八日退任シ監事石井康太郎ハ同日重任シ左記ノ者新ニ同日就任ス
一監事ノ氏名住所　齋藤德太郎　鎌倉郡川上村後山田六〇〇番地
右昭和九年二月十四日登記　橫濱區裁判所戶塚出張所

●有限責任橫須賀信用組合變更
理事藤井勝一永原軍次郎監事內田正廣橫森信次ハ昭和九年一月二十九日退任シ同日左記ノ者理事及監事ニ重任並ニ就任ス
理事ノ氏名住所
古川祐達郎　橫須賀市若松町四五番地
藤田淸次郎　同市山王町四〇番地
石渡好次　同市旭町三五番地
北村喜助　同市中里町七番地
石渡坦豐　同市公鄉町七〇五番地
村松規具　同市大瀧町三八番地
島森庄左衞門　同市公鄉町二一七〇番地
長江龜次郎　同市中里町九四番地
吉井市藏　同市山王町三二番地
監事ノ氏名住所
柴崎彥造　橫須賀市大瀧町一番地
石渡榮治　同市公鄉町二一四三番地
中幸次郎　同市元町一〇番地
右昭和九年二月十五日登記　橫須賀區裁判所

●保證責任愛川商工信用組合變更
監事全員昭和九年一月二十九日重任ス
右昭和九年二月十四日登記　小田原區裁判所上荻野出張所

第2167号 本文

●保證責任埼玉縣信用販賣購買組合聯合會變更
一昭和九年二月十一日行政區劃變更ニ因リ事務所ハ左ノ通リ變更ス
事務所　浦和市百十番地
昭和九年二月二十三日登記　浦和區裁判所

●有限責任桶川信用組合變更
一補缺ニ依リ昭和九年二月十三日左記ノ者理事ニ就任ス
秋山治平　北足立郡桶川町大字下日出谷五百二十三番地
昭和九年二月二十四日登記　浦和區裁判所上尾出張所

●保證責任平野信用販賣購買利用組合變更
一理事補缺ニ因リ昭和九年二月十一日左ノ者理事ニ就任ス
栗原餘延吉　南埼玉郡平野村大字井沼三百七十三番地ノ一
昭和九年二月二十三日登記　浦和區裁判所菖蒲出張所

●有限責任櫻田村信用販賣購買組合清算
昭和九年二月十六日清算結了ス

●有限責任櫻田信用組合清算
昭和九年一月二十九日清算結了ス
昭和九年二月二十三日登記　浦和區裁判所幸手出張所

●有限責任高柳信用販賣購買組合變更
一監事渡邊吉十郎ハ昭和九年二月九日死亡ス
昭和九年二月二十三日登記　浦和區裁判所加須出張所

●保證責任星宮信用販賣購買利用組合變更
一理事新井平八上原六右衞門木元鶴吉寺田長左衞門木元馬七ハ昭和九年一月三十日重任シ左記ノ者同日理事ニ就任ス
久保田長吉　北埼玉郡星宮村大字下池守二十一番地
荒井武左衞門　同郡同村大字小敷田四十六番地
一監事八木原善之助棚澤邦造內田傳次ハ同日重任ス
昭和九年二月二十三日登記　熊谷區裁判所忍出張所

●保證責任妻沼信用組合變更
一昭和九年一月二十八日改選ニ因リ須田實郎田島峰吉逸見精二青木藤兵衞長谷川治良ハ理事ニ重任ス
一同日監事改選ニ因リ大谷俊助長谷川恭一郎關口仲次郎ハ重任シ左ノ者監事ニ就任ス
須田文吉　大里郡妻沼町大字妻沼千四百七十七番地ノ一
昭和九年二月二十三日登記　熊谷區裁判所妻沼出張所

●保證責任本郷信用販賣購買利用組合變更
一理事清水宇十郎ハ昭和九年一月十日辭任ス
一理事補缺ニ依リ同年同月二十八日左記ノ者就任ス
髙橋茂一　大里郡本郷村大字本郷千二百七十四番地ノ一
昭和九年二月二十四日登記　熊谷區裁判所深谷出張所

●保證責任北泉村信用購買販賣組合變更
一昭和九年一月三十一日補缺選任ニ因リ同年二月一日左ノ者理事監事ニ就任ス
理事　萩原德治　兒玉郡北泉村大字東五十子五百六十五番地
監事　庄田半平　同郡同村大字北堀二百三十五番地
昭和九年二月二十三日登記　熊谷區裁判所本庄出張所

●保證責任久那村信用購買利用組合變更
昭和九年二月十日事務所ヲ左ノ地ニ移轉ス
秩父郡久那村二千百八十五番地
昭和九年二月二十三日登記　秩父區裁判所

●有限責任吉岡信用購買組合變更
一監事大野能藏ハ昭和九年一月九日死亡ス
昭和九年二月二十六日登記　佐倉區裁判所

●保證責任布佐町信用購買販賣利用組合變更
一昭和九年二月一日理事鈴木章齋藤張次加藤信中澤寅藏ハ各重任シ同日左ノ者新ニ理事ニ就任ス
新澤良平　東葛飾郡布佐町布佐一八七四番地
齋藤玄次　同郡同町同所二一二九番地
岡山　榮　同郡同町同所三〇五九番地
一昭和九年二月一日監事玉村泰石井臨ハ各重任シ同日左ノ者新ニ監事ニ就任ス
石井英　東葛飾郡布佐町布佐二四三三番地
昭和九年二月二十四日登記　佐倉區裁判所木下出張所

●有限責任岩熊信用購買販賣組合變更
一理事中村梅吉松本政治ハ昭和九年二月一日辭任ス
昭和九年二月二十六日登記　一宮本鄕區裁判所長者出張所

●有限責任松戶町信用組合變更
一理事一名缺員ニ付昭和九年二月十一日左記ノ者理事ニ補缺就任ス
倉田忠藏　東葛飾郡松戶町松戶千九百四十六番地
一監事任期滿了ノ處昭和九年二月十一日立澤捨五郎相川豐太郎田中常吉湯淺要藏ハ各監事ニ重任ス
右昭和九年二月二十四日登記　松戶區裁判所

●有限責任外箕輪肥料販賣購買組合解散
一昭和九年二月二十二日認可ニ因リ解散ス
昭和九年二月二十四日登記　木更津區裁判所

●保證責任九重村信用販賣購買利用組合變更
一理事齋藤紋治ハ昭和九年二月十二日辭任ス

●有限責任富浦販賣購買利用組合清算結了
一昭和九年二月六日清算結了ス
右昭和九年二月二十三日登記　北條區裁判所

●有限責任富崎信用購買組合變更
一理事任期滿了ノ處神田德次鹽崎熊吉森安藏ハ昭和九年一月二十七日重任シ左記ノ者同日理事ニ就任ス
庄司　若松　安房郡富崎村布良一二二六番地
鹽崎　彥一　同所一一六九番地
西澤　繁吉　同村相濱一六五番地
濱瀨熊三郎　同所九五番地
昭和九年二月二十四日登記　北條區裁判所長尾出張所

●保證責任笠間信用販賣購買利用組合變更
一補缺トシテ昭和九年一月二十三日左ノ者就任ス
理事　織田織太郎　西茨城郡笠間町下市毛二八一番地
同　前川源太郎　同郡南山內村手越二〇番地
昭和九年二月二十四日登記　水戶區裁判所笠間出張所

●有限責任岩瀨信用販賣購買利用組合變更
一理事全員任期滿了ニ付昭和九年一月三十日理事堀川松太郎鯉崎日之九濱田字之吉廣田三郎平ハ各重任シ同日左者理事ニ新任ス
友常千次郎　西茨城郡岩瀨町岩瀨一四三番地ノ三
昭和九年二月二十三日登記　水戶區裁判所岩瀨出張所

●保證責任松原信用購買販賣組合變更
一理事矢代隆落合子之次郎大高康臼井豐吉ハ昭和九年一月二十八日重任ス
一補缺トシテ同日左者監事ニ就任ス
鈴木德松　多賀郡松原町安良川七二一番地
宇佐美竹次郎　同所六六四番地
一昭和九年一月二十七日總會ノ決議ニ因リ左ノ如ク變更ス
目的
一組合員ニ產業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト
二組合員ニ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及組合員ト同一ノ家ニ在ル者公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ノ貯金ヲ取扱フコト
三組合員ノ委託ヲ受ケ其生產シタル物ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ販賣スルコト
四組合員ノ產業又ハ經濟ニ必要ナル物ヲ買入レ之ニ加工シ若ハ加工セスシテ又ハ之ヲ生產シテ組合員ニ賣却スルコト
五組合員ヲシテ產業又ハ經濟ニ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト
六農業倉庫業法ニ依リ農業倉庫ノ經營ヲ爲スコト
一名稱　保證責任松原信用販賣購買利用組合
昭和九年二月二十四日登記　水戶區裁判所高萩出張所

●有限責任玉取信用販賣購買組合變更
昭和八年九月一日總會ノ決議ニ因リ左ノ如ク變更ス
一名稱　保證責任玉取信用販賣購買組合
一組織　保證責任
一存立時期　削除ス
昭和九年二月二十三日登記　土浦區裁判所北條出張所

●有限責任息栖村信用購買販賣組合解散
一茨城縣知事ノ命令ニ因リ昭和八年十二月二十三日解散ス
右昭和九年二月二十三日登記　麻生區裁判所鹿島出張所

●無限責任古里信用購買販賣組合變更
一理事豬瀨喜一郎田中喜代造ハ昭和九年一月三十一日退任シ同日左記ノ者理事ニ就任ス
櫻井勘七　河內郡古里村大字白澤千八百九十二番地
田中恒次　同郡同村大字下岡本八十九番地
昭和九年二月二十四日登記　宇都宮區裁判所古里出張所

●無限責任久我信用購買販賣組合變更
一理事小林幹七郎大橋寅次郎大橋金作大橋信三郎神山福司ハ昭和九年一月二十一日重任ス
一監事大島源重福田千次郎湯澤小三郎神山健三郎ハ同日重任ス
昭和九年二月二十三日登記　宇都宮區裁判所東大蘆出張所

●保證責任淸原村信用購買販賣利用組合變更
一理事上野淸三郎ハ昭和九年一月五日辭任ス

●保證責任西高橋信用購買販賣利用組合變更
一監事直井喜重郎ハ昭和九年一月二十七日退任シ昭和九年一月二十八日左ノ者理事監事ニ就任ス
理事　直井喜重郎　芳賀郡水橋村大字西高橋二六九七番地
監事　高橋　友一　同所二四七七番地
昭和九年二月二十四日登記　芳賀區裁判所祖母井出張所

●保證責任大內村信用購買販賣組合變更
一理事小室甚四郎大金洲岡金次岡直一高野喜代ハ昭和九年二月九日重任ス
昭和九年二月二十六日登記　大田原區裁判所馬頭出張所

●無限責任伊王野信用購買販賣利用組合變更
一昭和九年一月三十一日左記ノ者補缺理事ニ就任ス
西森政之助　那須郡伊王野村大字伊王野二千四百二十六番地
井上　雛吉　同郡同村大字沼野井千百六十番地
昭和九年二月二十三日登記　大田原區裁判所蘆野出張所

●保證責任壬生町信用販賣組合變更
一昭和九年一月二十一日左ノ者監事ニ補缺就任ス
高田照吉　下都賀郡壬生町大字壬生乙九百七十七番地
昭和九年二月二十四日登記　栃木區裁判所壬生出張所

●保證責任堀米町信用購買販賣利用組合變更
一監事荒川作市ハ昭和九年一月三十日退任シ左記ノ者同日監事ニ就任ス
戶田伍市　安蘇郡堀米町大字堀米一一七番地
昭和九年二月二十日登記　足利區裁判所佐野出張所

●有限責任澁川信用組合變更
一監事外丸甚三郎ハ昭和九年一月二十四日辭任ス

●有限責任上白井信用組合變更
一監事生方仲太郎後藤文太郎ハ昭和九年一月三十一日重任ス
昭和九年二月二十二日登記　前橋區裁判所澁川出張所

●無限責任二之宮信用購買組合變更
一監事全員任期滿了ニ付昭和九年一月二十五日總會ノ決議ニ因リ設樂定十井野馬次ハ監事ニ再選重任シ左記ノ者新ニ監事ニ選任セラレ同月二十六日各就任ス
監事　小鮒喜平　勢多郡荒砥村大字二之宮千百三十四番地

●有限責任大胡信用組合變更
一理事一名缺員及監事任期滿了ノ處昭和九年一月二十八日補缺及後任選擧ノ結果監事勝山文作駒田福太郎大原源司ハ再選重任シ左記ノ者新ニ理事ニ選任セラレ同月二十九日各就任ス
理事　松村喜代美　勢多郡大胡町大字樋越甲五百八十二番地

●保證責任粕川信用販賣購買利用組合變更
一理事及監事全員任期滿了ニ付昭和九年一月三十日總會ニ於テ改選ノ處新井濱治金子與重郎河原孝太郎齋藤多平田島錦三坂本孝一渡邊佐助眞下誠後閑盛吉岩田旭ハ理事ニ北爪勘一郎船戶岩司ハ監事ニ再選重任シ左記ノ者新ニ理事監事ニ選任セラレ同月三十一日各就任ス
理事　新井淸一郎　勢多郡粕川村大字女淵十一番地
監事　白石芳太郎　同郡同村大字新屋四十九番地
監事　坂本忠太郎　同郡同村大字込皆戶甲七十三番地
監事　中島松太郎　同郡同村大字女淵千百九十九番地
右昭和九年二月二十二日登記　前橋區裁判所大胡出張所

●有限責任水上搾乳信用販賣組合變更
一監事任期滿了及一名缺員ノ處中島竹松ハ昭和九年二月十六日重任シ左ノ者同日監事ニ新任ス
伊藤庄太郎　利根郡水上村大字湯原甲八百番地
昭和九年二月二十四日登記　沼田區裁判所水上出張所

●無限責任桐生共同購買利用組合變更
一昭和八年九月二十日認可ニ因リ名稱ヲ左ノ通リ變更ス
無限責任桐生冷藏購買利用組合
昭和九年二月二十三日登記　新田區裁判所桐生出張所

●有限責任滯法寺信用販賣購買組合更正
一監事三木倉次郎ノ氏名ヲ三木倉治郎ト更正ス
昭和九年二月二十二日登記　高崎區裁判所鬼石出張所

●保證責任大河內至誠信用販賣購買利用組合變更
昭和九年二月二十二日認可ニ因リ左記ヲ區域ニ加ヘタリ
安倍郡大河內村相淵同村渡
右昭和九年二月二十三日登記　靜岡區裁判所玉川出張所

●保證責任吉野信用販賣購買利用組合變更
昭和九年二月九日出資拂込ノ方法ヲ左ノ通リ變更ス
一出資拂込ノ方法　出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金二圓トス但第七十三條第三項ノ場合ハ此ノ限リニ在ラス第一回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外出資一口毎ニ左ノ各號ノ一ニ依リ出資拂込ヲ爲スモノトス
一毎月末金二十錢以上拂込ムコト
二出資各口ニ付毎年一月末及六月末金一圓以上拂込ムコト
右昭和九年二月二十三日登記　濱松區裁判所

●保證責任上淺羽村信用購買販賣利用組合變更
一昭和九年一月三十日左記ノ者補缺理事ニ就任ス
井浪健作　磐田郡上淺羽村豐住二千六百十二番地
右昭和九年二月二十日登記　掛川區裁判所袋井出張所

●有限責任笠原信用組合變更
昭和九年一月二十八日左記ハ理事ニ就任ス
泛田佐平治　小笠郡笠原村岡崎三千四百四十七番地
鈴木惣太郎　同所三千九百三十四番地
右昭和九年二月二十二日登記　掛川區裁判所橫須賀出張所

●保證責任山梨縣信用組合聯合會（變更）
昭和九年一月二十五日左記監事ニ新任ス
淸水二萬　北巨摩郡安都那村箕輪千五百四十番地
右昭和九年二月八日登記

●有限責任中央販賣利用組合（變更）
監事任期滿了ニ付昭和九年一月二十九日前任者全員重任ス
右昭和九年二月十日登記

●有限責任甲府印刷業購買組合（變更）
理事監事任期滿了ニ付昭和九年一月十八日理事靑柳幸雄深澤淺吉內田忠平矢崎朝夫五味穗吉監事柳澤長作重任シ左記新任ス
監事　島吾朗　甲府市金手町五十一番地
右昭和九年二月十六日登記

●有限責任甲府信用組合（變更）
監事樋口半六ハ昭和九年一月二十八日辭任ス
右昭和九年二月十七日登記　甲府區裁判所

●有限責任末木信用購買組合變更
一理事任期滿了ニ付加藤重春小池增盛小澤房次郎ハ昭和九年一月三十日重任ス
一監事任期滿了ニ付金子藤七田中甚平ハ昭和九年一月三十日重任ス
昭和九年二月二十三日登記　甲府區裁判所石和出張所

●有限責任小井信用購買利用販賣組合變更
理事河西市重石原勇三井源治郎伊藤文太郎金丸竹春古郡森藏河西淸藏ハ昭和九年一月二十一日各重任シ同日左者新任ス
理事ノ氏名住所　遠藤亨　中巨摩郡小井川村布施二千四十七番地
右昭和九年二月二十四日登記　甲府區裁判所龍王出張所

●有限責任秋田信用購買組合變更
一監事田代修三ハ昭和九年一月二十八日重任シ左者同日新ニ監事ニ就任ス
淸水孝治　北巨摩郡秋田村大八田二百四十番地
堀內重一　同郡同村同字六千七百十五番地ノ內一
堀內健雄　同郡同村同字六千三百七十六番地
昭和九年二月二十三日登記　甲府區裁判所日野春出張所

第2167号　本文

◎有限責任藤澤信用販賣購買組合變更
一監事小林和一郎小林延久ハ昭和九年一月二十日各重任ス
右昭和九年二月二十四日登記　谷村區裁判所大原出張所

◎有限責任庚午住宅建築購買組合變更
一昭和九年二月一日左ノ者理事及監事ニ就任ス
理事ノ氏名住所　中村禮三　長野縣長野市大字鶴賀字腰卷二千二百九十三ノ二千二百九十四番ロ號合併地　小松吉次郎　同縣同市大字西長野四百八十二番地　宮島久義　同縣上水内郡安茂里村大字安茂里千十番ノ一番地
監事ノ氏名住所　藤原文夫　長野縣上水内郡安茂里村大字小柴見四百四十四番地　石坂政治　同縣長野市大字上松二千五百四十番地

◎有限責任昭和住宅建築購買組合變更
一昭和九年二月七日左ノ者監事ニ就任ス　水上正俊　長野縣長野市大字鶴賀權堂町西五十番地ノ三　佐藤四郎　同縣同市大字中御所字岡田四十二番地

◎保證責任古里村信用販賣購買組合變更
一昭和九年二月一日左ノ者理事及監事ニ就任ス
理事ノ氏名住所　水品莊三郎　長野縣上水内郡古里村四百二十八番地
監事ノ氏名住所　藤森市郎　長野縣上水内郡古里村大字三才千二百六十一番地
昭和九年二月二十二日登記　長野區裁判所

◎保證責任更級運搬利用組合變更
一理事塚田長重村松徳廣堀田喜代太郎加藤會之助ハ昭和九年一月三十日退任シ同島田佐門山崎暢夫望月艶太郎今井正治高澤石衛守都宮盟ハ同日重任シ左記ノ者二月十日理事ニ就任ス
鎌田久吉　長野縣更級郡中津村大字今井千五百六十一番地
馬場義雄　同縣同郡稻里村大字中氷鉋九十八番地
臼井政衛　同縣同郡牧鄕村大字牧野島二百三十八番地
中澤源八　同縣同郡眞島村大字眞島五百九十番地
一監事中村龍男臼井政衛鎌田久吉ハ昭和九年一月三十日退任シ同岡澤信衛瀧澤延人ハ同日重任シ左記ノ者二月十日監事ニ就任ス
大澤繁作　長野縣更級郡信田村大字灰原四百四十五番地
小山久吉　同縣同郡日原村大字日名二千五十三番地
島田園一郎　同縣同郡篠ノ井町大字布施高田八百三十五番地
昭和九年二月二十三日登記　長野區裁判所中津出張所

◎保證責任山田信用販賣購買利用組合變更
一昭和九年一月二十一日左記ノ者監事ニ補缺就任セリ
富川重右衛門　長野縣上高井郡山田村大字奥山田二千四百八十六番地
昭和九年二月二十三日登記　長野區裁判所小布施出張所

◎保證責任長瀬村信用販賣購買利用組合變更
一理事清水忠雄君川政井出伊兵衛小林大吉小林準一龍野恒一藤田榮郎ハ昭和九年二月一日重任ス
昭和九年二月二十二日登記　上田區裁判所長久保出張所

◎有限責任北大井信用販賣購買利用組合變更
理事美濟津俊次ハ昭和九年一月三十一日退任シ同美濟津角太郎月勇組渡邊良平細谷作太郎小山又四郎小山庄之助渡邊清作ハ同日重任シ左ノ者同日新ニ理事ニ就任ス
渡邊幸一　長野縣北佐久郡北大井村大字八滿七百二十九番地
小林中治　同縣同郡同村同大字三百五十四番地一
竹内保一　同縣同郡同村同大字五百五番地
佐藤梅作　同縣同郡同村大字柏木千三百一番地
同日左ノ者監事ニ補缺就任ス
望月貞雄　長野縣北佐久郡北大井村大字柏木三十二番地
高橋二郎　同縣同郡同村大字加增千四百七番地
右昭和九年二月二十日登記　岩村田區裁判所小諸出張所

◎保證責任波多村信用購買販賣利用組合變更
昭和九年一月三十日左記ノ者理事及監事ニ補缺選任同年二月一日就任ス
一理事ノ氏名住所　樋口喜代一　長野縣東筑摩郡波田村四千四百二十七番地内十八
一監事ノ氏名住所　鹽原榮三郎　同縣同郡同村五千二百六十一番地
昭和九年二月二十一日登記

◎保證責任新村信用購買販賣利用組合變更
理事田中賴秋武居權市川久保博治土居徹一新村竹丸勝源金作乾郭穂赤澤喜八監事上條慶進ハ昭和九年二月十一日再選同日重任シ同日左ノ者新ニ理事及監事ニ選任同日就任ス
理事ノ氏名住所
萩原拓治郎　長野縣東筑摩郡新村六百五十九番地
關　喜一　同縣同郡同村千七百九十六番地
矢野銀吾　同縣同郡同村二千四番地
原田清治郎　同縣同郡同村二千百九十三番地
一監事ノ氏名住所
小林富十　同縣同郡同村六百三十七番地
武居隣好　同縣同郡同村八百八十八番地
新村正木　同縣同郡同村二十四番地
新村末松　同縣同郡同村二千二百四十六番地
津野喜與一　同縣同郡同村二百七十八番地
山下　鑑　同縣同郡同村三千三百二十二番地
昭和九年二月二十二日登記　松本區裁判所和田出張所

◎保證責任高家村信用販賣購買利用組合變更
昭和九年二月五日手塚鶴一槇石眞宗飯田寬人萩原渥美山田保壽宮澤秀一三原滿石丸山良橫山勝義髙木數枝ハ理事ニ重任シ左者同日理事ニ就任ス
松尾今朝義　長野縣南安曇郡高家村十番地
昭和九年二月二十二日登記　松本區裁判所豐科出張所

◎保證責任伊那村信用販賣購買組合變更
昭和九年二月十三日左記ノ者補缺理事及監事並ニ增員監事ニ就任ス
一補缺理事ノ氏名住所　下島米太郎　長野縣上伊那郡伊那村千百三十二番地
一補缺監事ノ氏名住所　大沼登喜雄　同縣同郡同村百七十二番地
一增員シタル監事ノ氏名住所
村上啓太郎　長野縣上伊那郡伊那村二百十二番地
赤羽　常雄　同縣同郡同村二千五百六十七番地
昭和九年二月二十二日登記　伊那區裁判所赤穗出張所

◎有限責任十全信用販賣購買組合
一理事一名缺員ノ處昭和九年一月二十五日左者就任ス
理事　瀧澤喜太郎　中蒲原郡十全村大字下戸倉千三百八十九番地
昭和九年二月二十二日登記　新潟區裁判所村松出張所

◎有限責任相助信用購買組合變更
一理事荒木正二石丸與作ハ昭和九年二月九日辭任セリ
昭和九年二月二十二日登記　三條區裁判所地藏堂出張所

◎有限責任石津信用購買組合變更
一昭和九年一月二十二日左者補缺理事ニ就任ス
伊佐伊吉　古志郡石津村大字釜ヶ島八十三番戸
右昭和九年二月二十三日登記　長岡區裁判所片貝出張所

◎有限責任島越信用組合變更
一理事猪俣群三ハ昭和九年一月十四日死亡ス

◎保證責任鯖石信用販賣購買組合變更
一理事二名缺員ノ處昭和九年一月二十二日左者理事ニ就任ス
理事ノ氏名住所
高野　長久　刈羽郡中鯖石村大字宮原千百七十一番地
山岸喜重郎　同郡同村大字善根八千八百八十九番地
一監事全員ハ任期滿了ノ處昭和九年一月二十二日監事木間恒八田村知太郎高野泰五郎ハ各重任シ左者監事ニ就任ス
監事ノ氏名住所　植木體太　刈羽郡中鯖石村大字與板四十七番戸

◎保證責任田尻村昭和信用組合變更
一理事藤巻榮治ハ昭和九年一月二十二日辭任ス

◎有限責任高田村信用販賣購買組合變更
一監事全員任期滿了ノ處昭和九年一月二十七日監事笠輪正敬小林榮一ハ各重任シ左者監事ニ就任ス
監事ノ氏名住所　飯塚要助　刈羽郡高田村大字新道九十七番戸

◎有限責任刈羽信用販賣購買利用組合　農業倉庫變更
一理事全員ハ任期滿了ノ處昭和九年一月二十六日理事安澤正治小林恒太郎西川藤太郎西川榮一品田泰一安達平太郎猪俣正雄ハ各重任シ左者理事ニ就任ス
理事ノ氏名住所　安澤信治　刈羽郡刈羽村大字刈羽千百六十三番地

◎有限責任十日市信用購買利用組合變更
一理事一名缺員ノ處昭和九年一月二十八日左者理事ニ就任ス
元井延市　刈羽郡刈羽村大字滝谷二千二十七番地
一監事全員ハ任期滿了ノ處昭和九年一月三十日左者監事ニ就任ス

一監事ノ氏名住所
吉越隆之助　刈羽郡刈羽村大字十日市二千百九十番地
武本　平吉　同郡同村大字西元寺三百三十六番地
武本金次郎　同郡同村大字瀧谷新田百六十二番地
昭和九年二月二十三日登記　柏崎區裁判所

◎保證責任德忠信用販賣購買利用組合變更
一昭和九年二月一日理事ニ德永庄作押見定五郎灰野常三郎大谷喜三郎德永權次三富甚五郎三富喜治補任シ同日監事ニ押見權藏三富長一三富久松三富善範重任セリ
一同日左者監事ニ就任セリ
大谷善治郎　刈羽郡石地町大字濱忠千三百十三番地

◎保證責任石地信用組合變更
一昭和九年一月二十六日理事ニ內藤久一郎田村鐵太郎糀山李一郎加藤文榮光村勝治市橋甚政同日監事ニ藤田邦太郎栗原莊平重任シ左者同日就任セリ
理事　中野莊次　刈羽郡石地町大字石地九百三十四番地
同　　阿部仙松　同郡同村大字大崎六百八十一番地
監事　佐藤榮次　同郡同村大字石地三百五十七番地
右昭和九年二月二十四日登記　柏崎區裁判所高濱出張所

◎保證責任七日町信用組合變更
一理事全員任期滿了ノ處昭和九年一月二十五日原金質郎角山清三郎小林馬之允高橋清作渡邊安平原藤一郎原重雄ハ各重任ス

◎有限責任中里信用購買利用組合變更
一理事全員任期滿了ノ處昭和九年一月二十五日青柳隆一田中徳吉郎中村俊司青柳太郎治山崎與平太山崎金作田中滿ハ各重任ス
昭和九年二月二十三日登記　柏崎區裁判所千谷澤出張所

◎保證責任南鯖石信用販賣購買利用組合變更
一昭和九年一月二十一日左者補缺理事ニ就任ス
理事ノ氏名住所　佐藤五三郎　刈羽郡南鯖石村大字石曾根五千百二十九番地
昭和九年二月二十三日登記　柏崎區裁判所高柳出張所

◎有限責任上鄕村信用購買組合變更
昭和九年一月十七日名稱及組織ヲ左ノ通變更ス
一名稱　保證責任上鄕村信用購買組合
一組織　保證責任
昭和九年二月二十三日登記　六日町區裁判所下船渡出張所

◎保證責任網野信用組合變更
昭和八年十二月三十一日任期滿了改選ノ結果理事岡本平治郎梅田郡平河田菅藏三浦辨治郎明尾彌平監事給田芳三助谷口彌右衛門ハ各重任シ左ノ者理事及監事ニ新任同九年一月十五日ニ就任シタリ新任シタル理事山崎延次竹野郡網野町字淺茂川三百二十六番地藤原富藏竹野郡網野町字下岡九番戸新任シタル監事相見末治竹野郡網野町字網野八百五十六番地山崎十一同所六百五十五番地大橋万治郎同町字下岡十七番戸田淵重吉
右昭和九年二月十二日登記

◎保證責任網野町信用組合變更
理事田淵重吉ハ昭和九年一月二十六日住所氏名ヲ左ノ如ク變更セリ
田淵弦金　竹野郡網野町字下岡五百九十番地
右昭和九年二月十四日登記　峯山區裁判所網野出張所

◎有限責任吹田信用組合變更
一理事原田猶吉榮田辰治郎ハ昭和九年一月二十四日退任シ同高瀨綱兵衛源藤宗隆上野直次郎田中助左衛門伊東秀太郎金平末次郎奧野久太郎ハ同月三十一日重任シ左記ノ者同日理事ニ就任ス
富崎伊三郎　大阪府三島郡吹田町二千七百四十八番地
一左記ノ者同日監事ニ就任ス
小田林　大阪府三島郡吹田町二千八百九十五番地
昭和九年二月二十一日登記　大阪區裁判所吹田出張所

◎有限責任芥川信用購買利用組合變更
一左記ノ者昭和九年二月一日理事ニ就任ス
西田源次郎　大阪府三島郡高槻町大字郡家六百三十番地
昭和九年二月二十一日登記　大阪區裁判所高槻出張所

◎保證責任大阪府信用組合聯合會變更
左記ノ者昭和九年二月七日理事ニ就任ス
土岐銀次郎　大阪市東區大手前之町二番地
左記ノ者同日監事ニ就任ス
奧野定八　大阪市東區大手前之町二番地
昭和九年二月二十日登記　堺區裁判所

◎有限責任濱寺信用組合變更
一理事古藤竹治郎坂口住一橋日和三郎坂口桂市郎岡田粂次郎松野貞三坂口托平ハ昭和九年一月三十一日重任シ左記ノ者同日理事ニ就任ス
兒島志行　泉北郡濱寺町大字下石津千百三十六番地
一監事木地富三郎大橋峯松仲田伊三郎ハ昭和九年一月三十一日重任ス

◎保證責任神石村信用組合變更
一監事長谷川芳三郎深江信三川野梅二郎ハ昭和九年一月二十八日重任ス

◎有限責任東陶器信用購買利用組合變更
一監事石川松治郎安尾千代松西井伊三郎ハ昭和九年一月三十日重任ス
右昭和九年二月二十一日登記　堺區裁判所鳳出張所

◎保證責任長野信用購買組合變更
一監事吉年壽作同吉井一郎同東田金治ハ昭和九年一月二十四日各任期滿了ノ處同年二月一日重任ス
昭和九年二月十九日登記　堺區裁判所三日市出張所

◎保證責任兵庫縣販賣購買組合聯合會變更
一理事中谷磯ハ昭和九年二月八日辭任ス
昭和九年二月二十三日登記　神戸區裁判所

◎無限責任生野信用組合變更
一理事喜多新太郎大西甚三郎新谷雅一ハ昭和九年一月九日重任ス
昭和九年二月十四日登記

◎保證責任大川瀨信用販賣購買組合變更
一理事田畑藏次福井彌太郎小仲万吉監事堀仙太郎前田辰藏ハ昭和九年一月二十日重任ス

◎有限責任船坂信用購買組合變更
一理事坂田勝藏中尾太一郎監事西口儀三郎飯貝太郎右吉ハ昭和九年一月三十日重任シ左ノ者同日就任ス
理事　中尾清志　有馬郡山口村船坂六五一番地
昭和九年二月二十三日登記　伊丹區裁判所三田出張所

◎有限責任中吉川信用組合變更
一理事任期滿了ニ付昭和九年一月十八日左ノ通選任シ同日就任ス
稻岡定兵衛　福田隆一　浦崎英夫　小川朝之助　瀧谷讓治郎　常深藏松　檻木芳松
奧川龍治　美囊郡中吉川村田谷三十八番地
西岡才治　同郡同村湯谷七百六十六番地
瀧本岡松　同郡同村法光寺百八十八番地
右昭和九年二月十七日登記　明石區裁判所中吉川出張所

◎有限責任別所村信用購買販賣組合變更
左記ノ者ハ昭和九年一月二十七日理事ニ就任ス
後藤爾次　印南郡別所村佐土新二百九十六番地
一監事原熊爾牧野信次渡邊市太郎山田武二ハ昭和九年一月二十七日各重任ス

◎保證責任西志方村信用購買販賣利用組合變更
一監事北本政次渡邊英松小脇親次田中虎之助藤本悦次淺田常太郎長谷川九一ハ昭和九年一月二十八日各重任ス
右昭和九年二月二十三日登記　姫路區裁判所阿彌陀出張所

◎有限責任加古川信用販賣購買組合變更
一監事增田周治藤田英治奧村重二小南岡次藤田吉次ハ昭和九年一月三十日重任ス

◎有限責任大滿信用販賣購買利用組合變更
一監事永田寬二郎坂元貞治大西儀三郎ハ昭和九年一月二十八日重任同日左記ノ者新ニ就任ス
理事　竹内　盛資　加古郡天滿村岡二二一番地

◎有限責任平岡信用販賣購買組合變更
一理事中田文之助大西百三郎高橋寅次郎大西儀太郎奧村勢助木戸淺次郎監事進藤村上正次上田角市大西松太郎松森藤次郎ハ昭和九年一月二十四日重任同日左記ノ者新ニ就任ス
理事　三宅鹿次　加古郡平岡村一色五二一番地
監事　藤崎政太郎　同郡同村中村八五〇番地
同　　吉田　直政　同郡同村岡三九一番地
右各昭和九年二月二十四日登記　姫路區裁判所加古川出張所

◎保證責任香呂信用販賣購買利用組合變更
理事監事任期滿了ニ付昭和九年一月二十一日總會ニ於テ理事藤尾爾次駒田鹿次小幡文作藤本藤太郎永瀨實金川榮治ハ各重任シ左ノ者新ニ就任セリ
理事　福永　辰次　神崎郡香呂村中屋五十五番地
監事　藤原　久次　神崎郡香呂村栂坂八百七番地
監事　大野　定一　神崎郡香呂村須加院五十一番地
監事　中川榮太郎　神崎郡香呂村廣瀨百四十六番地
右昭和九年二月二十四日登記　姫路區裁判所田原出張所

第2167号 本文

●有限責任在田信用販賣購買組合變更
一理事一名缺員ノ處昭和九年一月三十一日總會ニ於テ左ノ者選任同日就任ス
　甘中松治　加西郡在田村笹倉六八番屋敷
一監事小田常治辻龜太郎高橋義一ハ昭和九年一月三十一日重任ス
昭和九年二月二十一日登記　社區裁判所北條出張所

●保證責任兵庫縣信用組合聯合會變更（從タル事務所）
一監事土居省吾ハ昭和九年二月四日辭任ス
右昭和九年二月二十日登記

●有限責任龍野信用購買組合變更
一監事長野孫治郎山本貞市滿田孟之ハ昭和九年二月十日各重任ス

●保證責任伊勢村信用購買販賣組合變更
一理事岩谷滿治長谷川善太郎三村源吉播利吉監事矢内勇次ハ昭和九年一月三十一日各重任シ左ノ者新ニ理事監事ニ各就任ス
　理事　村上重太郎　揖保郡伊勢村上伊勢一〇七〇番地
　同　原田善吉　同郡同村下伊勢四七六番地
　監事　藤井參之助　同郡同村上伊勢乙九一番屋敷
　同　玉田豐松　同郡同村同所一〇〇八番地
　同　玉越三之助　同郡同村下伊勢三二二番地
右各昭和九年二月二十三日登記　龍野區裁判所

●有限責任若狹野村信用販賣購買利用組合變更
理事寺田定一中塚佐之助山根喜作山本治郎西本熊治郎前坂千藏ハ昭和九年一月三十一日各重任シ左ノ者同日新ニ理事ニ就任ス
　奧田元治　赤穗郡若狹野村入野三五三番地
右昭和九年二月二十四日登記　龍野區裁判所那波出張所

●有限責任赤穗町信用組合變更
一監事宍戸重吉ハ昭和九年一月二十二日死亡ス
右昭和九年二月二十三日登記　龍野區裁判所赤穗出張所

●有限責任江川信用購買販賣利用組合變更
一理事一名缺員ノ處昭和九年一月三十日左ノ者就任ス
　岡本清太　佐用郡江川村大木谷一千一百四十一番地
昭和九年二月二十三日登記　龍野區裁判所佐用出張所

●保證責任田鶴野信用販賣購買組合變更
一監事松村柳兵衞大北肝一ハ昭和九年一月二十九日重任シ左ノ者右同日監事ニ就任ス
　佐伯重郎右衞門　城崎郡田鶴野村一日市八〇一番地
　井川榮藏　同郡同村下鶴井一六七六番地
昭和九年二月二十三日登記　豐岡區裁判所

●有限責任餘部村電氣利用組合變更
理事澤田潔ハ昭和九年一月十四日辭任セリ
監事山崎順造ハ昭和九年一月二十日辭任セリ

●有限責任餘部村電氣利用組合變更
理事一名監事二名缺員ニ付昭和九年一月二十一日通常總會ニ於テ左記ノ通リ選任シ同月二十三日就任シタリ
　理事　中野松藏　城崎郡餘部村餘部八八番屋敷ノ一
　監事　小林義亮　同所一九六八ノ一九六九番地
　同　和田實治　同所一〇九四番地
右昭和九年二月二十三日登記　豐岡區裁判所香住出張所

●有限責任大町村信用購買組合變更
一理事一名缺員ニ付左ノ者昭和九年二月四日新ニ理事ニ就任セリ
　川野最一　津名郡大町村大町七十五番屋敷
一監事廣田又三郎赤松峯市熊瀧仁三郎平野金次郎中野忠吉ハ昭和九年二月四日各重任シ左ノ者同日新ニ監事ニ就任セリ
　貴谷文作　津名郡大町村木曾下組六百二十三番地
右昭和九年二月二十四日登記　洲本區裁判所郡家出張所

●保證責任豐原村信用販賣購買組合變更
理事北浦森藏ハ昭和九年一月二十日退任シ高森榮喜三大屋戶粂松福西由太郎奧田幸治郎西忠太郎奧西官太郎奧坊幸太郎北森勝太郎今西直義監事全員ハ同日重任シ左記ノ者同日理事ニ就任ス
　理事　中直治郎　山邊郡豐原村大字伏拜七百二十三番地

●無限責任福住信用購買販賣利用組合變更
理事中森勝治郎ハ昭和九年一月二十八日退任シ理事全員監事辻澤島松ハ同日重任シ左記ノ者監事ニ同日就任ス
　監事　大石竹藏　山邊郡福住村大字山田二千六百二十二番地
右昭和九年二月二十三日登記　奈良區裁判所針ケ別所出張所

●有限責任三宅村信用販賣購買利用組合變更
一理事志野清吉西川耕治中村瀰惣松千田冨太郎福田傳九郎ハ昭和九年一月二十八日各重任シ理事馬場義則松村熊治郎ハ同日退任シ左ノ者同日理事ニ就任ス
　石川庄太郎　磯城郡三宅村大字三河六百二十三番地
　辰巳藤逸　同郡同村大字屛風三百九十番地
右昭和九年二月二十四日登記　奈良區裁判所田原本出張所

●保證責任滋賀縣信用販賣購買組合聯合會變更
一監事本鄕菊太郎西島庄五郎谷口久次郎ハ昭和九年一月二十九日重任シ同日左ノ者監事ニ就任ス
　林治三郎　大津市橋本町三十六番地
昭和九年二月二十二日登記　大津區裁判所

●保證責任三上村信用購買販賣利用組合變更
一理事全員任期滿了ニ付荻原宗吉小島佐之助青木鍋治郎山岡岩治郎小崎正治川端政直ハ昭和九年二月一日各重任ス

●保證責任河西村信用販賣購買組合變更
一理事全員任期滿了ニ付北脇富造仁志出五右衞門遠藤榮三郎今井六郎兵衞ハ昭和九年一月二十八日各退任シ同月二十九日板倉兵左衞門田中貞三郎ハ各重任シ同日左記者新ニ理事ニ就任ス
　谷口万治郎　野洲郡河西村大字小島千五百三十三番地
　西出權右衞門　野洲郡河西村大字播磨田百三十八番屋敷
　宇野速信　野洲郡河西村大字中百十六番地
　中北政安　野洲郡河西村大字川田九百四十五番地
一監事全員任期滿了ニ付昭和九年一月二十九日左記者新ニ監事ニ就任ス
　木林卯之助　野洲郡河西村大字小島千二百六十三番地
　北村長治郎　野洲郡河西村大字播磨田六百五十六番地
　坂田榮一　野洲郡河西村大字川田千七百五十三番地

●保證責任小津村信用販賣購買組合變更
一理事全員任期滿了ニ付飛田安太郎東藤太郎川那邊格石田佐兵衞寺田幸治郎三品利兵衞酒井勘助中西伊藏ハ昭和九年二月一日各重任シ同日左記者新ニ理事ニ就任ス
　寺田傳吉　野洲郡小津村大字三宅六百九十番地

●保證責任玉津村信用販賣購買組合變更
一昭和九年二月十二日目的中第三號ヲ左ノ如ク變更ス
　三組合員ノ生產物ヲ其ノ委託ヲ受ケ又ハ買取リ之ヲ販賣スルコト
昭和九年二月二十日登記　大津區裁判所守山出張所

●保證責任朽木村信用販賣購買組合變更
一理事中野幾太郎ハ昭和九年二月三日死亡ス
一監事一名缺員中ノ處昭和九年二月五日左記ノ者監事ニ就任ス
　澤井又右衞門　高島郡朽木村大字能家二百七十七番地
昭和九年二月二十一日登記　大津區裁判所朽木出張所

●保證責任油日村信用販賣購買組合變更
一昭和九年二月二十二日認可ニ因リ目的中左ノ通リ變更ス
　三組合員ノ生產物ヲ其ノ委託ヲ受ケ又ハ買取リ之ヲ販賣スルコト

●有限責任南杣村信用販賣購買組合變更
一理事一名缺員ニ付昭和九年一月二十九日左記ノ者新ニ理事ニ就任ス
　深山万吉　甲賀郡南杣村大字新治千八百十四番地
昭和九年二月二十三日登記　水口區裁判所寺庄出張所

●保證責任雲井信用販賣購買利用組合變更
一理事一名缺員ニ付昭和九年一月三十日左ノ者理事ニ就任ス
　福田惣吉　甲賀郡雲井村大字勅旨千九百二十番地
一監事全員任期滿了ニ付福山新太郎山本寅市ハ昭和九年一月三十日重任シ左記ノ者同日新ニ監事ニ就任ス
　黄瀨利次　甲賀郡雲井村大字宮町二千四百九十四番地
昭和九年二月二十一日登記　水口區裁判所長野出張所

●保證責任中野村信用販賣購買組合變更
一理事全員任期滿了ノ處理事小島榮太郎和田庄吉北川万藏村田長四良西川捨次郎植木勝治田中新吾ハ昭和九年二月一日退任シ吉田高信ハ同日重任シ左ノ者同日新ニ理事ニ就任ス
　小島傳兵衞　蒲生郡中野村大字中野二百八番屋敷

　小梶甚三郎　同所三百十九番地
　若林藤兵衞　同所九百七番地
　中島與惣七　同村大字今崎三十六番屋敷
　門野勝治郎　同村大字小今百六十四番地
　野村駒治郎　同村大字小脇五十二番屋敷
　畑貞治郎　同所千四百七十八番地
一監事全員任期滿了ノ處監事珠玖茂三郎小梶甚三郎小島助治郎谷虎吉ハ昭和九年二月一日退任シ左ノ者同日新ニ監事ニ就任ス
　小島繁太郎　蒲生郡中野村大字中野二百五十八番地
　宮田和吉　同村大字今崎四百二十六番地
　今宿泰藏　同村大字小脇五百八十二番地
　市川國松　同村大字今堀百九十一番地
昭和九年二月二十二日登記　彥根區裁判所八日市出張所

●保證責任蓮花寺信用購買販賣組合變更
一昭和九年一月二十五日目的中第四號ヲ左ノ通リ改ム
　四組合員ノ生產物ヲ其ノ委託ヲ受ケ又ハ買取リ之ヲ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ販賣スルコト
昭和九年二月二十二日登記　彥根區裁判所日野出張所

●保證責任平田村信用購買販賣組合變更
一昭和九年二月二十二日目的中第三號ヲ左ノ如ク改ム
　一組合員ノ生產物ヲ其ノ委託ヲ受ケ又ハ買取リ之ヲ販賣スルコト

●保證責任苗村信用購買販賣組合變更
一昭和九年二月二十二日目的中第三號ヲ左ノ如ク改ム
　一組合員ノ生產物ヲ其ノ委託ヲ受ケ又ハ買取リ之ヲ販賣スルコト
昭和九年二月二十三日登記　彥根區裁判所櫻川出張所

●保證責任六莊信用販賣購買組合變更
昭和九年二月七日目的中三號ヲ左ノ如ク變更ス
　三組合員ノ生產物ヲ其ノ委託ヲ受ケ又ハ買取リ之ヲ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ販賣スルコト
昭和九年二月二十一日登記　長濱區裁判所

●有限責任新宮信用組合更正
一區域及主タル事務所及從タル事務所ヲ和歌山縣東牟婁郡新宮町トアルヲ和歌山縣新宮市新宮ト各更正ス

●保證責任新宮建築購買利用組合更正
一區域及事務所ヲ和歌山縣東牟婁郡新宮町トアルヲ和歌山縣新宮市新宮ト更正ス
昭和九年二月二十日登記　新宮區裁判所

●有限責任那智村信用組合變更
一監事宮本宇三郎西田義平中村榮一郎坂井德吉ハ昭和九年一月二十九日辭任セリ

●有限責任那智村信用組合變更
一昭和九年一月二十九日左記ノ者監事ニ就任セリ
　西田義平　和歌山縣東牟婁郡那智村大字川關二一四番地ノ一
　牧野盛治　同縣同郡同村大字井關六七一番地
　中村石次郎　同縣同郡同村大字濱ノ宮二五六番地ノ一
　吉川春吉　同縣同郡同村大字天滿二〇二番地
右昭和九年二月二十一日登記

●有限責任那智村信用組合變更
一昭和九年二月十四日事務所ヲ左ノ地ニ移轉セリ
　事務所　和歌山縣東牟婁郡那智村大字天滿二一一番地
右昭和九年二月二十三日登記　新宮區裁判所天滿出張所

●有限責任下里信用購買販賣組合變更
昭和九年二月二十二日存立時期ヲ左ノ如ク變更ス
一存立時期　四十箇年
昭和九年二月二十三日登記　新宮區裁判所下里出張所

●保證責任蟻峨信用購買販賣組合　理事日下磯次郎ハ昭和九年二月四日死亡ス
右昭和九年二月二十三日登記　德島區裁判所

●有限責任白方村信用購買販賣利用組合變更
理事村井虎右衞門ハ昭和九年二月六日死亡ス
右昭和九年二月二十二日登記　丸龜區裁判所多度津出張所

●有限責任鏡村信用販賣購買利用組合變更
一理事全員任期滿了昭和九年一月三十一日理事山崎竹馬植田悅吉筒井虎龍馬川村幸太郎山崎森吉重任同日左ノ者總會ニ於テ選任同日各就任ス
　理事　岡林朝茂　土佐郡鏡村大河内二百七十九番地
　同　穗田初馬　同郡同村大利百八十八番地
　同　大崎久壽幸　同郡同村同五十七番屋敷
　同　竹内菊馬　同郡同村今井百番屋敷
　同　金岡伊勢次　同郡同村同六百三十四番地
　同　正界正治　同郡同村草峯四百四十六番地
　同　今井勝治　同郡同村白岩三番屋敷
　同　山崎半次　同郡同村的淵七番屋敷
　同　山崎友行　同郡同村狩山十三番地
　同　川村清正　同郡同村吉原八百十二番二號地
昭和九年二月二十一日登記　高知區裁判所

●有限責任國府村信用販賣購買生產組合變更
一昭和九年一月三十一日左ノ者理事ニ就任ス
　小松一　長岡郡國府村比江二百九十四番地
右昭和九年二月二十四日登記　高知區裁判所領石出張所

●有限責任美良布購買販賣組合變更
理事横谷覺治岡村德次横谷安馬監事恒石德馬横谷松友石川伊勢美坂本常喜松田浪喜ハ任期滿了ノ處昭和九年二月十二日各重任セリ
右昭和九年二月二十二日登記　高知區裁判所韮生出張所

●有限責任東津野信用購買組合
理事監事全員任期滿了ニ因リ昭和九年一月三十日總代會ニ於テ理事前田居記西村岩太西原藤三郎市越辰馬高橋角馬井關竹馬監事久原隆吉谷脇銀吾ヲ再選左記ノ者ハ新ニ理事監事ニ選任昭和九年二月五日各就任セリ
　理事ノ氏名住所
　池丑太郎　高岡郡東津野村芳生野甲十五番地
　吉門喜義　同所甲三千五百五番地
　長山時義　同所丙千二百三十三番地
　井上清喜　同所丙三千二百十六番地
　松岡仙次　同郡同村力石二千五百十九番地
　高橋末吉　同郡同村桑ケ市千八百五十番地
　山崎寅五郎　同郡同村芳生野甲六番地
　監事ノ氏名住所
　沖本直義　高岡郡東津野村芳生野甲三十六番地
　加藤傑　同郡同村芳生野下鄕二十一番屋敷
右昭和九年二月二十二日登記　須崎區裁判所東津野出張所

●有限責任林友住宅購買利用組合變更
理事伊神宗徵高木海小島尙三青山廣一塚本嘉吉ハ昭和九年一月二十六日重任ス
右昭和九年二月二十三日登記　名古屋區裁判所

●有限責任阿野信用販賣購買利用組合變更
一監事外山長之助加藤海一郎ハ昭和九年一月二十七日辭任ス
昭和九年二月二十三日登記　名古屋區裁判所有松出張所

●有限責任前熊信用購買組合變更
一理事鶴見弘道加藤德三郎水野清一伊藤濱一加藤鐵一ハ昭和九年一月二十一日各重任ス
一監事水野壽代一青山銑太郎水野信三郎ハ任期滿了
一監事伊藤牧三郎ハ同日重任ス
一監事ニ同日左ノ者就任ス
　興語捨左ヱ門　愛知郡長久手村大字前熊字西脇四十九番地
　加藤茂三郎　同所九十七番戶
　近藤金造　同所字原山八十九番地

●有限責任瀨戶北部信用組合變更
一理事加藤傳兵衞加藤嘉七郎水野憲吾加藤覺助川本彬吉齋藤勝四郎加藤中武水野甚藏ハ昭和九年一月二十一日各重任ス
一理事ニ同日左ノ者就任ス
　今井兵九郎　瀨戶市大字瀨戶二百四十四番地

●保證責任稻葉信用販賣購買組合變更
一理事松原治三郎松原憲太郎松原小三郎及監事全員任期滿了ス
一理事水野覺三郎ハ昭和九年一月二十三日重任ス
一理事ニ同日左ノ者就任ス
　松原鋒太郎　東春日井郡旭村大字稻葉十番戶
　水野由太郎　同所甲二十三番戶
　松原傳三郎　同所七百四十四番地
　加藤鍵松　同所千二百六十一番地
一監事ニ同日左ノ者就任ス
　松原治三郎　東春日井郡旭村大字稻葉二百八十六番地
　松原宮助　同所六百二十八番地
　加藤吉太郎　同所千八百七十六番地
昭和九年二月二十一日登記　名古屋區裁判所瀨戶出張所

●窯業組合設立
一名稱　有限責任乏炭礦購買組合
一組織　有限責任
一事務所　東春日井郡高藏寺町大字出川二千百六十七番地

第2167号　本文

一目的 組合員ノ經濟ニ必要ナル物ヲ買入レ之ニ加工シ若ハ加工セスシテ組合員ニ賣却スルコト
一設立許可ノ年月日 昭和九年一月二十三日
一出資一口ノ金額 金十圓
一出資拂込ノ方法 出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金一圓トス第一回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外出資一口毎ニ毎年六月末及十二月末迄ニ金一圓宛拂込ムモノトス組合員ハ前二項ノ金額ヲ超エテ任意ニ拂込ヲ爲スコトヲ得
一理事ノ氏名住所
加藤 林 東春日井郡高藏寺町大字出川二千百六十七番地
松浦 正之 同郡同町大字松本二百九十二番地
大島 吉聰 同郡同町大字出川十番地
川本勇太郎 同郡同町同大字二千百六十七番地
中野鎌三郎 同郡同町大字神明四百八十三番地
一監事ノ氏名住所
兵頭 勳 東春日井郡高藏寺町大字高藏寺千四百四十番地ノ一
近藤粂三郎 同郡篠木村大字大泉寺新田八十三番地
大島 國一 同郡高藏寺町大字出川十六番地
松浦 秀雄 同郡同町大字松本三十七番戶
杉山 定助 同郡篠木村大字大泉寺新田八十三番地
一存立ノ時期 二十箇年
一區域 東春日井郡高藏寺町坂下町篠木村
昭和九年二月二十二日登記

●保證責任高藏寺町信用販賣購買利用組合變更
一理事松本春一ハ昭和九年一月二十三日辭任ス
一理事ニ昭和九年一月二十七日左ノ者就任ス
松本鎌三郎 東春日井郡高藏寺町大字高藏寺七百九十九番地
昭和九年二月二十三日登記 名古屋區裁判所勝川出張所

●保證責任常普請信用購買組合變更
理事監事全員任期滿了理事舟橋藤三郎舟橋錠太郎舟橋榮三郎山田金治郎勝田清吉堀尾周三郎ハ昭和九年一月二十五日重任ス
監事舟橋秀一谷口宇兵衛ハ昭和九年一月二十五日重任シ同日左ノ者監事ニ就任ス
谷口兼重 西春日井郡北里村大字市之久田四百八十番地

●保證責任小牧町十五信用組合變更
昭和九年一月二十四日左ノ者理事ニ就任ス
鈴木健吉 東春日井郡小牧町大字南外山六番戶
以上昭和九年二月二十二日登記 名古屋區裁判所小牧出張所

●有限責任瀨部信用販賣購買利用組合變更
監事宮田千代藏能澤一三之助能澤元三郎ハ昭和九年一月二十六日重任ス
昭和九年二月二十三日登記 一宮區裁判所

●保證責任石橋信用販賣購買利用組合變更
一理事全員昭和九年一月二十五日任期滿了
一理事ニ昭和九年一月二十五日左ノ者就任ス
森本 耕 中島郡稻澤町大字石橋七百八十六番地
住田仁三郎 同郡同町大字木全五百十八番地
磯野 孫七 同郡同町大字石橋八百七番地
磯野 悅二 同郡同町同大字六百六十一番地
磯野 啓一 同郡同町同大字茶江六百六十一番地ノ一
三輪孫三郎 同郡同町同大字七百七十九番地
昭和九年二月二十三日登記 一宮區裁判所稻澤出張所

●有限責任半田信用販賣購買組合變更
一理事中埜半六渡邊鎌太郎青木久吉榊原富藏堀崎定藏日比直八ハ昭和九年一月二十六日各重任シ同日理事ニ左ノ者就任ス
榊原久一郎 知多郡半田町字西鄕十九番地
榊原文治郎 同郡同町三百二十六番戶
小栗 七郎 同郡同町字中村八番地

●有限責任成岩在鄕軍人信用組合變更
一理事北村衛平榊原清三森與一竹本重利石川勝三郎杉江義造岩田武一郎ハ昭和九年一月二十六日各重任ス
一監事本多賢治山田正行二宮卯吉ハ同日各重任シ同日監事ニ左ノ者就任ス
岩田傳太郎 知多郡成岩町字東馬場百四十二番地
昭和九年二月二十三日登記 半田區裁判所

●有限責任小鈴谷信用購買販賣利用組合變更
理事監事全員任期滿了 理事ニ昭和九年一月二十八日左ノ者就任ス
鈴木俊二 知多郡小鈴谷村大字小鈴谷字夕灘三十九番地ノ二 山本兵七 同所字北山下四十五番地 田崎鐵之助 同所字荒子百十五番地 中村伊藏 同所字梶田六十九番地 山崎源助 同所百九番戶
監事ニ同日左ノ者就任ス 伊藤與右エ門 同所字梶田五十九番地 森田亮三 同所字梶田一番地

●有限責任坂井信用販賣購買利用組合變更
理事監事全員任期滿了
理事ニ昭和九年一月二十七日左ノ者就任ス
片岡與五郎 知多郡小鈴谷村大字坂井字西側四十五番地 片岡勘兵衞 同所同字四十二番地 久海東久助 同所同字四十九五十合番地 山本與平 同所字東垣內三十九番地ノ第二 山本福次郎 同所字向井二十六番地
監事ニ同日左ノ者就任ス
永田喜三郎 同所二十一番戶 山本喜助 同所字向井十八番地 永田末二 同所字蛭沼三十六番地
昭和九年二月二十四日登記 半田區裁判所常滑出張所

●有限責任緒川新田信用購買販賣組合變更
一存立時期ヲ昭和九年二月二十三日 三十箇年トス
昭和九年二月二十四日登記 半田區裁判所緒川出張所

●保證責任河野信用販賣購買利用組合變更
理事杉山亮作ハ昭和九年一月十七日辭任ス
監事杉山仙吉ハ同日辭任ス
理事ニ同月二十四日左ノ者就任ス
石川一儀 碧海郡矢作町大字河野三十番戶
監事ニ同日左ノ者就任ス
杉山勝之助 同郡同町大字河野字藤野鄕三十番地

●保證責任永覺信用販賣購買利用組合變更
理事天野利三中根和喜知鶴田彙松ハ昭和九年一月十五日辭任ス
監事全員昭和九年一月二十二日任期滿了
理事ニ同年同月二十三日左ノ者就任ス
中根許次郎 碧海郡上鄕村大字永覺新鄕字平子六番第一地
清水 了逸 碧海郡上鄕村大字永覺新鄕字下山畑六十九番地
監事ニ同日左ノ者就任ス
成田 擊治 同所字東譯二十五番地
鶴田 常松 同所字東譯五十六番地
天野 利三 同所字宮西二十九番地ノ一
岡田銀三郎 同所字鉤小路二十二番地
昭和九年二月二十二日登記

●保證責任六ッ美第三信用販賣購買利用組合變更
監事渡邊來助加藤常太郎岩瀨忠次ハ昭和九年一月二十五日退任シ同鶴田勝藏杉浦藤三郎ハ同年一月二十六日重任ス
監事ニ同日左ノ者就任ス
鍋田紀之 碧海郡六ッ美村大字中島字本町三十四番地

磯谷悔次 同郡同村大字國正字西浦七十四番地
河口倉吉 同所字前田二十七番五十二番合併地
昭和九年二月二十四日登記 岡崎區裁判所

●保證責任相見信用購買組合變更
一理事伊奈春之亟ハ昭和九年一月二十八日辭任ス
右昭和九年二月二十四日登記 岡崎區裁判所福岡出張所

●有限責任吉原信用販賣購買利用組合變更
一理事山崎竹市ハ昭和九年一月二十一日辭任ス
一監事野場兼市ハ同日辭任ス
一理事ニ同月二十七日左ノ者就任ス
野場兼市 碧海郡高岡村大字吉原字屋敷畠百三十番地
一監事ニ同日左ノ者就任ス
石川孝平 同所字平池七十二番地ノ二
山內鈴一 碧海郡高岡村大字吉原字屋敷畠百七十三番地

●有限責任泉田信用販賣購買利用組合變更
一理事神谷數平ハ昭和九年一月二十四日辭任ス
一理事ニ昭和九年一月二十六日左ノ者就任ス
岡本要助 碧海郡富士松村大字逢見三百二十八番戶
一監事全員任期滿了ニ付 昭和九年一月二十六日左ノ者監事ニ就任ス
小林元吉 碧海郡富士松村大字逢見字市場屋敷七十一番地
早川喜一 同所字向畑十五番地
昭和九年二月二十三日登記

●有限責任元刈谷信用販賣購買利用組合變更
一理事ニ昭和九年一月二十七日左ノ者就任ス
江川最三 碧海郡刈谷町大字元刈谷字南屋敷百番地
一監事全員任期滿了ニ付 同日左ノ者監事ニ就任ス
渡邊源次郎 碧海郡刈谷町大字元刈谷字南屋敷五十二番地
鈴木 總治 同所字西屋敷六番地
久米兵之助 同字三十五番地
昭和九年二月二十四日登記 岡崎區裁判所知立出張所

●保證責任藤井信用販賣購買利用組合變更
一目的ヲ昭和九年二月十六日左ノ通リ變更ス
一組合員ニ產業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト

二組合員ニ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及組合員ト同一ノ家ニ在ル者公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若クハ團體ノ貯金ヲ取扱フコト
三組合員ノ委託ヲ受ケ其ノ生產シタル物ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ販賣スルコト
四組合員ノ產業又ハ經濟ニ必要ナル物ヲ買入レ之ニ加工シ又ハ加工セスシテ組合員ニ賣却スルコト
五組合員ヲシテ產業又ハ經濟ニ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト
六農業倉庫業法ニ依リ農業倉庫ノ經營ヲ爲スコト

●保證責任寺津信用販賣購買組合變更
一理事監事全員任期滿了
一理事齊藤吉右ニ門天野十作澤淸太郎內田茂助小林宗太郎沖田伊松杉浦幸平ハ昭和九年一月二十二日重任シ同日左ノ者理事ニ就任ス
澤喜一郎 幡豆郡寺津町大字刈宿十七番戶
岩瀨甚助 同所大字亘海字宮東七十八番地
一監事杉浦彥助山崎平三郎鈴木兼太郎ハ昭和九年一月二十二日重任シ同日左ノ者監事ニ就任ス
鈴木仁市 幡豆郡寺津町大字亘海字南河原八十番地
宮地太平 同所大字寺津字龜井四十七番地
昭和九年二月二十二日登記

●有限責任米津信用販賣購買利用組合變更
一監事市川正太郎岸本榮米津碧岩崎重一郎ハ昭和九年一月二十七日重任ス
昭和九年二月二十三日登記 岡崎區裁判所西尾出張所

●保證責任一色東部信用販賣購買組合變更
理事監事全員任期滿了
理事ニ德倉光治鈴木治光山本新吉伴豐三郎榊原和三郎都築彌六伊藤忠治郎太田登平鳥居俊平ハ昭和九年一月二十五日重任シ同日左ノ者理事ニ就任ス
藤井 良平 幡豆郡一色町大字生田字亘海地十番地
中村照太郎 同郡同町大字酒手島字西上通三番地
榊原助市郎 同郡同町大字池田字彌惣三十四番地
神谷宗四郎 同郡同町大字野田字は回輪三十四番地
加藤 晴 同郡同町大字對米字七古新田五十九番地
監事全員任期滿了
監事ニ三宅平六平井讓治ハ昭和九年一月二十五日重任シ同日左ノ者監事ニ就任ス
大塚吉三郎 幡豆郡一色町大字生田字一ノ切二十番地
伴 民三郎 同郡同町大字松木島字九軒前十六番地
山崎平三郎 同郡同町大字池田字丑新田二十六番地
昭和九年二月二十二日登記

●保證責任一色西部信用販賣購買組合變更
理事ニ三矢健治高須淸五郎杉浦初吉倉內語三郎石倉勘次郎田中彌平都築市郎右衞門山下助左衞門ハ昭和九年一月二十六日重任ス
監事ニ高須彥三郎前田武兵三矢又市有馬文四郎原田庄次郎平岩德治郎ハ昭和九年一月二十六日重任ス
昭和九年二月二十三日登記 岡崎區裁判所一色出張所

●保證責任室場信用販賣購買組合變更
理事監事全員任期滿了ニ付昭和九年一月二十五日左ノ者就任ス
理事 杉浦三四郎 幡豆郡室場村大字室村字上屋敷五十九番地
同上 本田重治郎 同郡同村大字駒場字屋敷五番地
同上 太田 重吉 同郡同村大字善明字本鄕二十一番地
同上 小笠原兵三郎 同郡同村大字花藏寺四十八番戶
同上 近藤 正一 同郡同村大字平原字仲深四十七番地
同上 山本太三郎 同郡同村大字家武五十番戶
監事 小倉圓治郎 同郡同村大字字厚札木七十九番地
同上 磯谷梶之助 同郡同村大字室村字上屋敷四十九番地ノ一
右昭和九年二月二十二日登記 岡崎區裁判所橫須賀出張所

●有限責任猿投村東部信用販賣購買利用組合變更
一理事全員任期滿了ニ付昭和九年一月二十日左記ノ者就任ス
生田金市 西加茂郡猿投村大字西廣瀨十九番戶
生田今吉 同所百八十番地
安藤多市 同所四百二十五番地
一監事全員任期滿了ニ付同日左記ノ者就任ス
近藤重治 同所乙三十七番戶
梅村爲男 同所四百二十三番地
杉山德三 同所二百四十番地

●有限責任八草信用購買組合變更
一理事全員任期滿了ニ付伊藤重男粕谷八五郎ハ昭和九年一月二十一日各重任シ同日左記ノ者理事ニ就任ス
粕谷虎次郎 西加茂郡保見村大字八草字荒山六百七十六番地
一監事神谷仁三郎鈴木光太郎ハ同日各重任ス
以上右昭和九年二月二十二日登記

●有限責任保見信用組合變更
一監事ニ昭和九年一月二十五日左記ノ者就任ス
淺井源七 西加茂郡保見村大字上伊保字御山前三番地
昭和九年二月二十三日登記 岡崎區裁判所擧母出張所

●保證責任道慈信用販賣購買組合變更
理事ニ昭和九年一月二十二日左ノ者就任ス
成瀨幹次 西加茂郡小原村大字千洗二百二十八番地
昭和九年二月二十二日登記

●保證責任小原中央信用購買組合變更
理事ニ昭和九年一月二十一日左ノ者就任ス
山田治郎一 西加茂郡小原村大字永太郎五十六番地

●有限責任小原大正信用組合變更
理事大島仁平ハ住所ヲ昭和八年十月十三日左ノ通變更ス
西加茂郡小原村大字日面百五十九番地
昭和九年二月二十三日登記 岡崎區裁判所藤岡出張所

●保證責任市田信用購買組合變更
理事監事全員任期滿了
理事ニ昭和九年一月二十五日左ノ者就任ス
早川宅治 寶飯郡八幡村大字市田字上之島二十番地
理事早川隆雄早川廣司寺部重吉ハ同日重任ス
監事ニ同日左ノ者就任ス
若山貞次 寶飯郡八幡村大字市田字中之島四十番地
寺部保藏 同所同字五十六番地
右昭和九年二月二十二日登記 豐橋區裁判所御油出張所

●保證責任牛久保信用組合變更
一監事全員昭和九年一月二十四日任期滿了
一監事ニ同年同月二十七日左ノ者就任ス
細井小一郎 寶飯郡牛久保町大字牛久保字八幡口六十九番地
中神 鶯郎 同所字常盤百三十九番地
永田 三勝 同所大字中條字大道十六番地ノ二
石黑 廣吉 同所大字下長山字北側五十八番地
市川三之作 同所大字瀨木字鄉中四十三番地
右昭和九年二月二十三日登記 豐橋區裁判所豐川出張所

●保證責任川手信用購買組合變更
一監事松井善太郎ハ昭和九年一月二十六日辭任ス

●保證責任段嶺電氣利用組合變更
一理事及監事全員任期滿了ニ付昭和九年一月二十六日理事ニ左ノ者就任ス
熊谷源治郎 北設樂郡段嶺村大字田峯字鐘鑄場十九番地
增岡 武七 同所字大平四十六番地
小林佐代吉 同所字根古五番地
山村 房三 同所字後貝津八番地
羽谷 晋彌 大字三都橋字北久後五十一番地
伊藤 力作 同所字上竹平二十六番地
原田 茂雄 同所字德白十九番地
澤井權三郎 同所字東畑六番地
一監事ニ同日左ノ者就任ス
小野田孝重 北設樂郡段嶺村大字田峯五十六番戶
加藤 源一 同所字手龍前五十番地
羽谷長治郎 大字三都橋字仲屋切三十八番地
河合 幸一 同所字行戶二十四番地ノ一
河合三津造 同所四十八番戶
以上昭和九年二月二十四日登記 新城區裁判所田口出張所

●產業組合設立
一名稱 保證責任櫛形村信用販賣購買利用組合
一組織 保證責任
一區域 安濃郡櫛形村
一事務所 安濃郡櫛形村大字分部千百九十五番地
一目的
一組合員ニ產業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト
二組合員ニ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及組合員ト同一ノ家ニ在ル者公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ノ貯金ヲ取扱フコト
三加入豫約者ノ貯金ヲ取扱フコト
四組合員ノ委託ヲ受ケ其ノ生產シタル物ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ販賣スルコト

第 2167 号 本文

五組合員ノ產業又ハ經濟ニ必要ナルモノヲ買入レ之ニ加工シ若ハ加工セスシテ又ハ之ヲ生產シテ組合員ニ賣却スルコト
六組合員ヲシテ產業又ハ經濟ニ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト
七農業倉庫業法ニヨリ農業倉庫ノ經營ヲ爲スコト
一設立許可年月日　昭和九年一月十九日
一出資一口ノ金額　金三十圓
一出資拂込ノ方法　出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金三圓以上トス第二回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外出資一口毎ニ毎年六月末日及十二月末日迄ニ金二圓五十錢以上宛拂込ムモノトス
一存立ノ時期　定メナシ
一理事ノ氏名住所
田中勝一郎　安濃郡櫛形村大字小舟四百十五番地
別所喜十郎　同郡同村大字分部三十八番屋敷
別所安之助　同所四十八番屋敷
小林平三郎　同所四百二十五番地
藤田善輔　同所二百九十五番地
谷中喜七　同所二千五十八番地
田中常松　同郡同村大字小舟四百四十七番地
濱地次雄　同郡同村大字殿村七百七十二番地
青木嘉兵衞　同所千七番地
野田重三郎　同郡同村大字產品百七十二番地
一監事ノ氏名住所
坂口彌一郎　安濃郡櫛形村大字分部千二十七番地
別所友治郎　同所七十八番屋敷
上杉惣吉　同所四百二十一番地
讃川平八　同上二百四十二番地
谷德次郎　同上二千四十六番地ノ一
田中新次郎　同郡同村大字小舟四百二十六番地
小西彌右エ門　同上大字殿村千四番地
森川善藏　同所四百十九番地
野田利吉　同上大字產品百十六番地
昭和九年二月十七日登記　安濃津區裁判所村主出張所

●產業組合設立
一名稱　保證責任庄野村信用販賣購買利用組合
一組織　保證責任
一事務所　鈴鹿郡庄野村大字庄野一千五百七番地ノ二
一目的
一組合員ニ產業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト
二組合員ニ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及組合員ト同一ノ家ニ在ル者公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ノ貯金ヲ取扱フコト
三加入豫約者ノ貯金ヲ取扱フコト
四組合員ノ委託ヲ受ケ其ノ生產シタル物ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ販賣スルコト
五組合員ノ產業又ハ經濟ニ必要ナル物ヲ買入レ之ニ加工シ若ハ加工セスシテ又ハ之ヲ生產シテ組合員ニ賣却スルコト
六組合員ヲシテ產業又ハ經濟ニ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト
七農業倉庫業法ニヨリ農業倉庫ノ經營ヲ爲スコト
一設立許可年月日　昭和八年九月十一日
一出資一口金額　金二十圓
一出資拂込ノ方法　出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金五圓以上トス第二回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外出資一口毎ニ毎年一月末及七月末日迄ニ金一圓五十錢以上宛拂込ムモノトス
一理事ノ氏名住所
三木幸吉　鈴鹿郡庄野村大字庄野千五百四十九番地
渡邊修　同郡同村大字庄野千五百二十番地
森口積雄　同郡同村大字汲川原二百三十二番地
浦川元吉　同郡同村大字汲川原百九十三番地
長野音吉　同郡同村大字庄野千六百三十八番地
伊藤券三　同郡庄野村大字庄野千五百四十番地
森下虎雄　同郡同村大字庄野五十三番屋敷
松本忠太郎　同郡同村大字庄野二千十五番地
一監事ノ氏名住所
伊東濟一　鈴鹿郡庄野村大字庄野千六百四十五番地
辻信一　同郡同村大字庄野千七百二十九番地
國分又右衞門　同郡同村大字汲川原二百五十九番地
一區域　鈴鹿郡庄野村
右昭和九年二月二十一日登記　安濃津區裁判所亀山出張所

●產業組合設立
一名稱　保證責任高岡信用販賣購買利用組合
一組織　保證責任
一事務所　一志郡高岡村大字高野千百九十八番地ノ二
一目的
一組合員ニ產業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト
二組合員ニ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及組合員ト同一ノ家ニ在ル者公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ノ貯金ヲ取扱フコト
三加入豫約者ノ貯金ヲ取扱フコト
四組合員ノ委託ヲ受ケ其ノ生產シタル物ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ販賣スルコト
五組合員ノ產業又ハ經濟ニ必要ナル物ヲ買入レ之ニ加工シ若ハ加工セスシテ又ハ之ヲ生產シテ組合員ニ賣却スルコト
六組合員ヲシテ產業又ハ經濟ニ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト
七農業倉庫業法ニヨリ農業倉庫ノ經營ヲ爲スコト
一區域　一志郡高岡村一圓
一出資一口ノ金額及拂込ノ方法
一出資一口ノ金額　金二十圓
二出資拂込方法　出資第一回拂込金額ハ一口ニ付金二圓以上トス第二回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外出資一口毎ニ毎年六月末日及十二月末日迄ニ金一圓五十錢以上宛拂込ムモノトス
一設立許可ノ年月日　昭和八年十二月二十一日
一理事ノ氏名住所
寺島平次郎　一志郡高岡村大字高野百三十五番屋敷
稻垣當吾　同所千百八番地
伊藤靜松　同所二千二十一番屋敷
北林平吉　同所千三百九十四番地
西田幸三郎　同所十四番屋敷
野末善次郎　同所千百五番地
前嶋紀男　同村大字日置五番屋敷
前川清　同村大字田尻六十九番屋敷
尾山德松　同所六十七番屋敷ノ一
松浦弘德　同所六十五番地
長江兼之助　同村大字其倉百九十六番地
一監事ノ氏名住所
喜田川要三郎　一志郡高岡村大字高野千三百二十二番地ノ一
大市喜三郎　同所千百三十九番地
脇田國三郎　同所千百十一番地
金児庫太郎　同村大字田尻四十番屋敷
前川幸雄　同所五百三十四番地
前川方三郎　同村大字日置三百六十四番地ノ二
昭和九年二月十九日登記

●保證責任北招信用販賣購買利用組合變更
監事平田利貴久世正ハ昭和九年一月十七日重任ス

●保證責任高茶屋信用販賣購買利用組合變更
理事二名竝監事全員任期滿了ノ處監事前川藤次郎ハ昭和九年一月二十九日重任シ左ノ者同日理事監事ニ新任ス
理事　奧山文雄　一志郡高茶屋村大字小森七百七十番地
同　日々野宗吉　同所千六百五十三番地
監事　世古萬之助　同所八百番地
同　金児留吉　同村大字小森上野十八番屋敷
昭和九年二月二十二日登記　安濃津區裁判所久居出張所

●產業組合設立
一名稱　保證責任家城信用販賣購買利用組合
一組織　保證責任
一事務所　一志郡家城村大字南家城千四百四十番地ノ二
一目的
一組合員ニ產業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト
二組合員ニ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及組合員ト同一ノ家ニ在ル者公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ノ貯金ヲ取扱フコト
三加入豫約者ノ貯金ヲ取扱フコト
四組合員ノ委託ヲ受ケ其ノ生產シタル物ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ販賣スルコト
五組合員ノ產業又ハ經濟ニ必要ナル物ヲ買入レ之ニ加工シ若ハ加工セスシテ又ハ之ヲ生產シテ組合員ニ賣却スルコト
六組合員ヲシテ產業又ハ經濟ニ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト
七農業倉庫業法ニヨリ農業倉庫ノ經營ヲ爲スコト
一設立許可ノ年月日　昭和八年十一月二日
一出資一口ノ金額　金二十圓
一出資拂込方法　出資第一回拂込金額ハ一口ニ付金二圓以上トス第二回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外出資一口毎ニ毎年六月末日及十二月末日迄ニ金二圓以上宛拂込ムモノトス
一理事ノ氏名住所
海野昇一　一志郡家城村大字南家城千二十八番地
岩崎德三郎　同所千四百十六番地
若脇三郎　同所千九十三番地ノ一
島田林之助　同所千四十三番地
松森久次郎　同所九百五十九番地
中西三藏　同所三百七十一番地
藤岡惣右衞門　同所四十九番地
安田俊輔　同村大字北家城三百九十五番地
岩脇才五郎　同村大字藤二百九十一番地
樹田猶之助　同村大字二俣六百五十六番地
永田德造　同村大字眞見二十二番屋敷

一監事ノ氏名住所
海野一　一志郡家城村大字南家城千七十四番地
天花寺長三郎　同所千三十三番地
山本龜藏　同村大字北家城三百四番地
鏡增吉　同村大字藤百六十二番地
若林諒次　同村大字二俣四十三番屋敷
眞柄惣吉　同村大字眞見二百十一番地
一區域　一志郡家城村一圓

●保證責任境信用販賣購買利用組合變更
一理事小林駒三ハ昭和九年一月二十七日辭任シ左記ノ者同年二月一日理事ニ就任ス
尾島忠兵衞　一志郡境村大字福田山八百三十二番地
右昭和九年二月十七日登記　安濃津區裁判所川口出張所

●保證責任須淵信用販賣購買利用組合變更
一昭和八年十二月二十六日認可ニ依リ目的名稱組織存立ノ時期出資拂込ノ方法ヲ左ノ通リ變更ス
一名稱　保證責任須淵信用販賣購買利用組合
一組織　保證責任
一目的
一組合員ニ產業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト
二組合員ニ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及組合員ト同一ノ家ニ在ル者公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ノ貯金ヲ取扱フコト
三加入豫約者ノ貯金ヲ取扱フコト
四組合員ノ委託ヲ受ケ其ノ生產シタルモノニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ販賣スルコト
五組合員ノ產業又ハ經濟ニ必要ナル物ヲ買入レ之ニ加工シ若ハ加工セスシテ又ハ之ヲ生產シテ組合員ニ賣却スルコト
六組合員ヲシテ產業又ハ經濟ニ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト
七農業倉庫業法ニ依リ農業倉庫ノ經營ヲ爲スコト
一存立ノ時期　存立ノ時期ハ之ヲ定メス
一出資拂込ノ方法　出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金二圓以上トス第一回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外出資一口毎ニ毎年六月末日及十一月末日迄ニ金二圓以上宛拂込ムモノトス
昭和九年二月二十一日登記　安濃津區裁判所多氣出張所

●產業組合設立
一名稱　保證責任勢南乾繭共同販賣利用組合
一組織　保證責任
一事務所　三重縣松阪市大字松阪殿町千三百十五番地
一目的
一組合員ノ委託ヲ受ケ其生產シタル繭ニ加工シ又ハ加工セスシテ販賣スルコト
二組合員ヲシテ乾繭及其ノ保管ニ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト
三農業倉庫業法ニ依リ農業倉庫ノ經營ヲ爲スコト
一設立許可ノ年月日　昭和八年十一月一日
一出資一口ノ金額　金十圓
一出資拂込ノ方法　出資第一回拂込金額ハ一口ニ付金五圓トス第二回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外出資一口毎ニ毎年六月末及十一月末迄ニ各金一圓以上ヲ拂込ムモノトス
一理事ノ氏名住所
小出三郎　松阪市大字松阪殿町千三百八十五番地
森本彥次郎　飯南郡宮前村大字宮前七百四十八番地ノ一
龜井正雄　同郡松尾村大字藤三木百十番地
竹川新太郎　同郡射和村大字射和二百八十四番地
川村宗平　同郡西黒部村大字西黒部三千八十九番地
寺島晉次郎　一志郡高岡村大字高野百三十五番地
瀧川利雄　同郡竹原村大字竹原三千四百九十三番地
粕谷貞祐　同郡中郷村大字矢下二百五十番地
本居政章　同郡中原村大字田村十番屋敷
田中英一郎　同郡小野江村大字小野江百三十番地
川村克巳　多氣郡東黒部村大字東黒部五百五十八番地
高山達　同郡五ケ谷村大字朝柄二千六百六十三番地ノ一
尾上仲松　同郡三瀨谷村大字佐原二十二番屋敷
久保平一郎　北牟婁郡赤羽村大字島原百三十八番屋敷
一監事ノ氏名住所
奧村孝夫　一志郡太郎生村百十九番屋敷
尾家平太郎　多氣郡齋宮村大字平尾十三番屋敷
家城常助　飯南郡伊勢寺村大字伊勢寺五十八番地
一存立ノ時期　定メナシ
一區域　松阪市一志郡飯南郡北牟婁郡多氣郡
昭和九年二月十三日登記　松阪區裁判所

●保證責任粥見興產信用販賣購買利用組合變更
一理事一名缺員ノ處昭和九年一月二十七日總代會ニ於テ左記ノ者ヲ選任シ同年二月一日就任ス
大久保源之助　飯南郡粥見町大字粥見二千二百七十七番地
一監事一名缺員ノ處昭和九年一月二十七日總代會ニ於テ左記ノ者ヲ選任シ同年二月一日就任ス
倉田米之助　飯南郡粥見町大字粥見三千九百十五番地ノ一
昭和九年二月二十一日登記　松阪區裁判所粥見出張所

●有限責任相可信用購買販賣利用組合變更
一理事中西嘉市奧村一男ハ昭和九年二月三日辭任ス
一理事二名缺員中ノ處昭和九年二月九日左記ノ者就任ス
理事　野口德之助　多氣郡相可町大字荒蒔二百三十八番地
同　岡井貞藏　同郡同町大字東池上三百六十九番地
右昭和九年二月二十二日登記　松阪區裁判所相可出張所

●保證責任坂本畜牛販賣購買利用組合事務所移轉
一昭和八年四月十五日事務所ヲ左ノ地ニ移轉ス
三重縣多氣郡上御絲村大字坂本千三百五十六番地
右昭和九年二月十三日登記

●保證責任明星信用販賣購買利用組合變更
一理事西尾七兵衞ハ昭和九年一月三十一日辭任ス

●保證責任坂本畜牛販賣購買利用組合變更
一監事北敷安次郎前山甚吉山崎辰次郎任期滿了ノ處昭和九年一月二十三日總會ニ於テ全員再選同日各重任ス

●保證責任大淀信用販賣購買利用組合變更
一理事監事全員任期滿了ノ處昭和九年一月二十五日總會ニ於テ理事ニ世古口吉五郎監事ニ山口總七ヲ再選シ左ノ者ヲ選任同日各就任ス
理事　山口甚市　多氣郡大淀町大字大淀甲八百七番地
理事　山口宗一　多氣郡大淀町大字大淀甲八百十七番地
監事　世古口長助　多氣郡大淀町大字大淀甲八百二十九番地
右昭和九年二月二十一日登記　松阪區裁判所齋宮出張所

●保證責任河原田信用販賣購買利用組合變更
一理事全員任期滿了ニ付昭和九年二月十一日左記ノ者理事ニ就任ス
石崎茂一　三重郡河原田村大字河原田二十三番地
岡田定治郎　同所百八十三番地
井上榮藏　同所二百二十三番地
能澤一作　同所二千三百三十七番地
長谷川新太郎　同所二千三百七十七番地
宮田杢右衞門　同所二千三百七十二番地
中島藤助　同郡同村大字貝塚三百五十三番地
加藤新治　同郡同村大字內堀十一番地
中島丈平　同郡同村大字川尻二千二百三十八番地
中村茂吉　同所二千三百五十三番地
伴定治郎　同郡同村大字大治田八百七十一番地
小林平治郎　同所五十二番屋敷
昭和九年二月二十一日登記　四日市區裁判所

●保證責任治田信用販賣購買利用組合變更
一理事全員任期滿了ノ處小森又市岡田寅之助美濃部數馬ハ昭和九年一月二十三日重任シ左記ノ者新ニ同日理事ニ就任ス
伊藤春太郎　員辨郡治田村大字新町九百六十七番地
羽場文一　同郡同村大字奧村百二十六番地
外川龜太郎　同郡同村大字垣內八百四十八番地
坂口茂　同郡同村大字東村二百六十七番地
一監事全員任期滿了ノ處辻春一武藤久一ハ同年一月二十三日重任シ左記ノ者新ニ同日監事ニ就任ス
葛山彥太郎　同郡同村大字垣內十五番屋敷
昭和九年二月二十日登記　四日市區裁判所阿下喜出張所

●保證責任神原信用販賣購買利用組合變更
一理事監事全員任期滿了ノ處理事稻葉愛之濱川陵次小柳誠三中村格藏山本剛藏西井孝太郎稻葉倣藏市川幸平監事甲澄七五三山本捨雄ハ昭和九年二月八日重任シ同日左記ノ者新タニ就任ス
理事　森本正雄　度會郡神原村大字山原二百二十八番地ノ二
昭和九年二月十五日登記　山田區裁判所五ケ所出張所

第 2167 号 本文

◎公示催告

群山府開福町二丁目八一番地
申立人 宋 奉 燮

左記表示ノ證券ニ付申立人ヨリ公示催告ノ申立アリタルニ付其ノ所持人ハ昭和九年九月三十日午前八時迄ニ當裁判所ニ權利ヲ屆出テ且該證券ヲ提出スヘシ若シ期日迄ニ屆出又ハ提出ヲ爲サヽル時ハ其ノ證券ノ無效ヲ宣言スルコトアルヘシ

昭和九年三月八日
全州地方法院群山支廳
朝鮮總督府判事 永田顯士

記

倉荷證券 證券番號	證券發行年月日	品質種類箇數及數量等
第八六七八號	昭和九年二月七日	昭和八年産朝鮮玄米百三十六叺平格四等 四斗入約五十四石四斗
第八六七九號	同年二月七日	同年産同玄米三百六十四叺平格三等 四斗入約百四十五石六斗
第八七七四號	同年二月九日	同年産同玄米百七叺平格三等 四斗入約四十二石八斗
第八七七五號	同年同月九日	同年産同玄米三百九十三叺平格四等 四斗入約百五十七石二斗
第八七九六號	同年同月十日	同年産同玄米五百叺平格三等 四斗入約二百石

寄託者群山府開福町二丁目八一番地 宋奉燮 證券發行者朝鮮米穀倉庫株式會社群山支店支店長 濱田政國

群山府幸町七番地
申立人 道本 善一

左記表示ノ證券ニ付申立人ヨリ公示催告ノ申立アリタルニ付其ノ所持人ハ昭和九年九月三十日午前八時迄ニ當裁判所ニ權利ヲ屆出テ且該證券ヲ提出スヘシ若シ期日迄ニ屆出又ハ提出ヲ爲サヽル時ハ其ノ證券ノ無效ヲ宣言スルコトアルヘシ

昭和九年三月八日
全州地方法院群山支廳
朝鮮總督府判事 永田顯士

記

證券ノ表示倉荷證券 證券番號第八二三〇號 證券發行年月日昭和九年一月二十四日 證券發行者群山府本町通四十六番地朝鮮米穀倉庫株式會社群山支店支店長濱田政國 寄託者道本善一 品質種類箇數及數量等 昭和八年産朝鮮玄米七十五叺不合格四斗入約三十石

◎失踪宣告

本籍及最後ノ住所青森縣西津輕郡大戸瀬村大字風合瀬字大磯七十八番地
不在者 熊谷辰之助
弘化元年二月三日生

右ノ者ニ對シ甥熊谷三之助ノ申立ニヨリ本日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ

昭和九年三月十四日
鰺ケ澤區裁判所

◎行旅死亡人

本籍住所職業氏名年齡不詳推定年齡二十六七年位ノ男丈五尺三寸位肉肥リ頭髮五分刈圓顏鼻隆ク齒揃フ著衣紺羅紗オーバ、黑サージ洋服毛糸ノ上下襯衣及莫大小襯衣ヲ著シ胴卷及猿股ヲ穿チ短靴所持品現金九十一錢ウヰスキー、アダリン錠入空罎ヲ所持一見學生風ニシテ上衣ノ釦ハ[illegible]ト刻シアリ

右本月二日本村内上戸田堤外荒川左岸ニ死亡シ居ルヲ發見假埋葬セリ心當リノ者ハ當役場ニ申出ツヘシ

昭和九年三月七日
埼玉縣北足立郡戸田村役場

本籍住所職業氏名年齡不詳推定年齡四十五年位ノ男丈五尺二寸位中肉頭髮五分刈顏細ク眼凹ミ鼻隆ク其他並齒揃フ著衣夏霜降上衣ゴール天及白ノ襯衣メリヤスズボン下縞ノズボンヲ穿ツ足袋及鳥打帽子茶ノ羅紗オーバヲ著ス一見職工體所持品ナシ

右去月十五日午後七時三十分頃本村大字芝地内字塚原東北本線東京起點二十一粁三百四十米突地點ニ於テ轢死ス檢視濟ノ上本村大字芝長德寺墓地ニ假埋葬セリ心當リノ者ハ當役場ニ申出テラルヘシ

昭和九年三月七日
埼玉縣北足立郡芝村役場

本籍氏名不詳女乞食體推定年齡六十五歲位身長四尺九寸顏圓目耳鼻口並色黑頭髮短ク刈ル齒上下ニ四本ヲ殘シテ脫落體格並著衣莫大小襦袢上下單衣一枚所持品ナシ

右本月二十六日本村大字岩船字寺山石穴内ニ於テ死亡セルヲ發見ニ付埋葬取計ヒ置ケリ心當リノ者ハ當役場ニ申出ツヘシ

昭和八年十二月二十七日
茨城縣東茨城郡岩船村役場

◎荷受人及荷送人不明荷物

左記荷物心當リノ向ハ當省ニ申出ツヘシ本公告後六月以内ニ其權利者ノ申出ナキ時ハ鐵道省其所有權ヲ取得ス

昭和九年三月
鐵道省

備考 荷物表示上ノ數字ハ捜索番號 其下ノ數字等ハ紛著又ハ發見ノ月日驛名等 △ハ紛著 ×ハ到著年月日事情等不明後發見ノモノ ※ハ一時預リ品受取方申出ナキモノ

一〇六二紙包海苔二、二七下關× 一〇六三牛皮三、二同△ 一〇六四布包蒲團等一、三〇東京× 一〇六五同上 一〇六六同上 一〇六七風呂敷包詰襟二、六同× 一〇六八同シヤツ等二、八同※ 一〇六九同二、二七同 一〇七〇トランクズボン等一、二三同× 一〇七一同袷等一、二八同※ 一〇七二同帽子等一、二七同 一〇七三行李袷等一、三〇同× 一〇七四同單衣等二、一〇同 一〇七五同浴衣等二、六同 一〇七六同錠付二、八同 一〇七七毛布二、七同※ 一〇七九袋入組立籐二、二一七松本× 一〇八〇同毛布等八、一二、二一吳× 一〇八一布包縕袍等二、一五大森× 一〇八二風呂敷包圖書二、一七名古屋※ 一〇八三同軍手等二、九大宮※ 一〇八四同袷等二、一七東北線郡山※ 一〇八五行李服類等二、一五福井× 一〇八六額緣二、一四名古屋※ 一〇八七鞄錠付二、七同× 一〇八八自轉車二、一六同 一〇八九餅二、二〇同 一〇九〇茶一、二八金澤× 一〇九一袋入タオル等一、二八上野※ 一〇九二紙包玩具二、四同 一〇九三同壜詰二、二〇同 一〇九四同タオル等二、一七同 一〇九五風呂敷包書籍等一、二一同 一〇九六同シヤツ等二、四同 一〇九七同足袋等一、二八同 一〇九八同襦袢等一、二七同 一〇九九同干柿二、四同 一一〇〇同菓子等二、二〇同 一一〇一海兵兒帶等一、二八同× 一一〇二同錠付一、二三同※ 一一〇三同書類等二、六同 一一〇四同錠付二、一一同 一一〇五行李信書等一、二七同 一一〇六同袷等二、一六同 一一〇七同ズボン下等二、三同※ 一一〇八同眞綿等二、一四同 一一〇九蓙包書籍等二、八大阪× 一一一〇毛布包敷布等二、九同※ 一一一一布包蒲團二、四同× 一一一二風呂敷包辨當入等二、二同※ 一一一三同シヤツ等二、五同 一一一四同服二、六同 一一一五同カラー二、七同 一一一六同白米二、一三同× 一一一七同漬物二、七同 一一一八同女帶等二、一五同※ 一一一九トランク銀行預金證書等二、七同× 一一二〇同錠付二、九同※ 一一二一同二、一同× 一一二二同二、九同 一一二三行李襦袢等二、二同 一一二四雨傘二、三同※ 一一二五洋傘二、一〇同 一一二六同二、四同 一一二七自轉車二、七同× 一一二八箱入漬物八、八、二七隅田川× 一一二九同八、八、二九同 一一三〇同八、八、一三同 一一三一同上 一一三二同八、八、二七同 一一三三同上 一一三四同上 一一三五同地圖等二、二一佐賀× 一一三六籠入蜜柑二、二〇博多※ 一一三七布包銘仙等八、一二、二八甲府× 一一三九紙包餅二、一六岐阜※ 一一四〇風呂敷包ジヤケツ等二、一五濱松※ 一一四一同下駄等二、八岐阜※ 一一四二同バンド等二、一〇三ノ宮※ 一一四三同盆等二、一一高圓寺※ 一一四四同雜誌等二、一〇廣島※ 一一四五同袷等一、二〇澁谷※ 一一四六同服等二、二〇別府※ 一一四七鞄帽子等二、一五博多※ 一一四八行李浴衣等一、二三佐賀× 一一四九傘二、一九名古屋※ 一一五〇自轉車二、一〇吳× 一一五一傘二、一五鹿兒島※

尙ホ詳細ハ最寄鐵道省停車場ニ就キ荷物彙報ヲ閲覽セラルヘシ

正誤

去月二十七日廣告ニ別刷產業組合登記ノ項中一九頁四段福岡區裁判所八百津出張所ノ部六行「岩井外一」ハ「岩井外市」同七行「九百五十番戸」ハ「九百五十五番戸」ノ孰モ誤植

◎外國郵便物東京中央郵便局締切日時表

普通書留 月日時	通常 月日時	小包 月日時	郵便船出帆港	船名
●南支那、香港、フィリピン群島、海峽殖民地、英領印度等行				
三、二七前八半	—	—	神戸	プレシデント、タフト號
同二八後七	三、二八後七半	三、二七前九半	門司	ありぞな丸
同二九前八半	同二八後一〇	同二七後四	同	長門丸
●加奈陀、米國、南米等行				
同二七後零一〇	同二七前一一、三〇	—	横濱	氷川丸
●布哇、米國、加奈陀、南米等行				
同二九後零一〇	同二九前一一、三〇	三、二八後一〇	同	大洋丸
同三〇後三、一〇	同三〇後三、三〇	同三〇前九半	同	プレシデント、クーリツヂ號
●香港、濠洲、新西蘭等行				
同三一前八半	同三〇後一〇	—	門司	ぶりすべん丸

（備考） 長門丸及ありぞな丸ノ小包ハ神戸局トス

九州電氣軌道株式會社第七回い號物上擔保附社債募集

今般當會社第七回物上擔保附社債總額貳千八百萬圓ノ内い號社債左記要項ニ依リ募集致候間御申込被下度候

昭和九年參月

小倉市京町參百五拾八番地ノ貳
九州電氣軌道株式會社

委託會社 九州電氣軌道株式會社
受託會社 株式會社日本興業銀行

社債總額 貳千八百萬圓

發行方法 社債總額ヲ數回ニ分チ發行ス

今回發行スヘキ金額 **い號社債金額八百萬圓**

各社債ノ金額 壹百圓、五百圓、壹千圓、五千圓及壹萬圓ノ五種無記名式利札附

發行價額 **額面壹百圓ニ付金壹百圓**

乘換應募 委託會社ノ發行ニ係ル左記社債ハ左ノ割合ヲ以テ拂込金(錢位未滿切捨)ニ代用スルコトヲ得

第五回社債(昭和九年四月拾五日渡以降利札附)ハ額面壹百圓ニ付金壹百貳圓八拾貳錢七厘參毛

社債ノ利率 **年四分五厘**

償還方法及期限 昭和九年五月參拾壹日迄据置キ其ノ後毎半年各利拂期日ニ金拾五萬圓以上ヲ償還又ハ買入銷却シ昭和拾四年四月五日迄ニ殘額全部ヲ償還ス但シ据置後ハ何時ニテモ繰上償還スルコトヲ得一部償還ハ抽籤ノ方法ニ依ル 買入銷却ハ何時ニテモ之ヲ爲スコトヲ得

利息支拂ノ方法及期限 毎年四月五日及拾月五日ノ貳回ニ前半箇年分ヲ利札引換ニ支拂フ但發行又ハ償還ノ場合ニ於テ半箇年ニ滿タサルトキハ日割ヲ以テ計算ス

元利金支拂場所 株式會社日本興業銀行本支店、株式會社第一銀行門司及久留米各支店、株式會社三井銀行門司及若松各支店、株式會社住友銀行小倉及博多各支店

信託證書ノ表示 昭和九年參月五日作成セル信託證書

物上擔保 昭和九年參月五日委託會社ト受託會社トノ間ニ締結セル信託契約ニ依リ委託會社所有自門司停留場(門司市)至折尾停留場(福岡縣遠賀郡折尾町)自大門停留場(小倉市)至戸畑停留場(戸畑市)自幸町停留場(戸畑市)至中央區停留場(八幡市)軌道財團ノ上ニ抵當權ヲ設定シ其ノ順位ヲ第貳番トス

委託會社ハ將來本社債ノ內第貳回分以下トシテろ號以下ノ社債ヲ發行シタルトキハ之ヲ以テ第六回擔保附社債總額貳千萬圓ヲ償還シ之ヲ擔保セル先順位ノ抵當權ノ登錄ヲ抹消シ本社債ノ抵當權ノ順位ヲ第壹番トナスモノトス

擔保ノ價格ニ關スル調査報告 受託會社株式會社日本興業銀行ノ查定ニ依レハ前記軌道財團ハ本社債元利金ヲ擔保スルニ足ル價格ヲ有ス

引受募集銀行 株式會社日本興業銀行、株式會社第一銀行、株式會社三井銀行、株式會社住友銀行

申込期間 **昭和九年參月貳拾六日ヨリ同貳拾八日マテ**
但期間中ト雖モ締切ルコトアルヘシ

申込證據金 金參圓(額面壹百圓ニ付)
但申込ノ際代用證券ヲ提供スルトキハ之ヲ要セス

募入方法 適宜募入額ヲ定ム

拂込又ハ代用證券提供期限 **昭和九年四月五日**

證券代用拂込超過額 昭和九年四月拾日現金ヲ以テ拂戻ヲ爲ス

未償還社債總額 貳千八百萬圓(昭和九年參月貳拾日現在)

資本金 五千六百萬圓(內參千七百九拾萬圓拂込濟)(昭和九年參月貳拾日現在)

現存財產 參千九百八拾四萬貳千參百四拾六圓拾壹錢(外ニ未拂込資本金壹千八百拾萬圓)(昭和八年拾壹月參拾日現在)

信託證書閲覽場所 委託會社及受託會社ノ本支店ニ於テ毎日營業時間中閲覽ニ供ス

取扱場所 株式會社日本興業銀行、株式會社第一銀行、株式會社三井銀行、株式會社住友銀行各本支店

日興證券株式會社、山一證券株式會社、野村證券株式會社、小池證券株式會社、共同證券株式會社、藤本ビル、ブローカー證券株式會社本支店

昭和九年參月

東京市麴町區丸ノ內壹丁目八番地壹
受託會社 株式會社 **日本興業銀行**

第2167号 本文

第 2167 号 本文

大獨日辭典

登張信一郎著 （内容見本進呈）

□四六倍大判函入洋布裝 三欄組一千七百八十頁 完成記念 價拾圓 送料五七錢

巨匠が畢生の心血を注いだ

之ぞ獨日の決定版!!

△壓倒的好評！ △大增刷出來！

青木昌吉博士……この辭典は、內容に於ても、形式に於ても、大辭典の體裁を兼備する點に於て、吾邦の獨逸語界にて、嚆矢の著であると言つて、敢て過言でない

吹田商大教授……吾獨逸語の研究者は言ふ迄もなく、一般の讀書子、專門學者は、本書に依て始めて永年の渴を醫す事が出來、正確な羅針盤を持ち得たわけである

大山京大講師……疑ひもなく今日最高のこのドイツ語辭典が出ることによつて、どれほどドイツ文化一般の理解と研究とが推し進められるかをおもふとき、僕はむしろ一種の興奮をさへ胸におぼえるのである

△本書の特色

1 收載語の範圍廣汎にして豐富
2 譯語は凡て平明適確な現代語
3 一切ラテン文字を用ひて組む
4 音標文字にて全語に發音記入
5 熟語・成句・固有名詞を網羅
6 新語・外國語を徹底的に採錄
7 各般の專門語・學術語を滿載
8 三欄組とし略符を各頁に略注

新式 登張信一郎著 特價三・八〇 **獨和大辭典** 普及版

新譯 登張信一郎著 特價二・八〇 **獨和辭典**

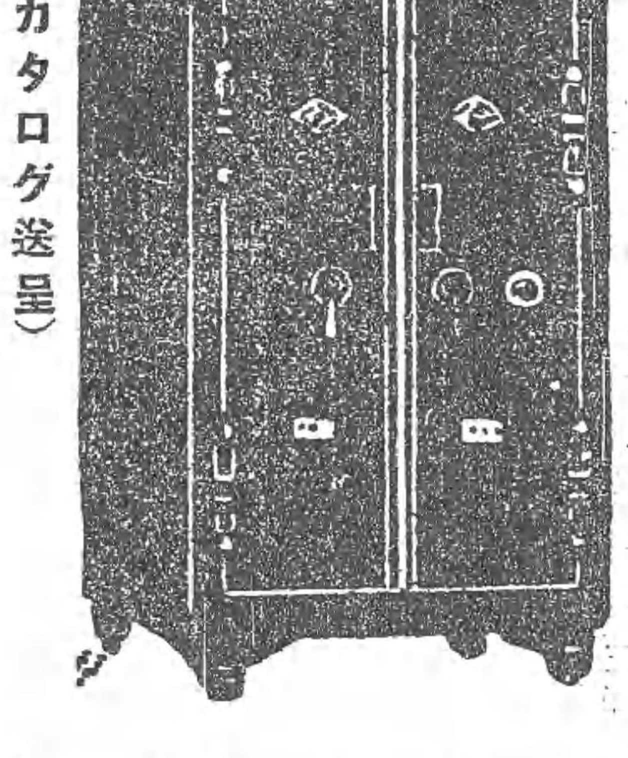
辻・大島共著 定價二・三〇 **添削式和文獨譯**

實用 大島俊一郎著 定價一・〇〇 **獨逸商業通信文**

東京日本橋茅場町

大倉書店

振替東京二三八番



平松の金庫

（カタログ送呈）

營業科目

御眞影奉安庫
ベント式高級金庫
平松輕量金庫
金庫室入口防火扉
高級手提金庫各種
鋼鐵製書庫

東京市淺草區諏訪町

合名會社 **平松金庫店**

電話淺草(84)〔一、六三四／七一、九六〕番
振替東京三一九八二番

社債繰上償還公告

當社第七回社債及元東京電力株式會社ゐ號社債ヲ左記ノ通リ全額繰上償還可致候間社債券並利札引換ニ元利金御受取被下度候但來ル四月十日發行當社第壹回物上擔保附い號社債ニ乘換募入分ハ之ヲ除ク

當社第七回社債
- 償還金額　總額貳千萬圓
- 償還金額　壹百圓券　貳圓九拾壹錢
- 端數利息　五百圓券　拾四圓五拾七錢
- 　　　　　壹千圓券　貳拾九圓拾五錢
- 　　　　　五千圓券　壹百四拾五圓七拾五錢
- 償還期日　昭和九年四月十一日
- 支拂場所　三井銀行本店及內地各支店
- 　　　　　安田銀行本店及横濱、名古屋
- 　　　　　京都、大阪、神戶各支店

元東京電力ゐ號社債
- 償還金額　總額壹千萬圓
- 端數利息　壹百圓券　八拾錢
- 　　　　　五百圓券　四圓也
- 　　　　　壹千圓券　八圓壹錢
- 　　　　　五千圓券　四拾圓六錢
- 償還期日　同上
- 支拂場所　三井銀行本店及內地各支店
- 　　　　　安田銀行本支店
- 　　　　　三井信託株式會社本支店
- 　　　　　安田信託株式會社本支店

昭和九年三月

東京電燈株式會社

◉昭和九年法令全書第貳號發行

內閣印刷局編纂

昭和九年三月二十六日發行

法令全書

全一册 定價金六十錢

郵送ヲ要スルモノハ別ニ送料四錢

外國郵便ニ依ルモノハ同二十錢ヲ要ス

本號登載法令ノ主ナルモノ左ノ如シ

宮內職員ノ懲戒免除ニ關スル件　出納官吏等ノ辨償責任ノ免除ニ關スル件　減刑令　復權令　官吏、官吏待遇者等ノ懲戒及懲罰ノ免除ニ關スル件　北海道地方費、府縣、市町村等ノ吏員、委員及役員ノ懲戒免除ニ關スル件　公證人、辯護士、司法代書人、辨理士及計理士ノ懲戒免除ニ關スル件　海技免狀ヲ受有スル者及水先人ノ懲戒免除ニ關スル件　出納官吏等ノ辨償責任ノ免除ニ關スル件　陸軍ニ於ケル懲罰ノ免除ニ關スル件　船舶安全法施行令　船舶安全法施行規則　船舶安全法施行規則ヲ外國船舶ニ準用ノ件　船舶設備規程　船舶區畫規程　木船構造規程　船舶機關規程　危險物船舶運送及貯藏規則　船舶滿載吃水線規程　船用品取締規則　船燈試驗規程　信號器試驗規程　救命器具試驗規程　救命艇手適任證書交付規則　防毒面試驗規程　船舶氣象觀測報告規則　九錢五厘郵便切手發行　消火器試驗規程　火災警報裝置試驗規程　漁船特殊規程　漁船特殊規則　漁船ノ業務認定ニ關スル件　樺太ノ町村長ノ統計事務處理ニ關スル件　昭和九年ニ於ケル徵募事務ノ特例ニ關スル件　火藥類取扱及火藥類作業主任者資格證明書交付規程

昭和九年三月

內閣印刷局

▲夜間講習生募集

四月九日開講 七月廿日終了

▲資格　滿廿歲以上、中學、高女卒業以上　▲願書締切　三月末日限

▲講習料　全期十五圓外一切不要（規則書願書用紙請求次第送付）

協調會 **社會政策學院**

東京芝公園 電話芝一、一三四

正科講座

- 社會學概論
- 經濟學概論
- 經濟思想史
- 政治思想史
- 法律思想史
- 社會政策及勞働問題
- 勞働法
- 農村問題
- 人口問題
- 社會事業
- 社會事業

綿貫哲雄氏　土方成美氏　高橋誠一郎氏　高橋清吾氏　我妻榮氏　膳桂之助氏　孫田秀春氏　小野武夫氏　上田貞次郎氏　矢吹慶輝氏　吉田茂氏　外ニ十一科目アリ

特別講座

- 農村振興策に就て　後藤文夫氏
- 現下の世界經濟問題　松岡均平氏
- 近世社會思想批判　小泉信三氏
- 轉換期に於ける各國政治動向　蠟山政道氏
- 國際場裡に於ける日本の地位　有馬良橘氏
- 青年教育の現況　田澤義鋪氏
- 日本精神に就て　今泉定助氏
- 本邦中小商工業問題　吉野信次氏

徽章

東京市九段下俎橋前

アキバ徽章商會

御一報次第新カタログ進呈

特許實施廣告

特許番號　第九一、九六三號

發明ノ名稱　廻轉錐

特許日附　昭和六年六月三十日

特許權者　ジヨン、アドルフ、ザブリン

右特許權ヲ相當ノ條件ニテ讓渡又ハ實施ヲ許諾可致候間御希望者ハ左記ヘ御照會相成度候

昭和九年三月

東京市丸ノ內三菱廿一號館

中松特許法律事務所 外國部

（電丸ノ內(23)一、九三〇番）

特許

國立工業試驗所耐熱試驗濟

大谷金庫

株式會社 **大谷金庫店**

東京 京橋區新富町

京都・大阪・神戶

公債償還公告

昭和九年三月三十一日償還スヘキ本市公債左記ノ通ニ付丁ろハ當市役所及山一證券株式會社ニ於テ其他ハ當市役所ニ於テ元利金ヲ支拂フ

- 壹千圓券ろ第貳號　同第壹壹號　同第壹五號　同第壹六號
- 同第貳〇號　同第參貳號　同第參五號　同第六〇號
- 同第六九號
- 壹千圓券へ第壹號
- 壹百圓券へ第壹號　同第貳號　同第參號　同第四號
- 五千圓券ち第壹號
- 壹千圓券ち第壹號　同第貳號　同第參號
- 壹千圓券り第壹號　同第貳號　同第參號　同第四號
- 五千圓券ぬ第壹號
- 壹千圓券ぬ第壹號　同第貳號
- 壹百圓券ぬ第壹號　同第貳號
- 五千圓券よ第壹號　同第貳號
- 壹千圓券よ第壹號　同第貳號　同第參號
- 壹千圓券そ第壹號　同第貳號
- 五千圓券お第壹號　同第貳號　同第九號　同第壹〇號

昭和九年三月

鹿兒島市役所

麻糸 麻綱 テープ 各種麻綿製經

麻綿製品

麻綿帆布 諸織物 經五品製造販賣

合名會社 **松浦經三商店**

（カタログ送呈）

大阪市北區空心町二丁目

電話堀川七六七・七七

工場 東成區東今里町

内閣印刷局編纂　最新版　全一冊　四四六頁

昭和九年一月一日現在

職員錄

定價二圓五十錢
送料不要
（外國郵便ニ依ル地域ハ三十六錢ヲ要ス）

本日より發賣

本錄は本年一月一日現在調を以て高等官、同待遇者及之に準ずる者を纂錄す
尚附錄として一月二日より三月五日までの期間に於ける勅任官以上竝に之に準ずる者の異動を添付せり
右希望の向は内地に在りては附近の官報販賣所へ、内地以外は前金添付當局官報課發賣掛へ申込まれたし

昭和九年三月

内閣印刷局
電話丸ノ内三五二——三五九
振替口座東京一九〇〇〇

各官報販賣所は二月二十八日本欄に掲載せり

明治二十五年三月三十一日　第三種郵便物認可

◉號外一昨二十四日發行速記錄（貴）第三一號一六頁●同（衆）第二八號一六頁●昨二十五日發行同（貴）第三二號四八頁●同（衆）第二九號六四頁◉附錄今二十六日發行銀行會社計畫資本調竝東京物價調二月四頁

定價　一ヶ月　九十五錢　一部　五錢　一圓八十錢　八錢（外國郵便ニ依ル地域）各送料共
廣告料　本公告　六號一行　三十錢　五號五錢四號十錢增　一般廣告　六號十四字詰一行　二十五錢

發行所　東京市麹町區大手町　内閣印刷局　電話丸ノ内三五二　振替東京一九〇〇〇　官報課

（本書ノ大サハ國定規格A4判）

第2167号　本文

物価号外

官報號外　昭和九年三月二十六日　月曜日

帝國議會

◉本日帝國議會閉院式勅語左ノ如シ
朕貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク
朕本日ヲ以テ帝國議會ノ閉會ヲ命シ併セテ卿等勵精克ク協贊ノ任ヲ竭セルノ勞ヲ嘉奬ス

官報號外　昭和九年三月二十六日　月曜日

內閣印刷局

昭和二十五年三月三十一日
第三種郵便物認可

第2167号　物価号外

銀行會社計畫資本調

昭和九年二月分　　日本銀行調査

1. 計畫資本（其一）

	業別	二月 新設 社數	新設 円	增資 社數	增資 円	計 社數	計 円	社債 社數	社債 円	合計 社數	合計 円
1	銀行業		0		0		0		0		0
2	信託業		0		0		0		0		0
3	貸金其他金融業		0		0		0		0		0
4	倉庫業		0		0		0		0		0
5	保險業		0		0		0		0		0
6	運輸業	1	500,000	2	1,750,000	3	2,250,000	2	1,400,000	5	3,650,000
7	鐵道及軌道業		0		0		0	2	1,400,000	2	1,400,000
8	海運業	1	500,000	2	1,750,000	3	2,250,000		0	3	2,250,000
9	其他		0		0		0		0		0
10	鑛業	5	10,000,000		0	5	10,000,000		0	5	10,000,000
11	電氣業		0		0		0	1	10,000,000	1	10,000,000
12	製造工業	7	2,150,000	1	575,000	8	2,725,000		0	8	2,725,000
13	瓦斯業		0		0		0		0		0
14	紡績業		0		0		0		0		0
15	製織業	3	800,000		0	3	800,000		0	3	800,000
16	化學工業	1	1,000,000		0	1	1,000,000		0	1	1,000,000
17	染色整理業		0		0		0		0		0
18	製紙業		0		0		0		0		0
19	機械及器具工業		0	1	575,000	1	575,000		0	1	575,000
20	造船及船渠業		0		0		0		0		0
21	窯業		0		0		0		0		0
22	金屬工業	1	150,000		0	1	150,000		0	1	150,000
23	釀造業		0		0		0		0		0
24	食料品工業		0		0		0		0		0
25	製絲業		0		0		0		0		0
26	製材業		0		0		0		0		0
27	雜工業	2	200,000		0	2	200,000		0	2	200,000
28	水産業		0	1	1,000,000	1	1,000,000		0	1	1,000,000
29	農林業		0		0		0		0		0
30	商業	7	1,800,000	1	5,000,000	8	6,800,000		0	8	6,800,000
31	雜業	7	2,300,000		0	7	2,300,000		0	7	2,300,000
32	合計	27	16,750,000	5	8,325,000	32	25,075,000	3	11,400,000	35	36,475,000

前年同月比較增減（一）

	業別	新設 社數	新設 円	增資 社數	增資 円	計 社數	計 円	社債 社數	社債 円	合計 社數	合計 円
1	銀行業		0		0		0		0		0
2	信託業		0		0		0		0		0
3	貸金其他金融業		0		0		0		0		0
4	倉庫業		0		0		0		0		0
5	保險業		0		0		0		0		0
6	運輸業	1	500,000	2	1,750,000	3	2,250,000	1	-3,600,000	4	-1,350,000
7	鐵道及軌道業		0		0		0	1	-3,600,000	1	-3,600,000
8	海運業	1	500,000	2	1,750,000	3	2,250,000		0	3	2,250,000
9	其他		0		0		0		0		0
10	鑛業	5	10,000,000		0	5	10,000,000		0	5	10,000,000
11	電氣業		0		0		0	1	10,000,000	1	10,000,000
12	製造工業	-5	-30,350,000	-6	-13,285,000	-11	-43,635,000	-1	-8,000,000	-12	-51,635,000
13	瓦斯業		0		0		0		0		0
14	紡績業		0	-1	-3,000,000	-1	-3,000,000	-1	-8,000,000	-2	-11,000,000
15	製織業	2	300,000		0	2	300,000		0	2	300,000
16	化學工業	-3	-26,000,000	-1	-1,000,000	-4	-27,000,000		0	-4	-27,000,000
17	染色整理業		0		0		0		0		0
18	製紙業		0	-1	-120,000	-1	-120,000		0	-1	-120,000
19	機械及器具工業	-2	-350,000		-4,825,000	-2	-5,175,000		0	-2	-5,175,000
20	造船及船渠業		0		0		0		0		0
21	窯業		0		0		0		0		0
22	金屬工業	-1	-3,000,000	-2	-2,340,000	-3	-5,340,000		0	-3	-5,340,000
23	釀造業	-1	-1,000,000	-1	-2,000,000	-2	-3,000,000		0	-2	-3,000,000
24	食料品工業		0		0		0		0		0
25	製絲業	-1	-400,000		0	-1	-400,000		0	-1	-400,000
26	製材業		0		0		0		0		0
27	雜工業	1	100,000		0	1	100,000		0	1	100,000
28	水産業	-1	-300,000	1	1,000,000		700,000		0		700,000
29	農林業		0		0		0		0		0
30	商業	2	1,000,000	-1	3,300,000	1	4,300,000		0	1	4,300,000
31	雜業	2	1,050,000	-1	-180,000	1	870,000	-1	-10,000,000		-9,130,000
32	合計	4	-18,100,000	-5	-7,415,000	-1	-25,515,000		-11,600,000	-1	-37,115,000

備考　本調ハ內地、朝鮮、臺灣、樺太及南滿洲ニ於テ計畫セラレタル株式會社ノ設立、增資並ニ起債中確實ナリト認メタルモノニツキ金額拾萬圓以上ノモノヲ採錄ス 但シ社債中ニハ外國ニ於テ發行セラレタルモノ、舊社債其他ノ債務借換ノ爲メ發行セラレタルモノ及銀行債券ヲ含マズ

明治二十五年三月三十一日 第三種郵便物認可

1. 計畫資本（其二）

	業別	自一月至二月累計 新設 社數	新設 円	増資 社數	増資 円	計 社數	計 円	社債 社數	社債 円	合計 社數	合計 円
1	銀行業		0		0		0		0		0
2	信託業		0		0		0		0		0
3	貸金業	1	100,000		0	1	100,000		0	1	100,000
4	倉庫業		0		0		0		0		0
5	保險業		0		0		0		0		0
6	運輸業	1	500,000	3	2,250,000	4	2,750,000	3	31,400,000	7	34,150,000
7	鐵道業	0	0	1	500,000	1	500,000	3	31,400,000	4	31,900,000
8	軌道及運送業	1	500,000	2	1,750,000	3	2,250,000		0	3	2,250,000
9	其他運輸業		0		0		0		0		0
10	鑛業	8	14,500,000	1	1,000,000	9	15,500,000		0	9	15,500,000
11	電氣業		0		0		0	1	10,000,000	1	10,000,000
12	製造工業	29	49,250,000	8	11,975,000	37	61,225,000		0	37	61,225,000
13	瓦斯業		0		0		0		0		0
14	紡績業	2	11,000,000		0	2	11,000,000		0	2	11,000,000
15	織物業	7	2,800,000	1	3,000,000	8	5,800,000		0	8	5,800,000
16	製化學工業	6	30,000,000	2	4,000,000	8	34,000,000		0	8	34,000,000
17	染色整理業	1	1,000,000		0	1	1,000,000		0	1	1,000,000
18	製紙業		0	1	900,000	1	900,000		0	1	900,000
19	機械器具工業	3	1,500,000	4	4,075,000	7	5,575,000		0	7	5,575,000
20	造船業		0		0		0		0		0
21	製造及修繕業		0		0		0		0		0
22	金屬工業	2	300,000		0	2	300,000		0	2	300,000
23	醸造業	2	1,600,000		0	2	1,600,000		0	2	1,600,000
24	食料品工業	1	100,000		0	1	100,000		0	1	100,000
25	製絲業		0		0		0		0		0
26	製雜材工業		0		0		0		0		0
27	水產業	5	950,000		0	5	950,000		0	5	950,000
28	農林業	1	100,000	1	1,000,000	2	1,100,000		0	2	1,100,000
29	商業		0		0		0		0		0
30	雜業	19	4,500,000	1	5,000,000	20	9,500,000		0	20	9,500,000
31	合計	8	2,400,000		0	8	2,400,000		0	8	2,400,000
32	業計	67	71,350,000	14	21,225,000	81	92,575,000	4	41,400,000	85	133,975,000
	前年同期比較増減（－）										
1	銀行業		0		0		0		0		0
2	信託業		0		0		0		0		0
3	貸金業	1	100,000		0	1	100,000		0	1	100,000
4	倉庫業		0		0		0		0		0
5	保險業		0		0		0		0		0
6	運輸業		－500,000	3	2,250,000	3	1,750,000	2	26,400,000	5	28,150,000
7	鐵道業		0	1	500,000	1	500,000	2	26,400,000	3	26,900,000
8	軌道及運送業	1	500,000	2	1,750,000	3	2,250,000		0	3	2,250,000
9	其他運輸業	－1	－1,000,000		0	－1	－1,000,000		0	－1	－1,000,000
10	鑛業	7	13,500,000	1	1,000,000	8	14,500,000		0	8	14,500,000
11	電氣業	－1	－2,000,000		0	－1	－2,000,000	1	10,000,000		8,000,000
12	製造工業	8	－5,750,000	－2	－4,535,000	6	－10,285,000	－1	－8,000,000	5	－18,285,000
13	瓦斯業		0	－1	－1,000,000	－1	－1,000,000		0	－1	－1,000,000
14	紡績業		0	－1	－3,000,000	－1	－3,000,000	－1	－8,000,000	－2	－11,000,000
15	織物業	4	2,100,000	1	3,000,000	5	5,100,000		0	5	5,100,000
16	製化學工業		－7,100,000	1	3,000,000	1	－4,100,000		0	1	－4,100,000
17	染色整理業	1	1,000,000		0	1	1,000,000		0	1	1,000,000
18	製紙業		0		780,000		780,000		0		780,000
19	機械器具工業		650,000	3	－1,325,000	3	－675,000		0	3	－675,000
20	造船業		0	－1	－1,500,000	－1	－1,500,000		0	－1	－1,500,000
21	製造及修繕業		0		0		0		0		0
22	金屬工業	－1	－3,350,000	－3	－2,490,000	－4	－5,840,000		0	－4	－5,840,000
23	醸造業	1	600,000	－1	－2,000,000		－1,400,000		0		－1,400,000
24	食料品工業	1	100,000		0	1	100,000		0	1	100,000
25	製絲業	－1	－400,000		0	－1	－400,000		0	－1	－400,000
26	製雜材工業		0		0		0		0		0
27	水產業	3	650,000		0	3	650,000		0	3	650,000
28	農林業		－200,000		810,000		610,000		0		610,000
29	商業	－1	－1,000,000		0	－1	－1,000,000		0	－1	－1,000,000
30	雜業	4	830,000	－2	－3,700,000	2	－2,870,000		0	2	－2,870,000
31	合計	－4	－260,000	－1	－180,000	－5	－380,000	－1	－10,000,000	－6	－10,380,000
32	業計	14	4,780,000	－1	－4,355,000	13	425,000	1	18,400,000	14	18,825,000

許可 2167 号

第 2167 号 付録

2. 計畫資本自一月至二月五箇年比較

業別	昭和九年	昭和八年	昭和七年	昭和六年	昭和五年
	円	円	円	円	円
銀行業	0	0	2,400,000	5,000,000	260,000
信託業	0	0	0	0	0
貸金其他金融業	100,000	0	200,000	140,000	868,750
倉庫業	0	0	0	3,00,000	0
保險業	0	0	1,400,000	0	0
運輸業	34,150,000	6,000,000	600,000	300,000	3,100,000
鐵道及軌道業	31,900,000	5,000,000	0	0	1,450,000
海運業	2,250,000	0	0	0	0
其他	0	1,000,000	600,000	300,000	1,650,000
鑛業	15,500,000	1,000,000	400,000	1,150,000	1,000,000
電氣業	10,000,000	2,000,000	0	1,600,000	52,950,000
製造工業	61,225,000	79,510,000	16,095,000	39,855,000	18,720,000
瓦斯業	0	1,000,000	0	17,200,000	500,000
紡績業	11,000,000	22,000,000	10,000,000	0	0
製織業	5,800,000	700,000	0	1,145,000	5,000,000
化學工業	34,000,000	38,100,000	875,000	850,000	2,050,000
染色整理業	1,000,000	0	150,000	100,000	700,000
製紙業	900,000	120,000	200,000	0	1,300,000
機械及器具工業	5,575,000	6,250,000	3,200,000	2,250,000	810,000
造船及船渠業	0	1,500,000	0	0	2,000,000
窯業	0	0	150,000	1,750,000	700,000
金屬工業	300,000	6,140,000	200,000	4,500,000	100,000
釀造業	1,600,000	3,000,000	0	100,000	400,000
食料品工業	100,000	0	400,000	200,000	1,000,000
製絲業	0	400,000	0	0	0
製材業	0	0	0	300,000	0
雜工業	950,000	300,000	920,000	11,460,000	4,160,000
水產業	1,100,000	490,000	11,200,000	700,000	1,461,000
農林業	0	1,000,000	0	0	2,108,000
商業	9,500,000	12,370,000	10,023,000	12,185,000	13,862,600
雜業	2,400,000	12,780,000	4,650,000		
合計	133,975,000	115,150,000	46,968,000	63,930,000	94,270,350
各年同期比較増減(−)	＼	18,825,000	87,007,000	70,045,000	39,704,650

3. 計畫資本五箇年毎月比較

月中	昭和九年	昭和八年	昭和七年	昭和六年	昭和五年
	円	円	円	円	円
一月	97,500,000	41,560,000	26,050,000	37,900,000	49,917,750
二月	36,475,000	73,590,000	20,918,000	26,030,000	44,352,600
三月		394,410,000	20,198,850	55,795,000	34,205,000
四月		96,758,000	31,966,250	51,615,600	42,065,000
五月		60,920,000	23,150,000	43,700,000	36,305,000
六月		123,447,500	22,630,000	87,580,000	26,913,000
七月		88,985,000	49,665,000	42,310,000	31,147,000
八月		25,597,100	81,039,000	29,110,000	18,745,000
九月		57,500,000	27,423,300	118,235,000	82,300,000
十月		49,036,500	14,508,650	16,350,000	16,265,350
十一月		78,042,500	49,025,000	22,700,000	24,560,000
十二月		45,871,500	72,925,000	26,320,000	50,194,000
合計	133,975,000	1,135,718,100	439,499,050	557,645,600	456,969,700

4. 計畫資本地方別

月中	內地	朝鮮	臺灣	樺太	南滿洲	合計
昭和九年	円	円	円	円	円	円
一月	67,500,000	0	0	0	30,000,000	97,500,000
二月	33,475,000	3,000,000	0	0	0	36,475,000
三月						
四月						
五月						
六月						
七月						
八月						
九月						
十月						
十一月						
十二月						
合計	100,975,000	3,000,000	0	0	30,000,000	133,975,000
自一月至二月 昭和八年	87,150,000	1,000,000	0	0	27,000,000	115,150,000
自一月至二月 昭和七年	44,793,000	1,025,000	400,000	0	750,000	46,968,000
自一月至二月 昭和六年	63,430,000	300,000	0	200,000	0	63,930,000
自一月至二月 昭和五年	93,370,350	350,000	550,000	0	0	94,270,350

第2167号 付録

東京物價調

(明治三十三年十月基準)　昭和九年二月中　日本銀行調査

品目	本月	前月	前年同月	品目	本月	前月	前年同月	品目	本月	前月	前年同月
米……	193	+ 3	+ 4	油……	143	+ 1	− 38	洋釘……	123	0	− 32
大麥…	223	+ 23	+ 69	西洋莨…	297	0	0	銅…	120	+ 1	+ 5
稞麥……	253	+ 11	+ 81	生絲……	79	+ 8	− 6	鉛……	119	+ 7	+ 20
小麥…	186	+ 5	− 2	羽二重…	75	+ 2	− 4	石材…	253	0	− 4
大豆……	165	+ 7	− 27	絹手巾……	77	0	− 5	煉瓦……	250	0	− 10
小豆…	205	+ 6	− 103	甲斐絹…	55	+ 2	− 2	瓦…	113	0	− 32
小麥粉……	213	+ 4	0	絹裏地……	106	− 1	− 2	セメント…	92	0	− 3
硫酸安母尼亞	85	+ 1	− 5	眞綿…	120	+ 7	− 7	疊表…	236	− 2	+ 31
魚肥……	105	+ 3	− 4	綿絲……	195	+ 1	+ 14	板硝子……	127	+ 2	− 3
油ノ糟…	154	+ 2	− 13	白木綿…	144	− 3	+ 10	日本紙…	216	− 5	− 26
砂糖……	272	+ 5	− 13	金巾……	128	+ 5	− 7	洋紙……	207	0	+ 9
製茶…	171	+ 1	− 7	繰綿…	150	+ 10	+ 33	苛性曹達…	163	− 9	− 69
鹽……	258	0	+ 5	麻……	210	+ 12	− 40	皮革……	332	0	+ 23
味噌…	329	0	0	毛織絲…	217	+ 4	+ 65	燐寸…	139	− 8	− 17
醬油……	136	0	− 20	毛斯綸……	139	+ 10	+ 31	石炭……	280	0	+ 32
日本酒…	161	0	− 5	羅紗…	171	0	+ 2	石油…	221	0	− 45
鰹節……	269	+ 9	0	藍……	227	+ 2	− 25	炭……	167	− 5	+ 17
鷄卵…	93	− 16	+ 17	木材…	205	+ 5	+ 1	薪…	154	0	+ 13
牛肉……	298	0	0	洋鐵……	110	− 1	− 24	總平均…	177.5	+ 2.0	− 2.1

前月比較　騰貴(+) 29　低落(−) 9　保合(0) 18

大正十四年六月肥料糠、刻莨、フランネル、毛繻子、生漆、木蠟ノ六品ヲ削リ新ニ硫酸安母尼亞、牛肉、毛織絲、羅紗、鉛、苛性曹達ノ六品ヲ加ヘタリ

本月總平均

各年月ヲ100トセル

昭和九年一月ヲ100トセバ	昭和八年二月ヲ100トセバ	昭和七年二月ヲ100トセバ	昭和六年二月ヲ100トセバ	昭和五年二月ヲ100トセバ	昭和四年二月ヲ100トセバ
101.1	98.8	110.0	112.3	88.8	78.5

總平均十箇年對照表

月中	昭和九年	八年	七年	六年	五年	四年	三年	二年	大正十五年昭和元年	十四年
一月……	175.5	185.0	159.5	158.5	201.4	227.9	224.1	224.4	254.2	282.7
二月…	177.5	179.6	161.4	158.0	199.8	226.2	223.9	226.8	249.2	277.9
三月……		177.4	158.5	158.3	195.9	226.2	223.9	226.6	243.9	270.3
四月…		176.2	154.1	157.9	192.8	225.1	224.5	225.1	238.9	266.9
五月……		176.8	150.3	154.0	189.4	223.0	226.9	226.2	234.6	263.8
六月…		179.6	146.4	150.7	181.2	221.7	223.5	227.1	234.8	264.4
七月……		182.1	147.7	152.8	176.6	219.6	223.2	224.6	236.5	262.4
八月…		180.0	155.8	151.8	175.6	218.4	225.0	221.6	234.0	264.8
九月……		182.4	167.4	149.6	171.4	217.5	229.8	223.6	232.2	266.1
十月…		180.4	169.1	146.9	164.6	216.2	229.7	224.7	230.4	265.1
十一月……		178.7	177.9	147.0	162.2	211.1	229.1	222.9	226.9	261.5
十二月…		175.5	184.6	151.0	160.8	205.0	229.8	222.3	224.3	256.2
平均……		**179.5**	**161.1**	**153.0**	**181.0**	**219.8**	**226.1**	**224.7**	**236.7**	**266.8**

主要商品指數最近一箇年對照表

月中	米	小麥	砂糖	生絲	綿絲	木材	洋鐵	銅	洋紙	石炭
昭和八年										
二月……	189	188	285	85	181	204	134	115	198	248
三月…	181	185	285	81	179	188	146	114	198	249
四月……	180	185	283	88	167	182	130	113	198	249
五月…	182	189	287	97	181	168	119	127	198	251
六月……	181	190	279	120	194	173	112	132	198	253
七月…	174	186	268	117	192	185	114	133	198	256
八月…	175	181	268	105	200	200	111	131	198	258
九月……	175	180	272	104	214	202	113	128	198	269
十月…	176	181	263	87	214	198	118	123	201	273
十一月……	185	183	264	72	215	195	117	117	207	275
十二月…	185	180	266	69	197	192	113	115	207	279
昭和九年										
一月……	190	181	267	71	194	200	111	119	207	280
二月…	193	186	272	79	195	205	110	120	207	280

社計畫資本調並東京物價調二月 四頁